

遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備（建築主体）工事 （北ーチンパンジー舎）

設計図

山梨建築設計監理事業協同組合

【図面リスト】

[illegible][illegible]

特 記 事 項	 山梨建築設計監理事業協同組合	承認	設計	担当	縮 尺	工事名称 <u>遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (北一チンパンジー舎)</u> 図面名称 <u>図面リスト</u>	北チ A-01 No.
					設計年月日		

遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事
(北ーチンパンジー舎)

設計図

令和 年 月 (全 枚)

仕 様 書

I 工事概要

敷地所在地	山梨県甲府市太田町10番1号
都市計画区域	都市計画内
防火指定	22条地域・準防火地域
その他の地域地区	下水道供用開始区域
道路	
敷地面積	
用途地域	第二種住居地域
建ぺい率	60%
容積率	200%
建物の主要用途	事務所
工事の種類	新築
棟数	1棟
構造・階数	鉄筋コンクリート造・平家建て
建築面積	40.00㎡
延べ床面積	40.00㎡
最高の高さ	5.45m
最高の軒高さ	4.00m
消防法上の有窓階・無窓階	有窓階
下水の放流形式	下水道放流

工事種目

図示の内容全て

II 工事範囲

※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。

III 建築工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(最新版)」(以下、「様仕」という。)による。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に 印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、 印の付いたものを適用する。

印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。

(3) 特記事項に記載の() 内表示番号は、様仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) 特記事項に記載の(別) は(5.3.7) による別図「各部配筋」の当該項目を示す。

(5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また() 内は製品名を示す。

(6) 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。

章

項 目

特 記 事 項

① 一般事項

○ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。

○ 請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。

・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況(地盤、擁壁、内外壁、床、建具等)を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。

調査範囲 ※ 図示

○ 現場への搬入路は、破損のないよう留意し、もし破損した場合は速やかに復旧すること。

② 適用基準等

○建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修 最新版)

○工事写真の撮り方(改訂第3版)建築編(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

③ 工事実績情報(CORINS)の登録

※ 適用する(請負精算額が500万円以上の場合)

受注者は、工事実績情報サービス(CORINS)入力システム((財)日本建設情報総合センター)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認お願い」を作成し監督員の確認(機関印または監督員の記名・押印及び電子メールアドレスを記入)を受けたうえ、(財)日本建設情報総合センターに登録申請するとともに、「登録内容確認書」の写しを監督員に提出しなければならない。提出の期限は、以下のとおりとする。

①受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内(土・日曜日及び祝日等を除く)とする。

②完成時登録データの提出期限は、業務完成後10日以内とする。

③業務履行中に、受注時登録データの内容のうち、「工期」または「現場代理人」または「監理主任技術者」に変更があった場合は、変更があった日から10日以内(土・日曜日及び祝日等を除く)に変更データを登録申請しなければならない。工事請負代金のみ変更の場合は、原則として登録を必要としない。

ただし、工事請負代金2,500万円を超えて変更する場合には変更時登録を行うものとする。

④訂正時は、適宜登録機関に登録申請をしなければならない。

④ 施工計画書

○工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。

○施工計画の内容を変更する必要が生じた場合は、監督職員に報告するとともに、施工に支障がないよう適切な措置を講ずる。

5 電気保安技術者

工事現場における電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。

○要 ・ 不要

④ 施工条件

共A-05参考工程表を参照

⑦ 発生材の処理等

⑧ 建築材料等

⑩ 特別な材料の工法

⑪ 技能士

⑫ 電子納品

⑬ 化学物質の濃度測定

⑭ 建築基準法による風圧力等の指定

⑮ 完成図等

⑯ 完成写真

※現場説明書による ○構外搬出適切処理

(1.3.11)

本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとする。

(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること

(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること

(3) 安定的な供給が可能であること

(4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること

(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること

(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること

なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関(「社」公共建築協会 他)が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。

また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。

建築材料の使用制限

建築材料等について、規制の対象となる範囲は下地、仕上材材共にF☆☆☆☆または規制対象外の建材を用いることとし、該当する材料が無い場合は監督職員の承諾を受けF☆☆☆☆のものを採用するを含む)を使用すること。

様仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

(1.5.2)

通用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	○鉄筋施工(鉄筋組立て作業)
コンクリート工事	○型枠施工
鉄骨工事	○とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築 ・ALCパネル施工
防水工事	・アスファルト防水工事作業 ○合成ゴム系シート防水工事作業
	○塗膜防水工事作業 ○シーリング防水工事作業
石工事	・石材施工(石張り施工)
タイル工事	・タイル張り
木工事	・建築大工
屋根及びとい工事	○建築板金(内外装板金作業)
金属工事	○内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業)
左官工事	○左官
建具工事	○サッシ施工 ○ガラス施工 ○自動ドア施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工
塗装工事	○塗装(建築塗装作業)
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業
	○ボード仕上げ工事作業 ・表装(壁装作業)
植栽工事	○造園

○工事関係図書を電子納品すること

○図面による署名及び捺印の取り扱い(電子成果物の原本性保証に関する処置)

電子納品の導入にあたっては、従来の署名または捺印に代わる措置として、電子署名の導入が求められるが、電子署名の導入は現時点では困難であるため、

1) 受注者は電子媒体の内容の原本性を照明するために、電子媒体に署名又は捺印の上、提出する。

2) 共通仕様書に基づく各書面に対する署名又は捺印は、上記1)の措置を持って代えることができる

○設計図CADデータ貸与する。

○設計図CADデータの著作権は以下の者にある

貸与するCADデータを当該工事における施工図面又は完成図の作図のため以外に使用してはならない。

甲府市まちづくり部まち整備室建築営繕課

(1.5.9)

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ステレンの5物質について測定し、厚生労働省で定める指針値以下の濃度であることを確認し、測定結果報告書を監督員に提出すること。(測定結果が指針値を超えた場合は、発生源を特定し、換気などの措置を講じた後、再度測定を行う。)

測定対象科学物質	厚生労働省の指針値(25℃の場合)
ホルムアルデヒド	0.08 ppm (100 μg/m ³)
トルエン	0.07 ppm (260 μg/m ³)
キシレン	0.05 ppm (200 μg/m ³)
エチルベンゼン	0.88 ppm (3,800 μg/m ³)
ステレン	0.05 ppm (220 μg/m ³)

測定はバッシュ型採取機器により行う。

着工前の測定 ・ 行う

測定対象室 ・ 図示

○ 屋内放飼場

測定箇所数 ・ 図示

○ 1箇所

測定結果の報告 3部提出

(3.5.4)(3.9.3)(5.12.5)

適用工事	建築基準法の指定
○合成高分子系ルーフィングシート	風速(V0) ※30
○アルミニウム笠木	金属板屋根
○折板葺	ガラスブロック

※作成する ・ 作成しない

※完成図 提出部数 ※各2部 ・ 各部 (A3版第2図面及び電子媒体(CD-R))

※施工計画書 提出部数 ※1部 ・ 各部

※施工図 提出部数 ※1部 ・ 各部

※保金に関する資料 提出部数 ※1部 ・ 各部

下記のものを監督職員に提出する。ただし、原板は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原板の大きさ(mm)
○カラー			
※キャビネ版	外部(4)内部(4)	※2・3	※100×125以上
・カラー半切木製パネル	外部()内部()	※2	
○電子データ	外部(4)内部(4)	※2	※200万円以上 ※300dpi以上

100×125以上の原板を使う場合は、監督職員にあらかじめ述べた機を提出し確認を受ける。

電子データは、RGB(フルカラー)・JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。

撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影業者(ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする)

⑬ 設備工事との取合い

⑰ 設計GL

⑱ 工事写真

⑲ その他

⑳ 仮設工事

㉑ 土工

㉒ 地業工事

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

※設計Q.L=±0=261.18

○「営繕工事写真撮影要領(最新版)」による。

○「甲府市暴力団排除条例の施行に伴う公共工事からの暴力団排除」を目的として受注者は、下請負者を用いる場合には、金額・工程の如何にかかわらず、末端の下請負業者まで反映させた、「下請施工体系図」を作成し、遺漏・誤謬が無いよう記載内容を十分確認の上、遅滞なく監督員へ提出するものとする。

また、提出した「下請施工体系図」の内容に変更が生じた場合は、その都度変更するものとし、遅滞なく監督員へ提出するものとする。

なお、提出は打合せ簿によるものとする。

○再生資源利用計画(実施)書及び再生資源利用促進計画(実施)書の提出(請負金額100万円以上の工事)

請負者は国土交通省のホームページから「建設リサイクル報告様式(計画書・実施書)(EXCEL 様式)」の最新バージョンをダウンロードし、作成出力した再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を出し、1部(紙)を施工計画書に添付し監督員に提出するものとする。(以前より使用していたクレダスを使用した様式での提出はH30センサスに対応していないため不可)

工事完了後は速やかに、当初入力した工事データを実績値に修正した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を出し、1部(紙)を完成書類に添付し、

また、電子データは電子媒体(CD、DVD等)により監督員に提出するものとする。

なお、入力した電子データは自社で1年間保管するものとする。

※入力時の最新版を国土交通省のホームページからダウンロードして入手すること。

URL http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

○工事写真の取扱い

電子媒体により納品すること。

納品時には、正副1部ずつを納品すること。

使用する媒体は、CD-Rとする。ただし、やむを得ない理由がある場合に限り、DVD-Rの使用も可とする。

電子媒体に対して必ずウイルスチェックを行うこと。

(ウイルス対策ソフトは特に指定しないが、最新のウイルスも検出できるように最新のデータに更新したものを利用すること。)

電子媒体には以下の情報を明記すること。

A、工事名称 B、工事場所 C、契約番号 D、発注者担当部署名称

E、請負者名称 F、作成年月 G、何枚目/総枚数

H、ウイルスチェックに関する情報 I、CD-Rフォーマット形式

J、電子媒体の内容の原本性を証明するために、直接署名又は捺印を行う。

・電子納品される写真データは、PDF形式、エクセル等で編集したもので、従来の印刷物写真と同様な確認ができるものとする。

・写真データは、工種種別、撮影項目毎に分類し、工事の進捗に合わせて編集し、容易に確認できるファイル名・フォルダ名を付して整理すること。

・工事写真の検査は、電子データで検査することを原則とするが、印刷物または電子データと併用で検査することも可能とし、その範囲は受発注者との協議による。

・検査に使用する機器の準備と操作は、受注者が行うことを原則とする。

・やむを得ない理由により、電子納品できない場合は、受発注者との協議により、従来の印刷物による納品も可とする。

・ここに定めなきときは、受発注者との協議により決定する。

① 監督職員事務所

※設ける

規模 ・ 1号 ・ 2号 ・ 3号 ・ 4号 ・ 5号

○設けない

・備品(必要備品は適宜設置)

② 工事用水

構内既存の施設

○利用できる(※有償 ・ 無償) ※利用できない

③ 工事用電力

構内既存の施設

○利用できる(※有償 ・ 無償) ※利用できない

① 埋戻し及び盛土

種別 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種

・建設汚泥から再生した処理土 印

① 建設発生土の処理

※現場説明書による

・構外搬出適切処理 ○構内指示の場所にたい積 ・構内指示の場所に敷き均し

(4.3.1~3)

	杭径(mm)	杭長(m)及び種別	継手数	セット数	備考
試験杭					
本 杭					

杭頭の処理 ※切断しない ・ 閉そく平た形

先端部形状 ※開放形 ・ 閉そく平た形

杭の継手 ※開放形 ・ 閉そく平た形

杭の継手 建築基準法に基づく指定又は認定を受けた継手を使用してもよい。

施工法 (4.3.4~5)

・特定埋込み杭工法

工法 ・プレボーリング拡大掘削工法 ・中掘拡大掘削工法

H13国交告1113号第6による支持力算定式でα=250程度を採用できる工法

杭周固定液 ・使用する

セメントの種類 6章コンクリート工事のセメントの種類による

コンクリートの種別及び設計基準強度 () 種かつ() N/mm²以上

鉄筋の種類 5章鉄筋工事の鉄筋の種類による

掘削工法 ・アースドリル工法(安定液使用 ・無水掘削)

・リバーシ工法

・オールケーシング工法(孔内の水漲 ・行う ・行わない)

・場所打ち鋼管コンクリート杭工法

・杭底杭工法(※安定液使用 ・)

側壁測定 ・行う() ・行わない

セメントの種類 6章コンクリート工事のセメントの種類による

※再生クラッシュラン 印 ・切込み砂利及び切込み砕石

施工箇所 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く)

⑤ 鉄筋工事(構造設計標準仕様書及び鉄筋コンクリート構造標準配筋図による。)

⑥ コンクリート工事(構造設計標準仕様書及び鉄筋コンクリート構造標準配筋図による。)

1 鉄筋の種類

(5.2.1)(表5.2.1)

種類の記号	呼び名(mm)
・SD295A	※D16以下
・SD345	※D19以上

2 鉄筋の継手

呼び名19mm以上の柱、梁の主筋 ※ガス圧接 ・重ね継手

(5.3.4)

3 鉄筋の最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは目地底から算定する。

・耐久性上不利な箇所の鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施工箇所	表5.3.6の値に加える寸法(mm)
・柱、梁、壁及び底などの外気に接する打放し面	※10

4 既製コンクリート杭の杭頭補強

・A形 ・B形 ※図示

5 最上階柱頭補強

※行う ・行わない

(別2.1)

6 帯筋

※H形(口は除く)

(別2.2)

7 壁開口部の補強

一般壁 ・A形 ※B形 ・図示

耐震壁 ※図示

(別4.4)(別表3.4~4)

8 梁貫通孔の補強形式

※H形 ・MH形 ・M形

(別7.1)(別表7.1~3)

9 機械吊上げ用フック

・A種 ・B種 ・C種 (ヶ所)

10 圧接完了後の試験

※超音波探傷試験 ・引張試験

(5.6.5)

1 普通コンクリートの設計基準強度

(6.2.2)

設計基準強度F _c (N/mm ²)	施工箇所
※36	
・27	

2 レディーミクストコンクリートの類別

※Ⅰ類 ・Ⅱ類

(6.2.1)(6.4.1~2)(表6.2.1)

3 スランブ

18cm

(6.2.4)

4 セメントの種類

(6.3.1)(6.13.2)(表6.3.1)

※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種

・高研セメントB種 印 ()

普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

	7d 352J/g以下
水和熱	28d 402J/g以下

5 骨材の種類

アルカリシリカ反応による区分

(6.3.1)

※A

・B(※コンクリート中のアルカリ総量R_t=3.0kg/m³以下)

6 混和材料

混和材 仕様箇所 屋外タキ部分を除く全体:コンクリート躯体防水剤

躯体輪部:高性能AE減水材

7 無筋コンクリート

設計基準強度 ※18N/mm²

(6.14.1)

8 コンクリート躯体表面の処理

外装タイル後張り面の躯体表面の処理

MOR工法を行う場合は、せき板面にMOR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上がり面凹凸状態とする。高圧水洗工法の目荒しを行う場合は、水圧50N/mm²以上かつ、2.5g/m²以上とし、施工計画書を監督に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。

コンクリートの増打ち厚さ ※20mm

※施工範囲は図示による。

9 断熱材兼用型枠

適用及び適用箇所について

様仕19章内装工事9断熱材による。

特記事項

承認

設計

担当

縮 尺

設計年月日

工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (北ーチンパンジー舎)

図面名称 特記仕様書 1

北チ A-02 No.

建具工事	1	見本の製作等	・特殊な建具の取組（建具符号： ）	(表16.1.4)																								
	②	アルミニウム製建具	外部に面する建具 <table><tr><th>種 別</th><th>耐風圧性</th><th>気密性</th><th>水密性</th><th>枠見込み (mm)</th><th>施工箇所</th></tr><tr><td>○A種</td><td>S－4</td><td>※A－3</td><td>※W－4</td><td>※70</td><td>※図示</td></tr><tr><td>・B種</td><td>S－5</td><td></td><td></td><td></td><td>※図示</td></tr><tr><td>・C種</td><td>S－6</td><td>A－4</td><td>W－5</td><td>特記による</td><td>※図示</td></tr></table> (注) 形式が引き違い・片引き・上げ下げ窓で複層ガラスを使用する場合は枠の見込み100mmとする。 断熱等級・ 枠・障子： ガラス： 表面処理 ※B B－1種・C種（・ブラウン系・ブラック・ステンカラー） 屋内建具 表面処理 ※B C－1種又はB C－2種 ・C2種（・ブラウン系・ブラック・ステンカラー） 網戸 防虫網 網の種類 ※ガラス繊維入り合成樹脂製・合成樹脂製・ステンレス製 (SUS316) 形 式 ※外部可動式・固定式	種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)	施工箇所	○A種	S－4	※A－3	※W－4	※70	※図示	・B種	S－5				※図示	・C種	S－6	A－4	W－5	特記による	※図示	(表16.2.2) (表16.2.4) (表16.2.1) <
	種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み (mm)	施工箇所																						
	○A種	S－4	※A－3	※W－4	※70	※図示																						
	・B種	S－5				※図示																						
	・C種	S－6	A－4	W－5	特記による	※図示																						

カーテンウォール工事

2

メタルカーテンウォール

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS14による。
カーテンウォール材料の種類

(17.2.2)

種 類		規格等	
※アルミニウム製		※標仕16.2.3のアルミニウム製建具の材料による	

カーテンウォール方式

・方立方式

・バックマリオン方式（ ・単純2辺支持構法 ・SSG構法）

・スバンデル方式

・パネル方式

・小型パネル組み合わせ方式（ ・ノックダウン方式 ・ユニット方式）

シーリング材及びガラス取付け材料

下記以外は標仕表9.7.1による

(9.7.2) (17.2.2) (表9.7.1)

被着体の組合せ		シーリング材の種別		
		記 号	主成分による区分	耐久性による区分
金属	ガラス			
	石、タイル			
ガラス	ガラス			

構造用ガスケット

※適用しない

・適用する（施工箇所：図示）

(17.2.2)

断熱材

※適用しない

・適用する（種類： 厚さ（mm） ：施工箇所※図示）

(17.2.2)

製品の寸法許容差

※標仕表17.2.1による

(17.2.3) (表17.2.1)

・製造所標準製作規定寸法許容差による

取付け

(17.2.5) (表17.2.2～3)

アルミニウムの表面処理

(17.2.3) (表14.2.1)

種 別		色 彩 等					
・BB－1種	・BB－2種	無着色					
・C種		※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー ・					
・着色塗装	塗装材料（	）	焼付け方法（	）	コート（	）	ペーク

耐風圧性能

※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。

・正圧 N/㎡以上及び負圧 N/㎡以上に対して安全であること。

(17.1.3)

主要部材のたわみ

支点間距離（h）	たわみ量	状 態
※4m以下	※±（1/150）×h かつ絶対量20mm以下	※各部の破壊、残留変形 有る変形が起こらないこと
・4mを超える		

耐震性能

(17.1.3)

設計用震度	水平方向（KH）	※1.0	・
	垂直方向（KV）	※0.5	・

建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状 態
鉄骨造	※±（1/100）×h以上	※部材の脱落、ガラスの破壊及び主要部材に有害な歪みが起こらない シーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×h以上	
鉄骨鉄筋コンクリート造		

水密性

・W－4 ・W－5

(17.1.3)

気密性

・A－3 ・A－4

(17.1.3)

耐火性能

※適用しない

・適用する（ 時間、施工箇所：図示）

映像調整

※行わない ・行う（建具表による）

製造所

性能等の確認できる資料を提出し監督職員の承認を受ける

設計図書による規定の他、特記無き事項は（社）日本建築学会JASS 14による。

(17.3.2)

コンクリートの種類及び品質

※標仕17.3.2による

・下表による。ただし、下表以外は標仕17.3.2による。

コンクリートの種類	設計基準強度（Fc）	所要スランプ（cm）

鉄筋

※SD295A

取付け用金物の表面処理（鉄の亜鉛めっき）及び材質

(14.2.3) (表14.2.2)

金物種類及び部位	内 部	外 部
PO板打込み金物	※E種	※C種
PO板打込み取付けボルト	※E種	※ステンレスボルト
2次ファスナー		※C種
取付けボルト	※F種	※C種
レベル調整ボルト	※F種	※C種

上記以外はカーテンウォール製作所の仕様による

シーリング材料

下記以外は標仕表9.7.1による

(9.7.2) (17.3.2) (表9.7.1)

施工箇所	シーリング材の種別		
	記 号	主成分による区分	耐久性による区分
カーテンウォール板間目地			

断熱材

※適用しない

・適用する（種類： 厚さ（mm） ：施工箇所 ※図示）

(17.3.3) (表17.3.1)

製品の寸法許容差

※標仕表17.3.1による

(17.3.3) (表17.3.1)

・製造所標準製作規定寸法許容差による

表面仕上げ

（

）

耐火材料

施工部位	種 別	規格等
・ファスナー部		
・取付けブラケット		
・パネル目地部		
・層間ふさぎ		

耐風圧性能

(17.1.3)

性能値

※建築基準法施行令第87条及び建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること。

・正圧 N/㎡以上及び負圧 N/㎡以上に対して安全であること。

(17.1.3)

耐震性能

(17.1.3)

設計用震度	水平方向（KH）	※1.0	・
	垂直方向（KV）	※0.5	・

建物の構造種別	層間変位量（h=支点間距離）	状 態
鉄骨造	※±（1/100）×h以上	※部材が損傷せず、破壊脱落もしない。 ガラス等の破壊もない シーリングは補修程度
鉄筋コンクリート造	※±（1/200）×h以上	
鉄骨鉄筋コンクリート造		

3

PCカーテンウォール

⑧ 塗装工事	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部の素地ごしらえ	① 材料	② 各部
--------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	-------------	------	------

	⑩	タイルカーペット	(表19.3.2)																																																					
		<table><tr><th>バイル形状</th><th>種 類</th><th>寸法 (mm)</th><th>総厚さ (mm)</th><th>備 考</th></tr><tr><td>※ループバイル</td><td>※第一種 ・第二種</td><td>※500×500</td><td>※6.5</td><td>粘着はく離形接着剤を使用する。</td></tr><tr><td>・カットバイル</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・カット、ループ併用</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 耐電性 ・人体帯電圧3kV以下（フリーアクセスフロア敷設範囲）	バイル形状	種 類	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備 考	※ループバイル	※第一種 ・第二種	※500×500	※6.5	粘着はく離形接着剤を使用する。	・カットバイル					・カット、ループ併用																																						
バイル形状	種 類	寸法 (mm)	総厚さ (mm)	備 考																																																				
※ループバイル	※第一種 ・第二種	※500×500	※6.5	粘着はく離形接着剤を使用する。																																																				
・カットバイル																																																								
・カット、ループ併用																																																								
4		合成樹脂塗床	(19.4.1～4) (表19.4.1～8)																																																					
		<table><tr><th>種 別</th><th>仕 上 げ の 種 類</th></tr><tr><td>・弾性ウレタン塗床材</td><td>※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ</td></tr><tr><td>・エポキシ樹脂塗床材</td><td>・薄膜流し膜べ仕上げ ・厚膜流し膜べ仕上げ（ ・平滑 ・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（ ・平滑 ・防滑） ・防滑仕上げ</td></tr></table> 特記による	種 別	仕 上 げ の 種 類	・弾性ウレタン塗床材	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ	・エポキシ樹脂塗床材	・薄膜流し膜べ仕上げ ・厚膜流し膜べ仕上げ（ ・平滑 ・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（ ・平滑 ・防滑） ・防滑仕上げ																																																
種 別	仕 上 げ の 種 類																																																							
・弾性ウレタン塗床材	※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ																																																							
・エポキシ樹脂塗床材	・薄膜流し膜べ仕上げ ・厚膜流し膜べ仕上げ（ ・平滑 ・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（ ・平滑 ・防滑） ・防滑仕上げ																																																							
5		フローリング張り	(19.5.1～7) (表19.5.1～6)																																																					
		<table><tr><th>種 別</th><th>樹種</th><th>厚さ (mm)</th><th>工 法</th><th>塗装</th></tr><tr><td>・フローリング</td><td>※ナラ</td><td>※15 幅 75</td><td>・釘止め工法</td><td>※ウレタン樹脂</td></tr><tr><td>・ボード</td><td></td><td>長さ900以上</td><td>・接着工法</td><td>ワニス塗り</td></tr><tr><td>・フローリング ブロック</td><td>※ナラ</td><td>※15 303×303</td><td>・接着工法</td><td>・オイルステ ン塗りの上 ワックス</td></tr><tr><td>・モザイク パーケット</td><td>※ナラ</td><td>・6 ・8 ・9</td><td>・接着工法</td><td>・生地のまま ワックス</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・既塗装品</td></tr></table>	種 別	樹種	厚さ (mm)	工 法	塗装	・フローリング	※ナラ	※15 幅 75	・釘止め工法	※ウレタン樹脂	・ボード		長さ900以上	・接着工法	ワニス塗り	・フローリング ブロック	※ナラ	※15 303×303	・接着工法	・オイルステ ン塗りの上 ワックス	・モザイク パーケット	※ナラ	・6 ・8 ・9	・接着工法	・生地のまま ワックス					・既塗装品																								
種 別	樹種	厚さ (mm)	工 法	塗装																																																				
・フローリング	※ナラ	※15 幅 75	・釘止め工法	※ウレタン樹脂																																																				
・ボード		長さ900以上	・接着工法	ワニス塗り																																																				
・フローリング ブロック	※ナラ	※15 303×303	・接着工法	・オイルステ ン塗りの上 ワックス																																																				
・モザイク パーケット	※ナラ	・6 ・8 ・9	・接着工法	・生地のまま ワックス																																																				
				・既塗装品																																																				
		・複層フローリング																																																						
		<table><tr><th>種 別</th><th>樹種</th><th>種別</th><th>防湿処理</th><th>工 法</th><th>塗装</th></tr><tr><td>・複合1種</td><td>※ナラ</td><td>・A種</td><td>・行う</td><td>・釘止め工法</td><td>※ウレタン樹脂</td></tr><tr><td>・フローリング</td><td>・サクラ</td><td>・B種</td><td>・行わない</td><td>・接着工法</td><td>ワニス塗り</td></tr><tr><td>・複合2種</td><td>・ヒノキ</td><td>※C種</td><td></td><td></td><td>・オイルステ ン塗りの上 ワックス</td></tr><tr><td>・フローリング</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・生地のまま ワックス</td></tr><tr><td>・複合3種</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・既塗装品</td></tr><tr><td>・フローリング</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>・大型構層 フローリング</td><td>・ナラ</td><td>・行う</td><td>・特殊張り 工 法</td><td></td><td>ワックス</td></tr><tr><td></td><td>・サクラ</td><td>・行わ ない</td><td></td><td>（体育館床）</td><td></td></tr></table>	種 別	樹種	種別	防湿処理	工 法	塗装	・複合1種	※ナラ	・A種	・行う	・釘止め工法	※ウレタン樹脂	・フローリング	・サクラ	・B種	・行わない	・接着工法	ワニス塗り	・複合2種	・ヒノキ	※C種			・オイルステ ン塗りの上 ワックス	・フローリング					・生地のまま ワックス	・複合3種					・既塗装品	・フローリング						・大型構層 フローリング	・ナラ	・行う	・特殊張り 工 法		ワックス		・サクラ	・行わ ない		（体育館床）	
種 別	樹種	種別	防湿処理	工 法	塗装																																																			
・複合1種	※ナラ	・A種	・行う	・釘止め工法	※ウレタン樹脂																																																			
・フローリング	・サクラ	・B種	・行わない	・接着工法	ワニス塗り																																																			
・複合2種	・ヒノキ	※C種			・オイルステ ン塗りの上 ワックス																																																			
・フローリング					・生地のまま ワックス																																																			
・複合3種					・既塗装品																																																			
・フローリング																																																								
・大型構層 フローリング	・ナラ	・行う	・特殊張り 工 法		ワックス																																																			
	・サクラ	・行わ ない		（体育館床）																																																				
6		畳敷き	(19.6.2) (表19.6.1)																																																					
		畳の種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ()																																																						
⑦		せっこうボード その他ボード 及び合板張り	(19.7.2～3) (表19.7.1～5)																																																					
		<table><tr><th>種 類</th><th>JISの記号</th><th>厚さ (mm)、規格等</th></tr><tr><td>・硬質木毛セメント板</td><td>HW</td><td>・15 ・20 ・25</td></tr><tr><td>・普通木毛セメント板</td><td>NW</td><td>・15 ・20 ・25</td></tr><tr><td>○けい酸カルシウム板</td><td>0.8F K</td><td>タイプ2（無石棉）○・8 ・</td></tr><tr><td>・ロックウール化粧吸音板</td><td>D R</td><td>※フラットタイプ（※9（不燃）・12 ・） ・凹凸タイプ（※12（不燃）・15・19 ・）</td></tr><tr><td>・ロックウール化粧吸音板 （軒天井用）</td><td>D R D R（凹凸） D R（軒天） D R（軒天凹凸）</td><td>※フラットタイプ9（不燃） ・凹凸タイプ（※12・15）（不燃）</td></tr><tr><td>・せっこうボード</td><td>G B－R</td><td>○2.5（不燃） ○0.5（準不燃、不燃）</td></tr><tr><td>・不燃構層せっこうボード</td><td>G B－N C</td><td>9.5（不燃） 化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）</td></tr><tr><td>・シーリングせっこうボード</td><td>G B－S</td><td>12.5（不燃）</td></tr><tr><td>・強化せっこうボード</td><td>G B－F</td><td>12.5（不燃） 15.0（不燃）</td></tr><tr><td>・せっこうラスボード</td><td>G B－L</td><td>9.5</td></tr><tr><td>・化粧せっこうボード</td><td>G B－D</td><td>※12.5（不燃） ○0.5（準不燃）</td></tr><tr><td>・難燃合板</td><td></td><td>○3 ・生地、透明塗料塗り（ラウコン合板程度） ・不透明塗料塗り（しな合板程度）</td></tr><tr><td>・メラミン樹脂化粧板</td><td></td><td>JIS K 6903による 厚さ1.2</td></tr><tr><td>・ミディアムデンシティ ファイバーボード</td><td>M D F</td><td>・3 ・7 ・9 ・12 ・</td></tr><tr><td>・単板張りパーティクルボード</td><td></td><td>○3 ・無研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18 ・</td></tr><tr><td>・ハードボード（煮地）</td><td>H B</td><td>○3 ・無研磨板（ ・スタンダード ・テンパード） ・研磨板（ ・スタンダード ・テンパード）</td></tr><tr><td>・インシュレーションボード</td><td>I B</td><td>○3 A級（ ・天井仕上 ・内装仕上 ・） ・9 ・12 ・15 ・18 ・</td></tr></table> 合板類、繊維板、及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 ※適用する ・適用しない 吸音材	種 類	JISの記号	厚さ (mm)、規格等	・硬質木毛セメント板	HW	・15 ・20 ・25	・普通木毛セメント板	NW	・15 ・20 ・25	○けい酸カルシウム板	0.8F K	タイプ2（無石棉）○・8 ・	・ロックウール化粧吸音板	D R	※フラットタイプ（※9（不燃）・12 ・） ・凹凸タイプ（※12（不燃）・15・19 ・）	・ロックウール化粧吸音板 （軒天井用）	D R D R（凹凸） D R（軒天） D R（軒天凹凸）	※フラットタイプ9（不燃） ・凹凸タイプ（※12・15）（不燃）	・せっこうボード	G B－R	○2.5（不燃） ○0.5（準不燃、不燃）	・不燃構層せっこうボード	G B－N C	9.5（不燃） 化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）	・シーリングせっこうボード	G B－S	12.5（不燃）	・強化せっこうボード	G B－F	12.5（不燃） 15.0（不燃）	・せっこうラスボード	G B－L	9.5	・化粧せっこうボード	G B－D	※12.5（不燃） ○0.5（準不燃）	・難燃合板		○3 ・生地、透明塗料塗り（ラウコン合板程度） ・不透明塗料塗り（しな合板程度）	・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による 厚さ1.2	・ミディアムデンシティ ファイバーボード	M D F	・3 ・7 ・9 ・12 ・	・単板張りパーティクルボード		○3 ・無研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18 ・	・ハードボード（煮地）	H B	○3 ・無研磨板（ ・スタンダード ・テンパード） ・研磨板（ ・スタンダード ・テンパード）	・インシュレーションボード	I B	○3 A級（ ・天井仕上 ・内装仕上 ・） ・9 ・12 ・15 ・18 ・
種 類	JISの記号	厚さ (mm)、規格等																																																						
・硬質木毛セメント板	HW	・15 ・20 ・25																																																						
・普通木毛セメント板	NW	・15 ・20 ・25																																																						
○けい酸カルシウム板	0.8F K	タイプ2（無石棉）○・8 ・																																																						
・ロックウール化粧吸音板	D R	※フラットタイプ（※9（不燃）・12 ・） ・凹凸タイプ（※12（不燃）・15・19 ・）																																																						
・ロックウール化粧吸音板 （軒天井用）	D R D R（凹凸） D R（軒天） D R（軒天凹凸）	※フラットタイプ9（不燃） ・凹凸タイプ（※12・15）（不燃）																																																						
・せっこうボード	G B－R	○2.5（不燃） ○0.5（準不燃、不燃）																																																						
・不燃構層せっこうボード	G B－N C	9.5（不燃） 化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様）																																																						
・シーリングせっこうボード	G B－S	12.5（不燃）																																																						
・強化せっこうボード	G B－F	12.5（不燃） 15.0（不燃）																																																						
・せっこうラスボード	G B－L	9.5																																																						
・化粧せっこうボード	G B－D	※12.5（不燃） ○0.5（準不燃）																																																						
・難燃合板		○3 ・生地、透明塗料塗り（ラウコン合板程度） ・不透明塗料塗り（しな合板程度）																																																						
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による 厚さ1.2																																																						
・ミディアムデンシティ ファイバーボード	M D F	・3 ・7 ・9 ・12 ・																																																						
・単板張りパーティクルボード		○3 ・無研磨板 ・研磨板 ・10 ・12 ・15 ・18 ・																																																						
・ハードボード（煮地）	H B	○3 ・無研磨板（ ・スタンダード ・テンパード） ・研磨板（ ・スタンダード ・テンパード）																																																						
・インシュレーションボード	I B	○3 A級（ ・天井仕上 ・内装仕上 ・） ・9 ・12 ・15 ・18 ・																																																						
		(表19.7.1)																																																						
		<table><tr><th>種 類</th><th>JISの記号</th><th>厚さ (mm)</th></tr><tr><td>・ロックウール吸音ボード1号</td><td>RW－B</td><td>※25</td></tr><tr><td>※グラスウール吸音ボード32K</td><td>GW－B</td><td>※25</td></tr></table>	種 類	JISの記号	厚さ (mm)	・ロックウール吸音ボード1号	RW－B	※25	※グラスウール吸音ボード32K	GW－B	※25																																													
種 類	JISの記号	厚さ (mm)																																																						
・ロックウール吸音ボード1号	RW－B	※25																																																						
※グラスウール吸音ボード32K	GW－B	※25																																																						
8		壁紙張り	(19.8.2)																																																					
		<table><tr><th rowspan="2">施工箇所</th><th colspan="4">壁紙の種類</th><th rowspan="2">防火性能</th><th rowspan="2">備 考</th></tr><tr><th>紙</th><th>繊維 (織物)</th><th>ブラ (ビニル)</th><th>その他 (化学繊維)</th><th>無機質</th></tr><tr><td>図示</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>・不燃・準不燃・難燃 ・不燃・準不燃・難燃 M「グレート」30A</td></tr></table>	施工箇所	壁紙の種類				防火性能	備 考	紙	繊維 (織物)	ブラ (ビニル)	その他 (化学繊維)	無機質	図示						・不燃・準不燃・難燃 ・不燃・準不燃・難燃 M「グレート」30A																																			
施工箇所	壁紙の種類				防火性能	備 考																																																		
	紙	繊維 (織物)	ブラ (ビニル)	その他 (化学繊維)			無機質																																																	
図示						・不燃・準不燃・難燃 ・不燃・準不燃・難燃 M「グレート」30A																																																		
		素地ごしらえ (表18.2.4～5) (表18.2.7) モルタル、プラスター面 ※B種 ・A種（施工箇所： ） せっこうボード面 ※B種 ・A種（施工箇所： ） 壁紙のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 (19.8.2)																																																						
⑩		断熱・防露	(19.9.2～3)																																																					
		<table><tr><th>種 類</th><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>品質等</th></tr><tr><td>○押出法 ポリスチレン フォーム 保温板</td><td>※2種b ※3種b （スキム層付）</td><td>※一般部 ・25 ・100 ・25 ○30</td><td>特定フロンを使用 しないもの</td></tr><tr><td>・現場発泡断熱材</td><td>※断熱材補修部分 ・一般部</td><td>―― ・20 ・40</td><td>特定フロンを使用 しないもの 難燃性 ・3級 ・2級</td></tr><tr><td colspan="4">製造所 性能の確認できる資料を監督職員に提出する</td></tr><tr><td>・断熱材兼用型材</td><td>・木質系 ・コンクリート系 ・プラスチック系</td><td>※壁（図示の範囲）</td><td>※40以下 断熱抵抗 ＝厚さ/熱伝導率 ＝0.678以上 （㎡・K/w）</td></tr><tr><td colspan="4">製造所 建設技術評価「建築物の断熱材兼用型材工法の開発」において、評価を取得したもの</td></tr></table> ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した 断熱材のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種	種 類	施工箇所	厚さ (mm)	品質等	○押出法 ポリスチレン フォーム 保温板	※2種b ※3種b （スキム層付）	※一般部 ・25 ・100 ・25 ○30	特定フロンを使用 しないもの	・現場発泡断熱材	※断熱材補修部分 ・一般部	―― ・20 ・40	特定フロンを使用 しないもの 難燃性 ・3級 ・2級	製造所 性能の確認できる資料を監督職員に提出する				・断熱材兼用型材	・木質系 ・コンクリート系 ・プラスチック系	※壁（図示の範囲）	※40以下 断熱抵抗 ＝厚さ/熱伝導率 ＝0.678以上 （㎡・K/w）	製造所 建設技術評価「建築物の断熱材兼用型材工法の開発」において、評価を取得したもの																																	
種 類	施工箇所	厚さ (mm)	品質等																																																					
○押出法 ポリスチレン フォーム 保温板	※2種b ※3種b （スキム層付）	※一般部 ・25 ・100 ・25 ○30	特定フロンを使用 しないもの																																																					
・現場発泡断熱材	※断熱材補修部分 ・一般部	―― ・20 ・40	特定フロンを使用 しないもの 難燃性 ・3級 ・2級																																																					
製造所 性能の確認できる資料を監督職員に提出する																																																								
・断熱材兼用型材	・木質系 ・コンクリート系 ・プラスチック系	※壁（図示の範囲）	※40以下 断熱抵抗 ＝厚さ/熱伝導率 ＝0.678以上 （㎡・K/w）																																																					
製造所 建設技術評価「建築物の断熱材兼用型材工法の開発」において、評価を取得したもの																																																								

特 記
事 項



山梨建築設計監理事業協同組合

承認	設計	担当	縮 尺	工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備（建築主体）工事（北ーチンパンジー舎）
			設計年月日	図面名称 特記仕様書 3
				北チ A-04 No.

フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所

構法

仕上り高 (mm)

適用地震時水平力

耐荷重性能

表面仕上げ材

備考

・パネル構法
・溝構法

・1.0G
・0.6G

・3,000N
・5,000N

・帯電防止床タイル
・タイルカーペット

・パネル構法
・溝構法

・1.0G
・0.6G

・3,000N
・5,000N

・帯電防止床タイル
・タイルカーペット

・パネル構法
・溝構法

・1.0G
・0.6G

・3,000N
・5,000N

・帯電防止床タイル
・タイルカーペット

5,000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーアクセスフロアの開発」の建設技術評価において評価を取得したものは同等品とする。

表面仕上げ材の品質・規格等は、19年内装工事によるスロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 図示
コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様（コンセント本体は別途設備工事）
コンセントの箇所数は図示

配線用取り出しパネル 配線取り出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上
フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※20～30％
空調用吹き出しパネル ※無し
有り（※固定式 ・可変式 ：施工箇所は図示）

可動間仕切

(20.2.3)

構造形式

パネル部の総厚さ (mm)

表面材質厚さ (mm)

表面仕上

遮音性能

防火性能

・スタッド式
・スタッドパネル式
・パネル式

・60

※鋼板
（※0.6 ・0.8）

※メラミン樹脂又は
アクリル樹脂焼付け

・あり
（ ）
・なし

・あり
・なし

移動間仕切

(20.2.4)

遮音性能

厚さ (mm)

表面材

表面仕上

操作方法

・一般タイプ

60

※鋼板

○焼付け塗装
・壁紙張り

○手動式
・電動式

・電動式

・遮音タイプ
（36db以上）

※鋼板

・焼付け塗装
・壁紙張り

・手動式
・電動式

・電動式
・部分電動式

表面仕上の壁紙張りの品質は19年内装工事による遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する

トイレブース

(20.2.5)

表面仕上げ材

※メラミン樹脂系化粧板（標準色 アルミ製コーナエッジ付き）
・ポリエステル樹脂系化粧板
足形状 ※幅木型 ・足金物型

手すり

(20.2.6)

種 別

施工箇所

※集成材クリアラッカー仕上げ
（市販品 径 約45mm）
・既成品

階段

階段滑止め

(20.2.7)

材 種

形 状

幅 (mm)

取付け工法

ステンレスSUS304
ビニルタイヤ入り
両端フラットエンド ※有り（・ステンレス製 ※ビニル製） ・無し

約35

※接着工法 ・埋込み工法

床目地枠

(20.2.8)

材 種

ステンレスSUS304

黒板及びホワイトボード

(20.2.9)

種 類

寸法 (mm)

色 彩

備 考

・黒板

※焼付け

※緑 ・黒
※緑 ・黒

※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分

・ホワイトボード

※ほうろう

※白

※平面 ・曲面 ・スクリーン付引分

鏡

(20.2.10)

寸法 (mm)

厚さ (mm)

図示

※5

表示

(20.2.11)

衝突防止表示
※図示（市販品 ※ステンレス製 径約30mm ・）
（・両面 ・片面）
・無し
表示構法、案内用図記号についてはJIS Z 8210による
誘導構法、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。

タラップ

(20.2.12)

種類・仕上材は特記による

煙突用成形ライニング

(20.2.13)

・煙突用成形ライニング材
最高使用温度 ※650℃ ・400℃

・キャストابل耐火材
工 法 ※こて押さえ
最高使用温度 ※400℃

ブラインド

(20.2.14)

形 式

種 類

スラットの材質

スラットの幅 (mm)

※ギヤ式
・操作棒式

※コード式

※アルミニウム合金製

※25

・縦型

・1本操作コード
・2本操作コード

・アルミスラット
・クロススラット

・80
・100

ロールスクリーン

(20.2.15)

防災性能 ※有り

施工箇所

装 置

備 考

電動 手引

カーテン

(20.2.16)

施工箇所

形 式

装 置

ひだの種類

性 能

備 考

片引 引分

電動 ひも引 手引

片ひだ

遮光

片ひだ

防炎（A級）

片ひだ

防炎（B級）

片ひだ

防炎（A級）

カーテンレール

(20.2.16)

材 種 ※アルミニウム製 ・ステンレス製
形 式 ・片引き ・引分け（※標準用は300mm以上の引合せの重掛けとする）

ブラインドボックス及びカーテンボックス

・市販品（アルミニウム製 押出し型材）
溝幅×深さ (mm) ・90×150 ※120×80 ・120×150 ・150×80 ・
※B＝1 ・B＝2（※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー）
・図示

耐震スリット

方 向	タイプ	耐火性能	防水性能
・垂直方向 ・水平方向	※完全（全貫通型）スリット	・耐火型 ・非耐火型	・有り ・無し

目 地	内壁（幅×深さ）	外壁（幅×深さ）
目地材	シーリング材（見え掛かりのみ）	シーリング材（内外とも）
目地寸法 (mm)	※20×10	※20×10

形 状 ・据置式 ・壁張り式 ・差込式
寸 法
製造所

材 質 アルミニウム製（※額縁タイプ ・目地タイプ）

材 質 アルミニウム製（受け枠 ※アルミ製 ・ステンレス製）

止水板

天井点検口（電気・機械設備工事）

床点検口

鋼製書架及び物品櫃

種 類	規格等	耐荷重による種類
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	水平荷重Ⅰ又は水平荷重Ⅱ
・鋼製物品櫃	JIS S 1040の規格による	※1種 ・2種 ・3種

市販品
形 式 ・30組用 ・60組用 ・120組用 ・

市販品
材 質 ・塩化ビニル製（コイル状 ステンレス製受枠） ・ビニル製（ステンレス製受枠）
・硬質アルミニウム製（受枠とも） ・ステンレス製（受枠とも）

種 類	寸法（L＝ mm）	適用内容	規格・品質等
・流し台	※1200 ・1500 ・1800	トラップ付き	※優良住宅部品
・コンロ台	※600 ・700	バックガード ※有り	（セクショナルキッチンⅠ型）
・つり戸棚	※1200 ・900 ・600		
・水切り棚	※1200 ・900	ステンレス製 ※1段式	※市販品

枠の材質 ※アルミニウム製
表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り ・

材 種 ・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材） ・人工大理石
奥行き (mm) ・約450 ・約600

洗面カウンター

防壁埋れ壁

材 質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備 考
※網入り磨板ガラス ・挿入り磨板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き

種 類	材 質	高さ (mm)	備 考
・可動式			
・垂直降下式（巻取り型）	※不燃布（不燃認定品）	※500 ・800	ガイドレール ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型）
・回転降下式	鋼板製又はアルミ製	※500 ・800	表面仕上げ ※天井材張り

降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）

視覚障害者用床タイル（誘導用及び注意喚起用床材）

(19.2.2)

ブロックパターンはJIS T 9251による
色は黄色を原則とする
屋 内 ※塩化ビニル製 ・磁器又はせっ器質タイル（※300 ・）
・レジンコンクリート製
屋 外 ※レジンコンクリート製 ・磁器又はせっ器質タイル（※300 ・）
・ステンレス製

旗竿

旗竿受金物

フェンス

屋外掲示板

車止め支柱

収納家具

エキスパンション・ジョイント金物

プレキャストコンクリート工事

(20.3.2)

※ステンレス製（上下式・側内蔵型） 径114.3mm t＝2.5mm H＝G L＋700mm
※スプリング付 ・スプリング無し

間知石及びコンクリート間知ブロック積み

(20.4.2)

間知石は表面がほぼ方形に近いもので、控えは四方落としとし、控え長さは面の最小辺の1.2倍とし、材質は特記材料による
コンクリート間知ブロックはJIS A 5371（プレキャスト無筋コンクリート製品）の積みブロックに基づき、種類及び質量区分は特記による

排水工事

1 排水管

排水管用材料 (21.2.3)（表21.2.1）（21.3.1～3.2）

材 種	管の種類	管形状（接合方法）
※遠心力鉄筋コンクリート管	※外圧管（※1種 ・2種）	B形（ゴム接合）
・硬質ポリ塩化ビニル管	※VP ・VU	
・排水用サイクル硬質ポリ塩化ビニル管	・REP・VU	
・硬質ポリ塩化ビニル管	・DV	

車道部の排水管の敷設 (21.3.1～2)
※図示
・砂基礎（地床厚さ20cm以上 材料 山砂の類）

舗装製マンホールふた (21.2.2)

種 類	適用荷重
・水封形 ・簡易気密形（パッキン式）	・T＝2角 ・T＝6角 ・T＝14角 ・T＝20角
・密閉形（テーパー・パッキン式）	
・中ふた付密閉形	

グレーチングふた	材 質	形 式	種 類	適用荷重	メンバーピッチ	上面形状
・鋼製 ・ステンレス製	※受枠付き	・溝ふた用 ・柵ふた用 ・かさ上げ用 ・U字溝用 ・図示	・溝ふた用 ・歩行用 ・T＝2用 ・T＝6用 ・T＝14用 ・T＝20用	※細目 ※普通目 ※細目	※凹凸形 ※凹形	

※日種 ・ (21.2.2～3)（表3.2.1）
製造所

2 排水溝及びふた

3 埋戻し土

4 浸透管及び浸透槽

舗装工事

1 盛り土に用いる材料

・A種 ※日種 ・C種 ・D種 (22.2.3)（表3.2.1）

2 遮断層及び凍上抑制層の材料

・遮断層 ※川砂、海砂又は質な山砂 ・
厚さは図示
・凍上抑制層 ※再生クラッシャーラン ・クラッシャーラン 切り込み砂利 ・砂
厚さは図示
・フィルター層 ※透水性舗装 車道部150mm・歩道部50mm

3 路床安定処理

※添加材料による安定処理 (22.2.2～3)（表22.2.1）
種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種
・生石灰（ ） ・消石灰（ ）
添加量 kg/m³（目礫C B R ※5以上 ・）

4 路床土の支持力比試験

※行う（※乱し土 ・乱さない土） (22.2.5）

5 路床締固め度の試験

※行う (22.2.5）

6 路盤材料

※再生クラッシャーラン（RC-40） (22.3.3）
・クラッシャーラン（C-40）又はクラッシャーランラグ（CS-40）
透水性アスファルト舗装にもちいる場合は透水性の高いもの

7 アスファルト舗装

(22.4.2)（表22.4.1）

舗装の種類	車道部の基層	カラー舗装の種類
※アスファルト舗装	※無し ・有り	※顔料混入加熱アスファルト混合物
・カラー舗装	※無し ・有り	

カラー舗装の着色剤 ・着色骨材（焼成） ・着色骨材（樹脂被覆）
アスファルト ※再生アスファルト ② ・ストレータアスファルト (22.4.3）

加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)（表22.4.4）

区分	※一般地域	※寒冷地域
表層	※密粒度アスファルト混合物（13F） ・細粒度アスファルト混合物（13）	※密粒度アスファルト混合物（13F） ・細粒度ギャップアスファルト混合物（13F）
基層	※粗粒度アスファルト混合物（20）	

シールコート ※行わない ・行う（施工範囲： ） (22.4.5）

アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.4.6）

8 コンクリート舗装

早強セメント ※使用しない ・使用する (22.5.3）
注入材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ (22.5.3)（表22.5.2）
溶接金網 ※有り ・無し (22.5.3～4）
厚さ試験 ※行わない ・行う (22.5.6）

9 透水性アスファルト舗装

アスファルト混合物の抽出試験 ※行わない ・行う (22.7.4)（22.7.6）

10 ブロック系舗装

(22.8.2～4)			
種 類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材
※普通平板（N） ・洗出平板（W）	・カラー平板（C） ・縦石平板（S）	※300角 ※60	※砂 ・モルタル

(22.8.2～4)			
種 類	厚さ (mm)	色彩及び表面加工等	
※標準ブロック ・透水性ブロック ・誘導、注意喚起用ブロック ・植生ブロック	車道部 ※80 ・ 歩道部 ※60	※標準品 誘導、注意喚起用は黄色系とする	
	※80 ・100		

インターロッキングブロック

項 目	品 質 ・ 性 能
セメント	JIS R 5210ポルトランドセメント、JIS R 5211高炉セメント、JIS R 5212シリカセメント、JIS R 5213フライアッシュセメント、白色ポルトランドセメントとする。
骨材	清浄、強硬、耐久で、適当な粒度をもち、ごみ、泥、有機物、薄い石片、細長の石片を含んでいない。
混和材料	インターロッキングブロックの品質に有害な影響を及ぼさない。
着色材料	無機質材料を用い、耐候性に優れ、かつインターロッキングブロックの品質及び環境に有害な影響を及ぼさない。

使用上有害なまきず、ひびわれ、欠け、変形等がない。

寸法許容差 (mm)	長 さ	幅	厚 さ
普通タイプ	±3	±3	±3
透水性タイプ	±3	±3	+5～-1
植生用タイプ	±3	±3	±3

曲げ強度 (N/mm ²)	普通タイプ 透水性タイプ 植生用タイプ	5.0以上 3.0以上 4.0以上
透水係数 (cm/sec)	透水性タイプ	1×10 ⁻² 以上
圧縮強度 (N/mm ²)	普通タイプ 透水性タイプ	32.0以上 17.0以上

(22.8.2～4)			
種 類	厚さ (mm)	施工方法	基 層
※小舗石（花こう岩）	※80～100	※うろこ張り	※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装

路面標示用塗料

JIS K 5605（路面標示用塗料）による

種類	施工	適用	色	幅 (mm)	布厚さ (mm)	揮発性有機溶剤の含有率
・1種 ②	常温	液状	※白	※150	※1.0	塗料総質量に対して5％以下
・1種 ②	加熱					
・3種 1号	溶融	粉体状				

芝及び地被類 (23.2.2～3)（表23.2.1～2）

適用	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整備範囲
※行う ・行わない	※20	※日種	※種裁範囲 ・図示

樹木 (23.2.2～3)（表23.2.1～2）

樹木の樹高 (m)	有効土層の厚さ (cm)	工 法	整備範囲
・12以上 ・7層～12未満 ・3層～7以下 ・3以下	※100 ・ ※80 ※60 ※50	※A種 ・B種 ・C種 ・D種	・葉張りの範囲 ただし、低木は種裁範囲 ・図示

工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高からを有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。

※現場発土の良質土 ・客土（※畑土 ・黒土） (23.2.3）

※適用する (23.2.3～4）
施工箇所 ※種裁範囲 ・図示

パークたい肥
有機物の含有量（乾物） : 70％以上
炭素窒素比（C/N比） : 35以下
陽イオン交換容量（乾物） : 70meq/100g以上
pH : 5.5～7.5
水分 : 55～65％
幼植物試験の結果 : 生育阻害その他の異常を認めない
窒素含量（現物） : 0.5％以上
りん酸含量（現物） : 0.2％以下
加里含量（現物） : 0.1％以上

発酵下水汚泥コンポスト
「金属等を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令」の別表第一の基準に適合する原料を使用したもので、検査試験の調査の結果、害が認められないものとする
ひ素 : 0.005％以下
カドミウム : 0.0005％以下
水銀 : 0.0002％以下
ニッケル : 0.03％以下
クロム : 0.05％以下
鉛 : 0.01％以下
有機物の含有量（乾物） : 35％以上
炭素窒素比（C/N比） : 20以下
pH : 8.5以下
水分 : 50％以上
窒素含量（現物） : 0.8％以上
りん酸含量（現物） : 1.0％以上
アルカリ分（現物） : 15％以下

植栽工事

1 樹木の植栽基礎整備

芝及び地被類

2 植込み用土

3 土壌改良材

4 支柱材

5 幹巻き用材料

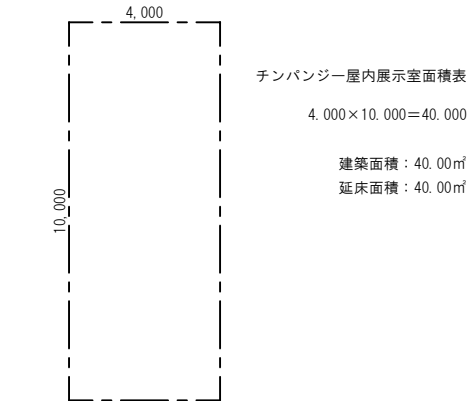
6 芝張り

7 屋上緑化



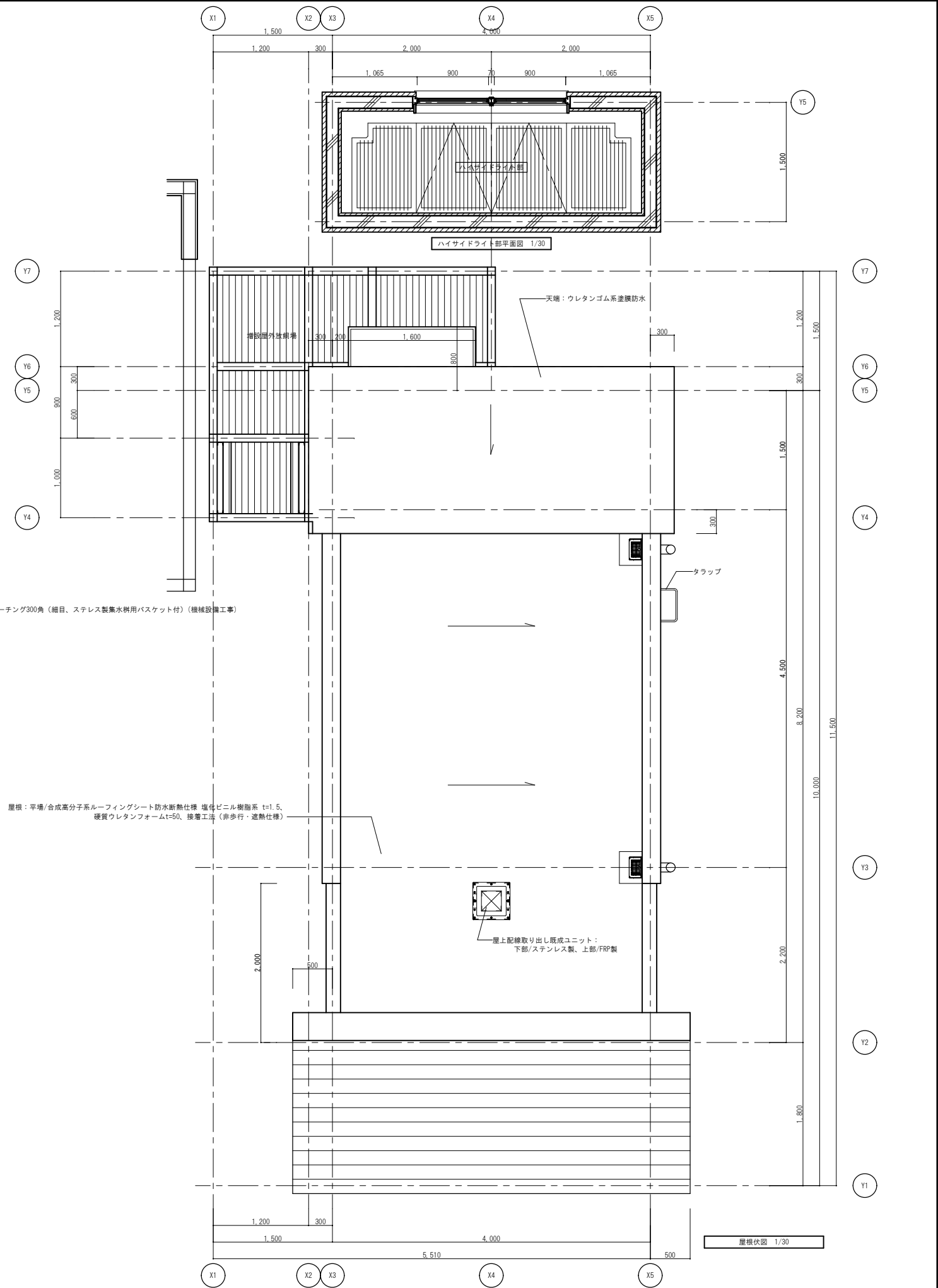
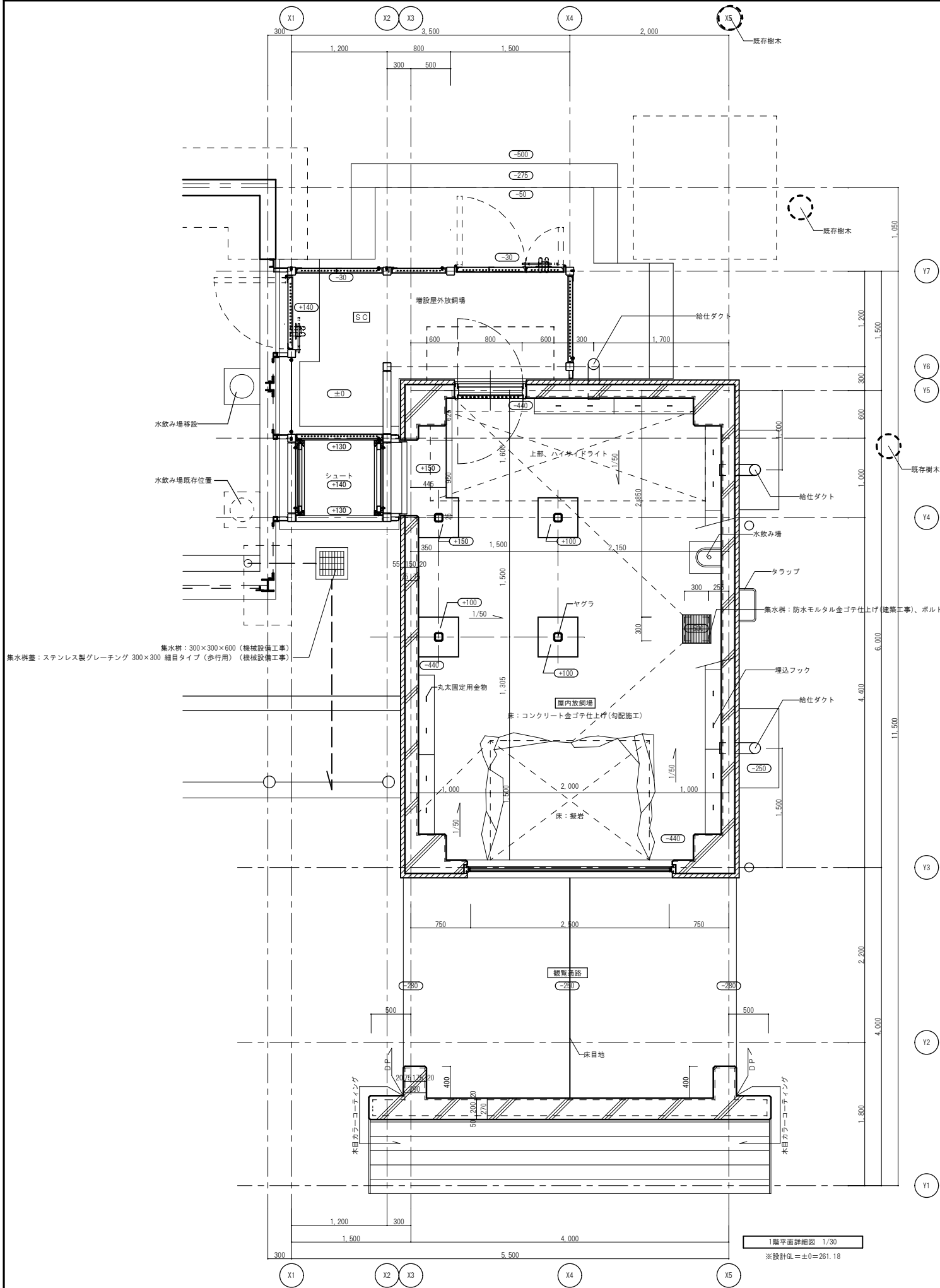
部位	仕 上 げ	部 位	仕 上 げ
屋根	平場/合成高分子系ルーフィングシート防水断熱仕様 塩化ビニル樹脂系 t=1.5、硬質ウレタンフォームt=50、接着工法（非歩行・遮熱仕様）、コンクリート金ゴテ下地	観覧通路	床：コンクリート金ゴテ（勾配施工）、塗布式ソイルコート
	立上り/合成高分子系ルーフィングシート防水 塩化ビニル樹脂系 t=1.5、硬質ウレタンフォームt=30、接着工法（非歩行・遮熱仕様）		外壁１：普通合板型枠コンクリート下地、断熱材：ビーズ法ポリスチレンフォームt=50、ガラスメッシュ、モルタル塗りプライマーの上アクリル樹脂系仕上塗材
	アルミ製防水押エ金物、アルミ笠木W=300、350		外壁３：打放合板型枠コンクリート下地、D P
	天井：ケイカル板t=6.0 EP-G塗、LGS下地		
ハイトライト屋根庇	天端：ウレタンゴム系塗膜防水 コンクリート金ゴテ下地 アルミ製防水押えアングル	断熱材	床：押出法ポリスチレンフォームt=30、防湿ポリエチレンフィルム t=0.15 壁/外壁仕様による 天井/屋根仕様による
	軒天：コンクリート打放し補修 水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗材		地下外壁：コンクリート打放し補修、自閉樹脂塗膜防水塗布、保護剤/押出法ポリスチレンフォームt=30
	側面：打放合板型枠コンクリート下地、D P		ハイトライト部：複合板打込み t=35（発泡ポリスチレンフォームt=30+ケイカル板t=5）
樋・ドレイン	樋/塩ビ製カラーφ114、ドレイン/鋳鉄製横引ドレイン 100用		
外壁	外壁１：普通合板型枠コンクリート下地、断熱材：ビーズ法ポリスチレンフォームt=50、ガラスメッシュ、モルタル塗りプライマーの上アクリル樹脂系仕上塗材	その他	ケージ：ケージ詳細図参照
	外壁２：特殊樹脂化粧型枠コンクリート打放し 木目カラーコーティング		給仕ダクト：塩ビ製カラーφ125、塩ビキャップ
開口部	スチール製ドア 見込100 スチールアルミサッシ見込70		屋上点検用タラップ：ステンレス製タラップ、取付金物共
ガラス	強化ガラス12+強化ガラス12、強化ガラス5、Low-E3+A6+FL3		屋上配線取り出し既成ユニット：下部/ステンレス製、上部/FRP製
シュート・SC	床：コンクリート金ゴテ（勾配施工）、 目地φ1500		
	ケージ：ケージ詳細図参照		
外巾木	コンクリート打ち放し補修		
＜凡例（塗装記号）＞ ・EP ー 合成樹脂エマルションペイント ・EP-G ー つや有合成樹脂エマルションペイント ・SOP ー 合成樹脂調合ペイント ・OSCL ー オイルステイン・クリヤラッカー ・溶融亜鉛メッキー A種(6mm以上)・B種(3.2mm以上)・C種(1.6mm以上) ・DP ー ポリウレタン樹脂（3級）カラー		＜メーカーリスト（同等品以上）＞ ・合成高分子系ルーフィングシート防水断熱仕様：126仕様【ロンシール工業】 ・特殊樹脂化粧型枠：モールドスターTSS701【住理工商】 ・木目カラーコーティング：ハイブリッドカラーコーティング工法 G-1グレード【住理工商】 ・自閉樹脂塗膜防水塗布：バラテックスB-2工法【大関化学工業】 ・屋上配線取り出し既成ユニット：テクノポップ【岩谷テクノ】	

	室名	F L	床	巾木	壁		天井	廻り縁	天井高	備考
					下地	仕上				
	屋内放飼場	-440 ┆ -500	コンクリート金ゴテ仕上げ(勾配施工) ウッドチップ敷（動物園工事）	打放合板型枠コンクリート打放、 DP(カラー)		打放合板型枠コンクリート打放、DP(カラー)	打放合板型枠コンクリート打放、DP(カラー)		3.330 2.980	ハイスайдライト部：壁・天井/複合板打込み t=35（発泡ポリスチレンフォームt=30+ケイカル板t=5）、ヤグラ：詳細図参照 床暖房部：シンダーコンクリートt=170、押出法ポリスチレンフォームt=30、サンドクッション t=150、擬岩床仕上 天井吊金物：SUS製φ22、丸太固定用金物：SUS製φ19、ハイスайдライト侵入防止格子、照明器具保護格子、水飲み場：コンクリート打ち放し仕上げ、給気口カバー、空調ダクトカバー 集水溝：防水モルタル金ゴテ仕上げ(建築工事)、ボルト固定式ステンレス製グレーチング300角（細目、ステレス製集水溝用バケット付）(機械設備工事)
<div><凡例（下地記号）></div> <div><div>・C</div><div>：</div><div>コンクリート</div></div> <div><div>・CB</div><div>：</div><div>コンクリートブロック t=100・120</div></div> <div><div>・LGS</div><div>：</div><div>軽重鉄骨下地 壁：65・100型 @303・455、天井：25型（外部） @303・360・19型（内部） @303・360</div></div> <div><div>・DP</div><div>—</div><div>ふっ素樹脂（1級）カラー</div></div>										

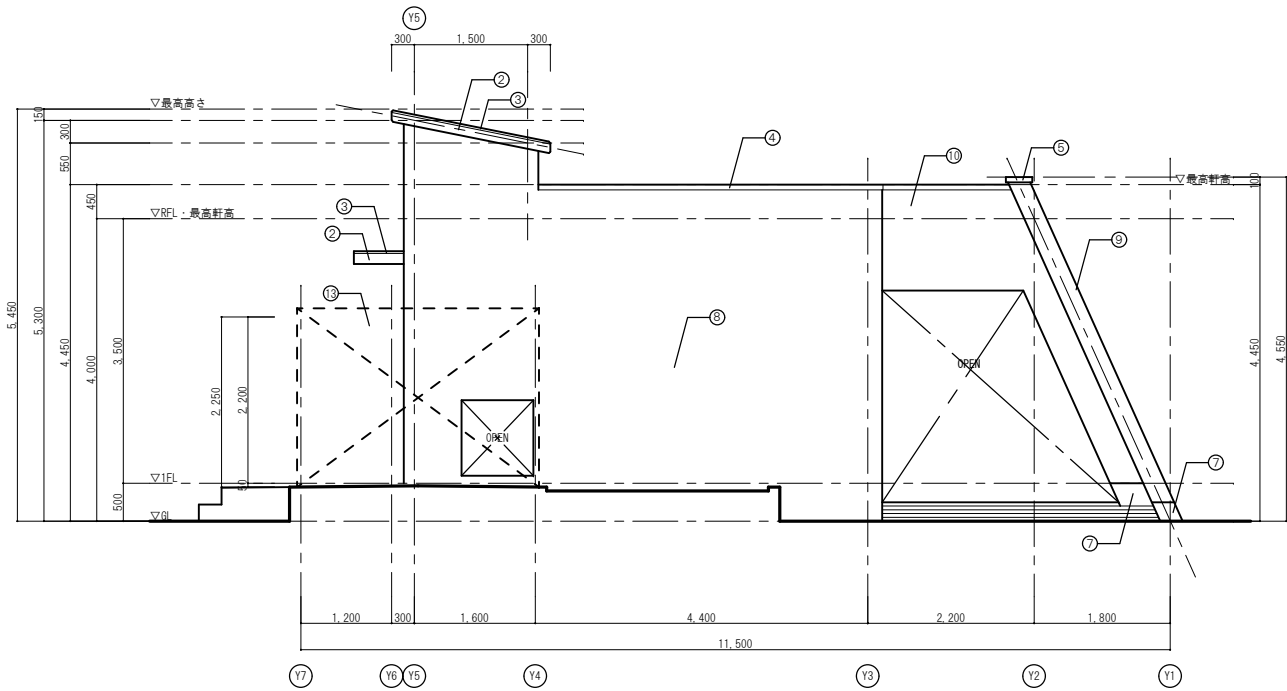


チンパンジー屋内展示室求積図 S=1：100

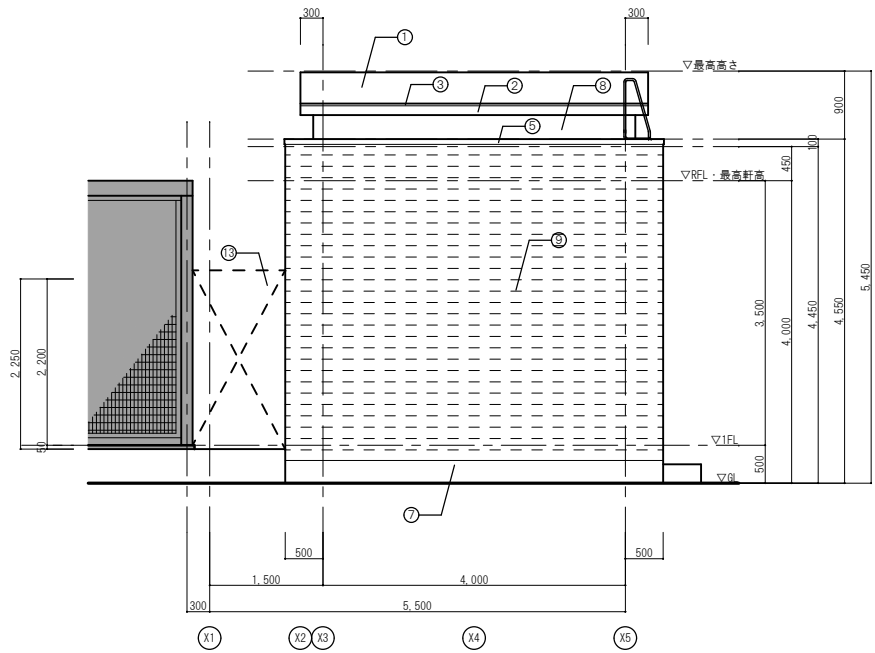
特記事項	<div><div></div><div>山梨建築設計監理事業協同組合</div></div>	承認	設計	担当	縮尺	工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事（北ーチンパンジー舎）	図面名称 外部仕上表・内部仕上表・求積図・面積表	北チ A-06 No.
					A1→1/100 A3→1/200			
					設計年月日			



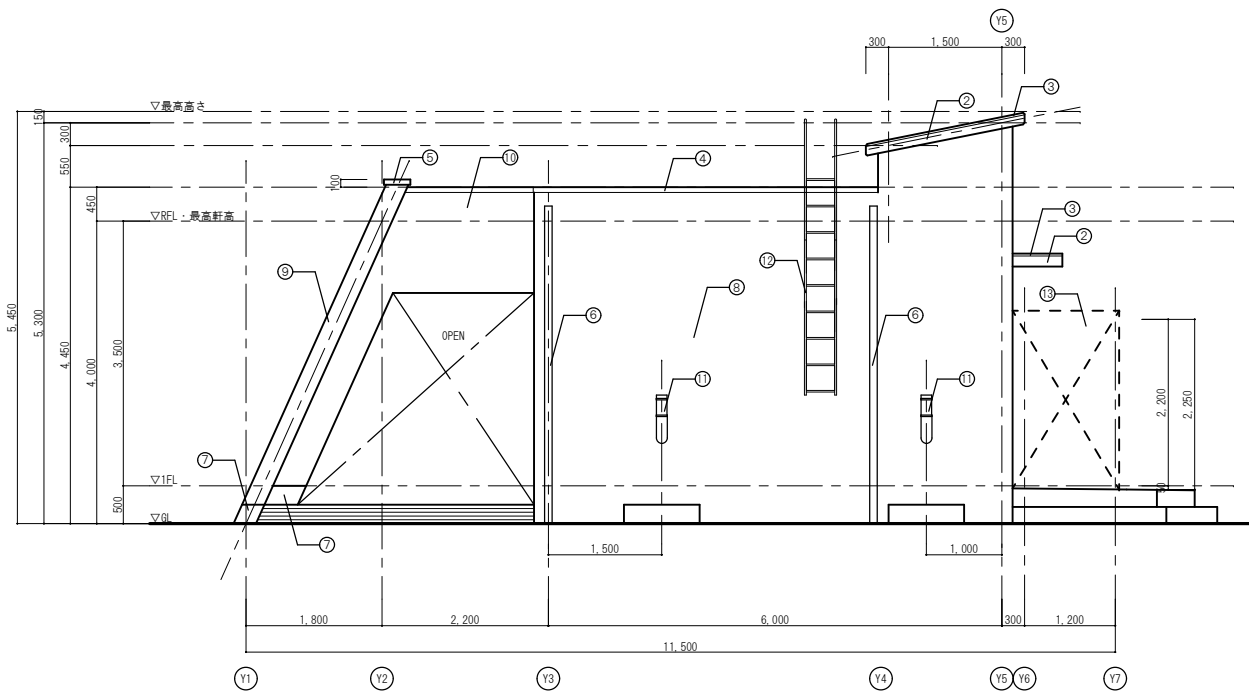
記号	部位	仕 上	記号	部位	仕 上
①	バザイトライ 屋根	ウレタンゴム系塗膜防水	⑥	外壁1	アクリル樹脂系仕上塗材
②	屋根・庇 側面	D P	⑦	外壁2	特殊樹脂化粧型枠コンクリート打放し 木目カラーコーティング
③	防水押え	アルミ製防水押えアングル	⑩	外壁3	D P
④	笠木	アルミ笠木 W=300	⑪	給仕 ダクト	塩ビ製カラーφ125、塩ビキャップ
⑤	笠木	アルミ笠木 W=350	⑫	タラップ	ステンレス製タラップ
⑥	壁構	塩ビ製カラーφ114	⑬	ケージ	詳細図参照
⑦	外巾木	コンクリート打放し補修			



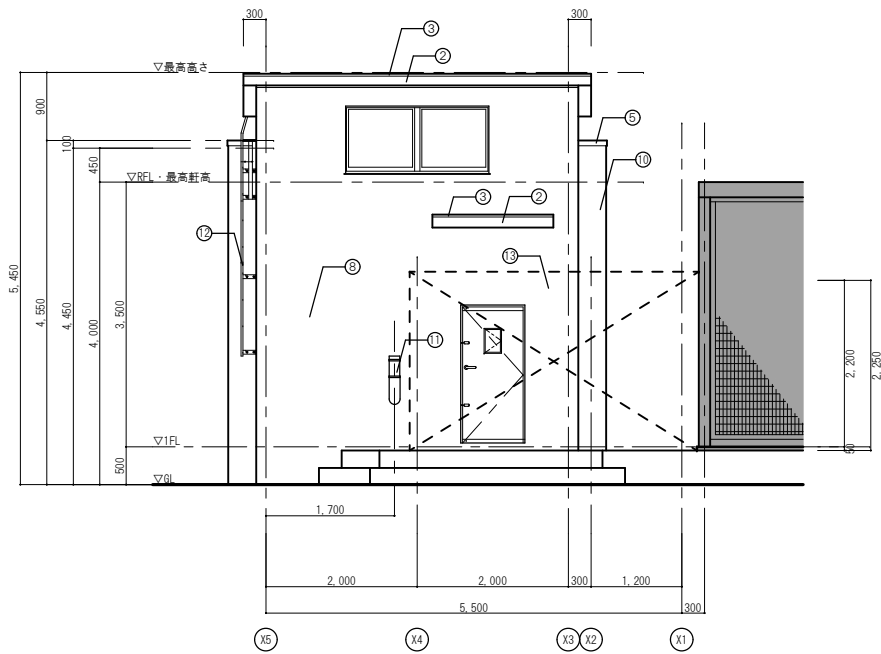
北側立面図



西側立面図



南側立面図



東側立面図

※設計値±0=261.18

特記事項



山梨建築設計監理事業協同組合

承認

設計

担当

縮 尺

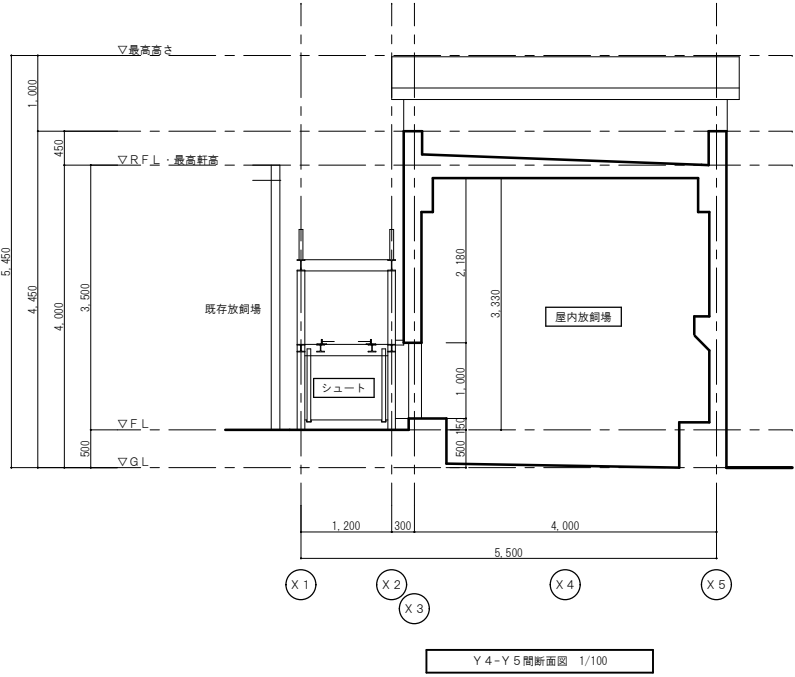
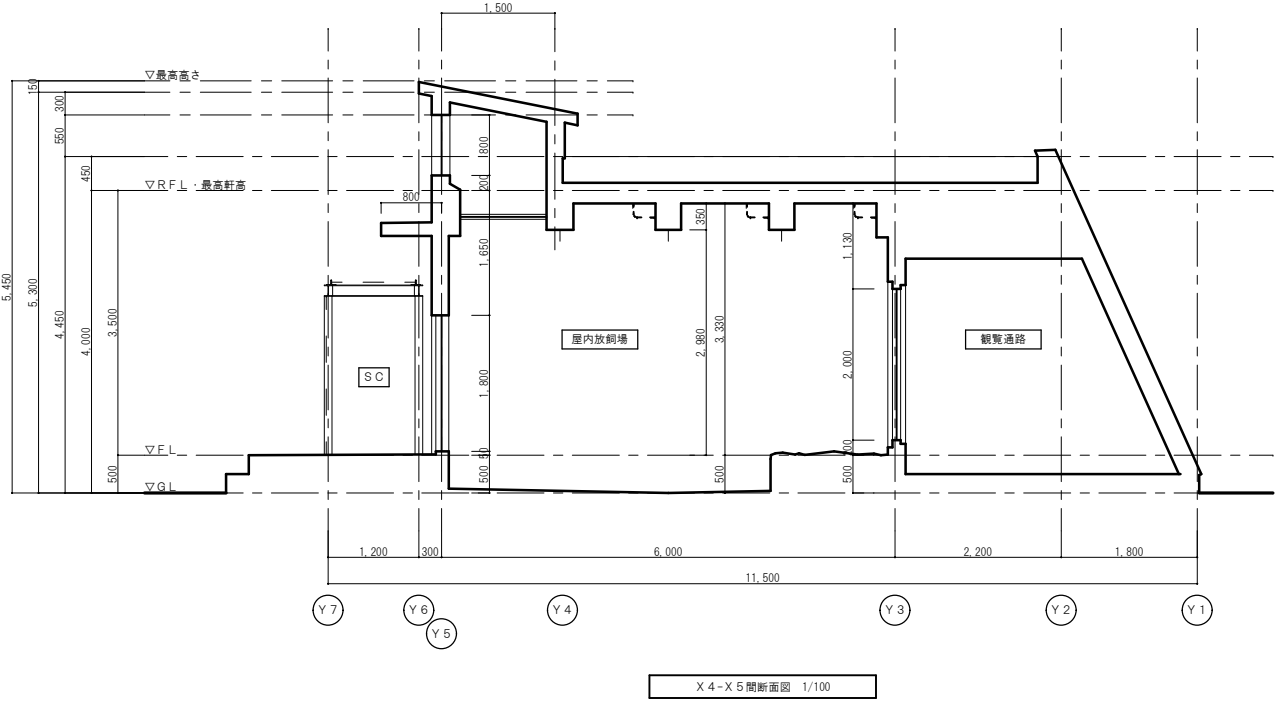
A1→1/50 A3→1/100

設計年月日

工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (北ーチンパンジー舎)

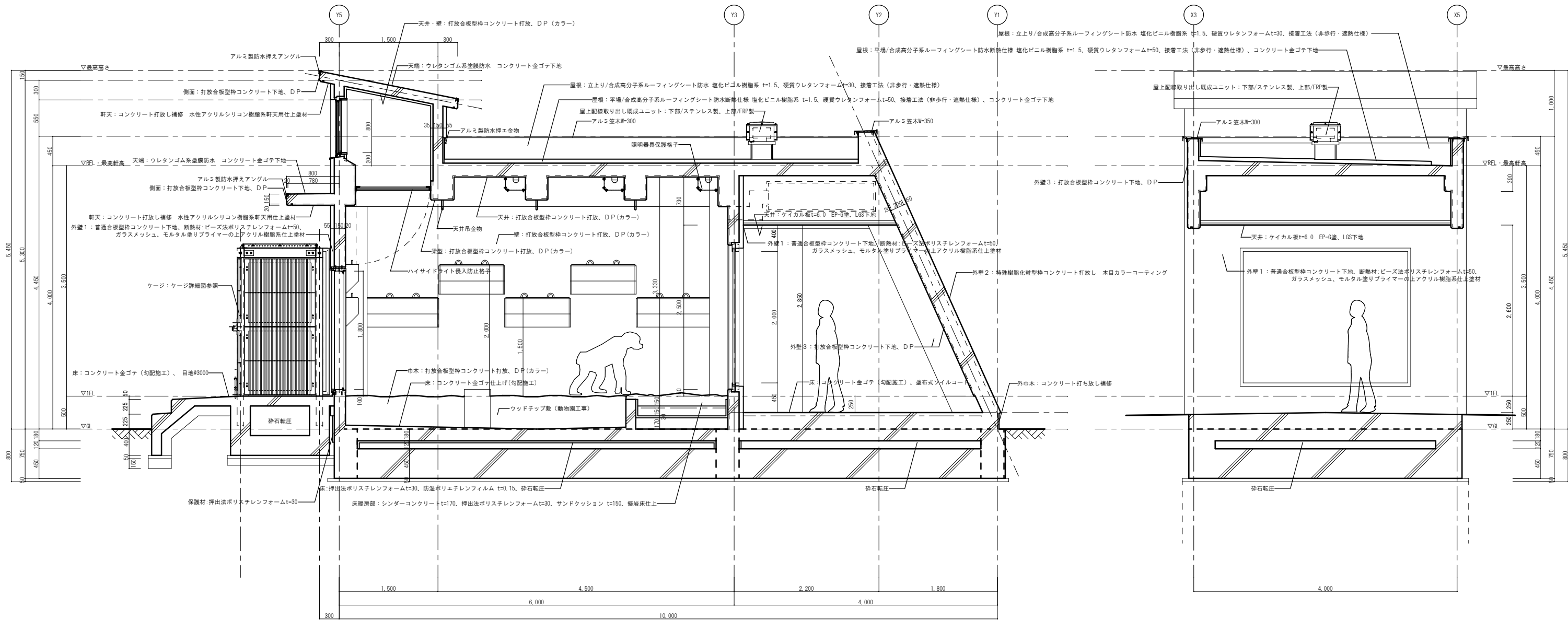
図面名称 増設屋内放飼場 立面図

北チ A-08
No.



※設計値=±0=261.18

特記事項		山梨建築設計監理事業協同組合	承認	設計	担当	縮尺	工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (北ーチンパンジー舎)	北チ A-09 No.
						A1→1/100 A3→1/200		
						設計年月日		
						図面名称 断面図		



※設計値±0=261.18

特記事項

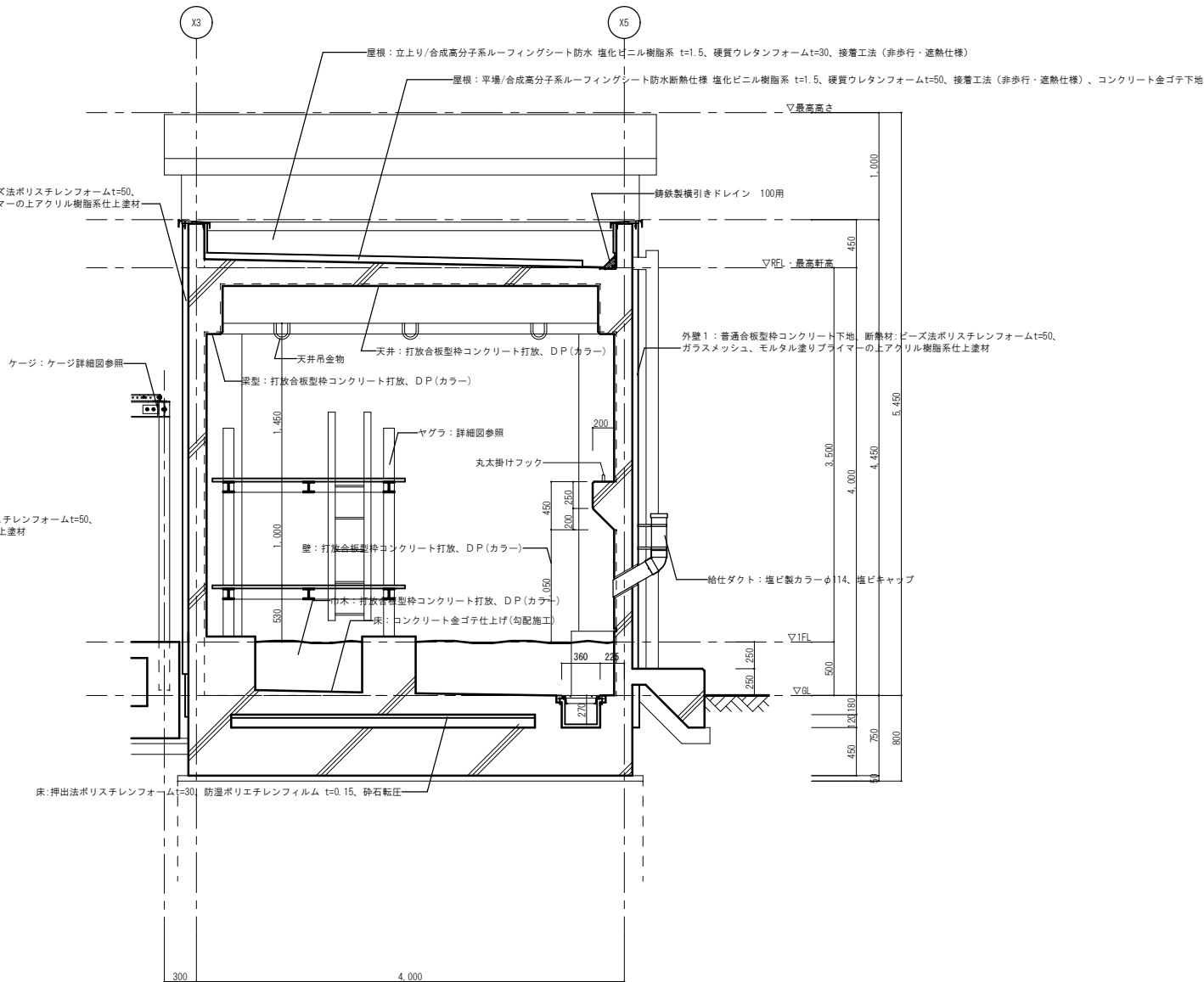
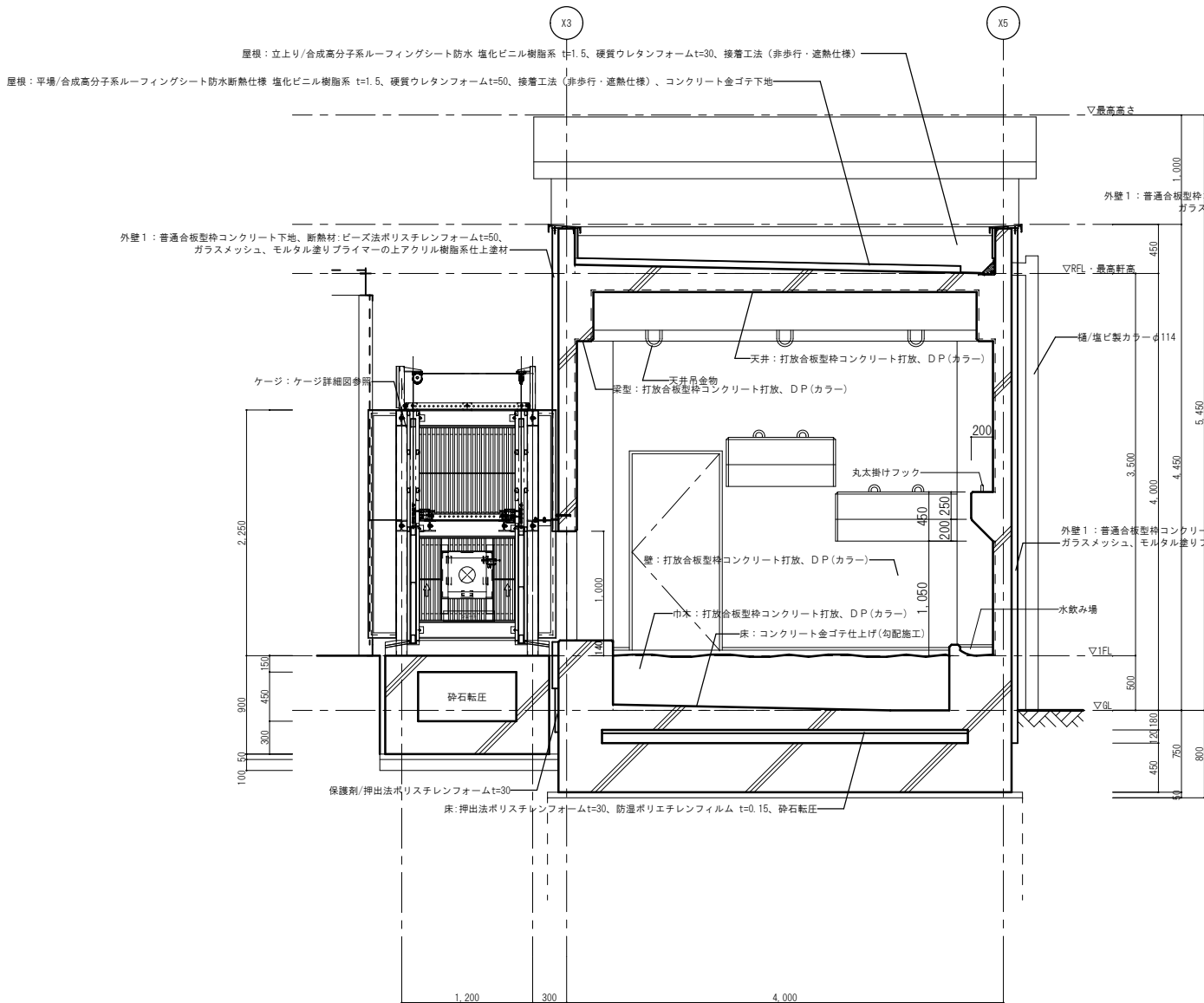


山梨建築設計監理事業協同組合

承認 設計 担当 縮尺
A1→1/30 A3→1/60
設計年月日

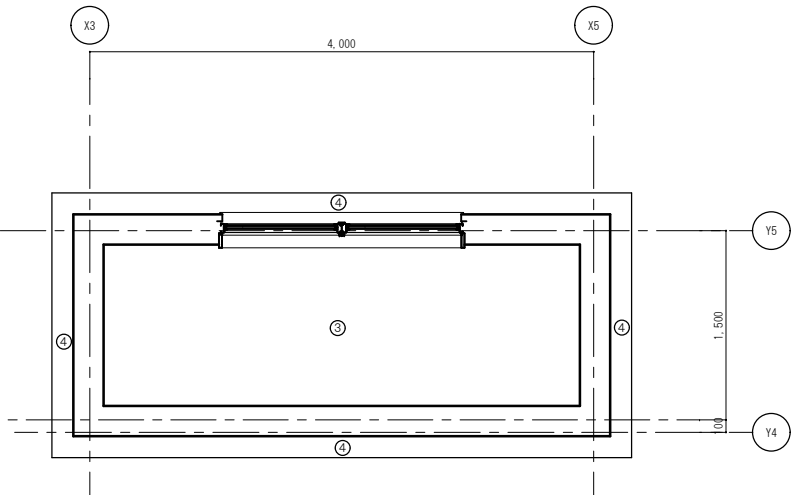
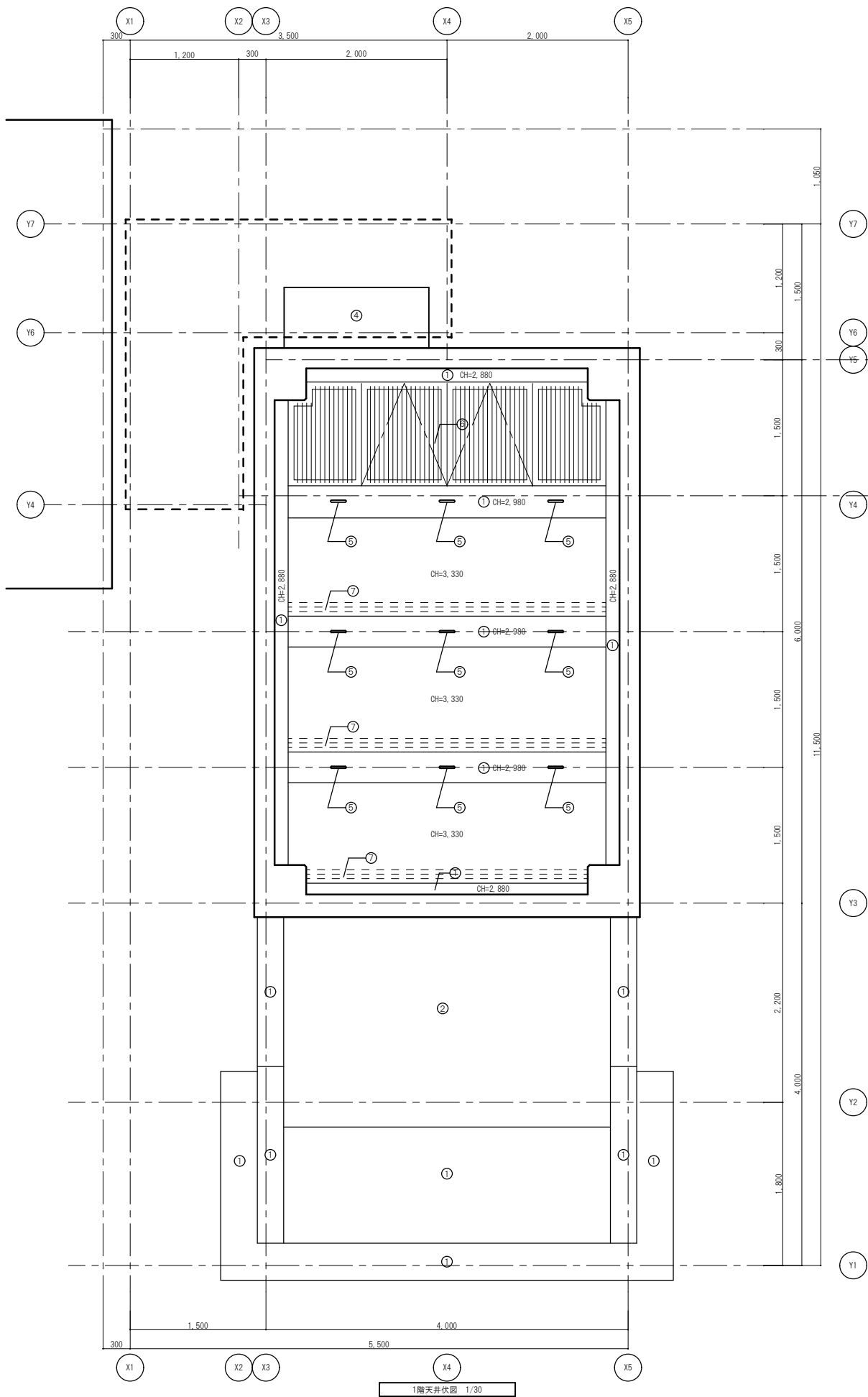
工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (北ーチンパンジー舎)
図面名称 矩計図 1

北チ A-10
No.



※設計値±0=261.18

特記事項	<div><div></div><div>山梨建築設計監理事業協同組合</div></div>			承認	設計	担当	縮尺	工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (北ーチンパンジー舎)	北チ A-11 No.
							A1→1/30 A3→1/60		
							設計年月日		
							図面名称 矩計図 2		



記号	仕 上
①	D P (カラー)
②	ケイカル板t=6.0 EP-0塗
③	複合板打込み t=35 (発泡ポリスチレンフォームt=30+ケイカル板t=5)
④	水性アクリルシリコン樹脂系軒天用仕上塗材
⑤	天井吊金物
⑥	ハイスайдライト侵入防止格子
⑦	照明器具保護格子

特 記
事 項



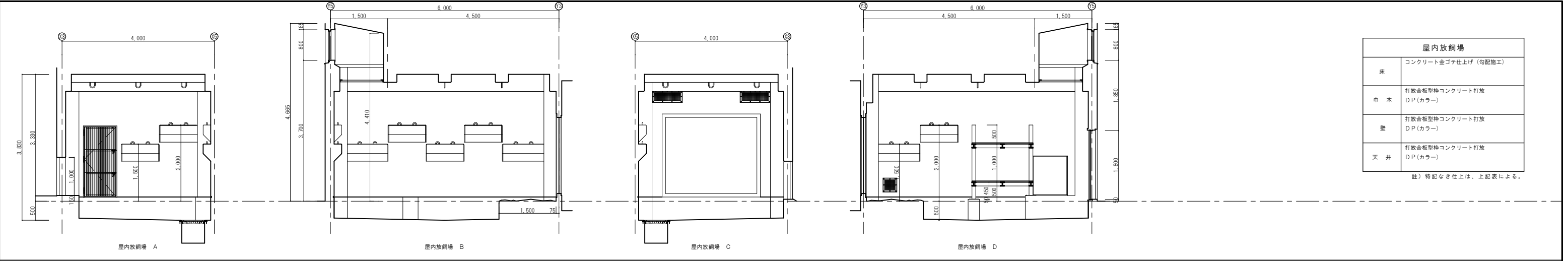
山梨建築設計監理事業協同組合

承認	設計	担当

縮 尺
A1→1/30 A3→1/60
設計年月日

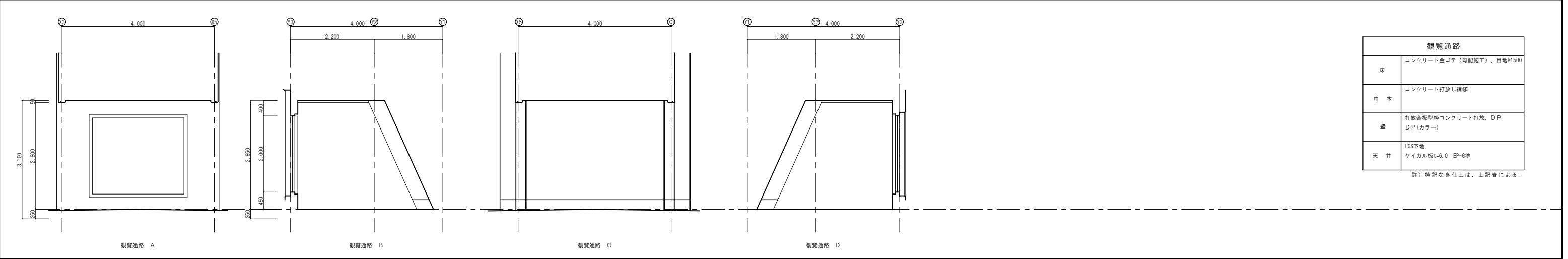
工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (北ーチンパンジー舎)
図面名称 天井伏図

北チ A-12
No.



屋内放飼場	
床	コンクリート金ゴテ仕上 (勾配施工)
巾 木	打放合板型枠コンクリート打放 DP (カラー)
壁	打放合板型枠コンクリート打放 DP (カラー)
天 井	打放合板型枠コンクリート打放 DP (カラー)

註) 特記なき仕上は、上記表による。



観覧通路	
床	コンクリート金ゴテ (勾配施工)、目地幅1500
巾 木	コンクリート打放し補修
壁	打放合板型枠コンクリート打放、DP DP (カラー)
天 井	LGS下地 ケイカル板t=6.0 EP-0塗

註) 特記なき仕上は、上記表による。

特 記 _____
事 項 _____

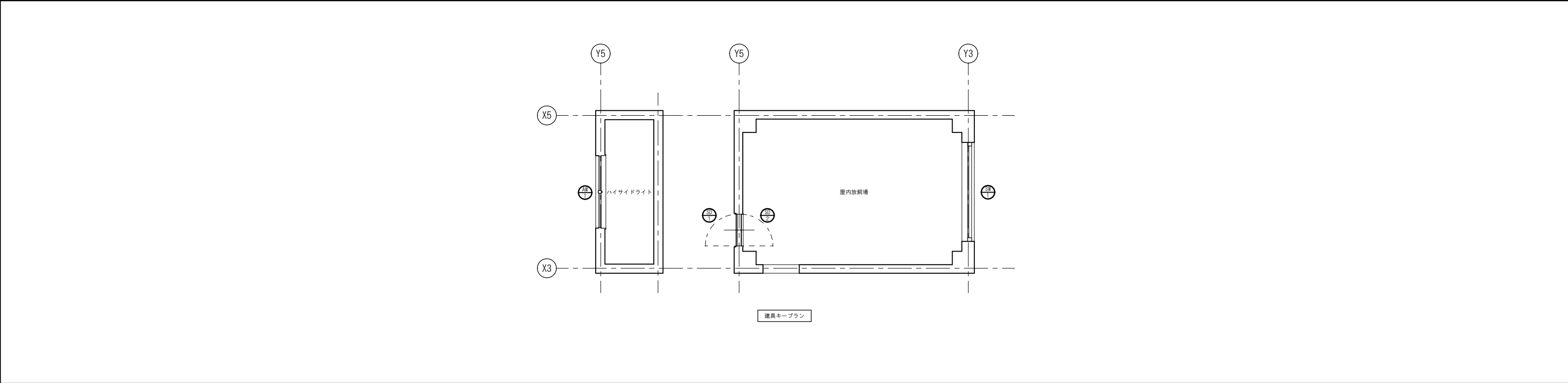


山梨建築設計監理事業協同組合

承認	設計	担当	縮 尺
			A1→1/50 A3→1/100 設計年月日

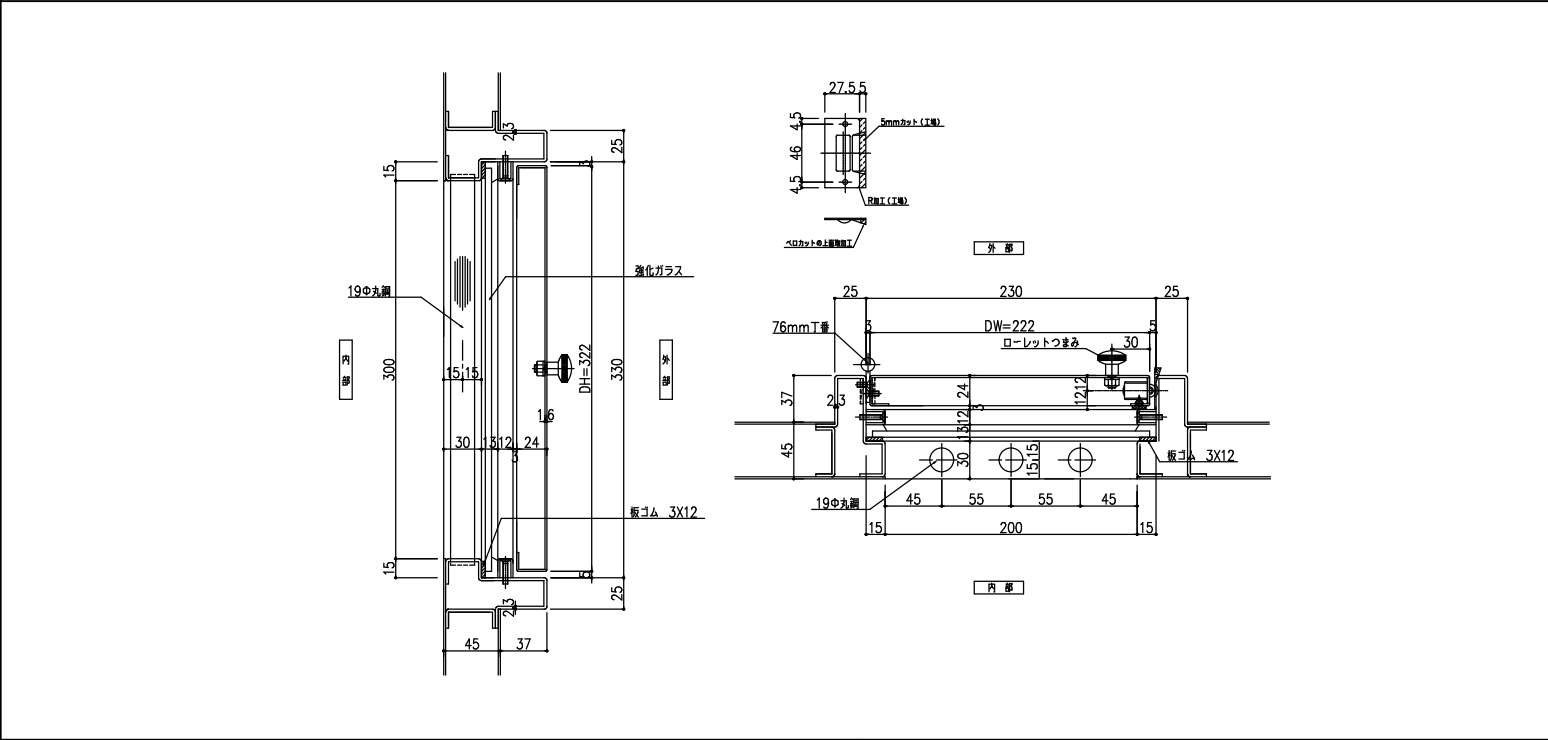
工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (北ーチンパンジー舎)
図面名称 展開図

北チ A-13
No.

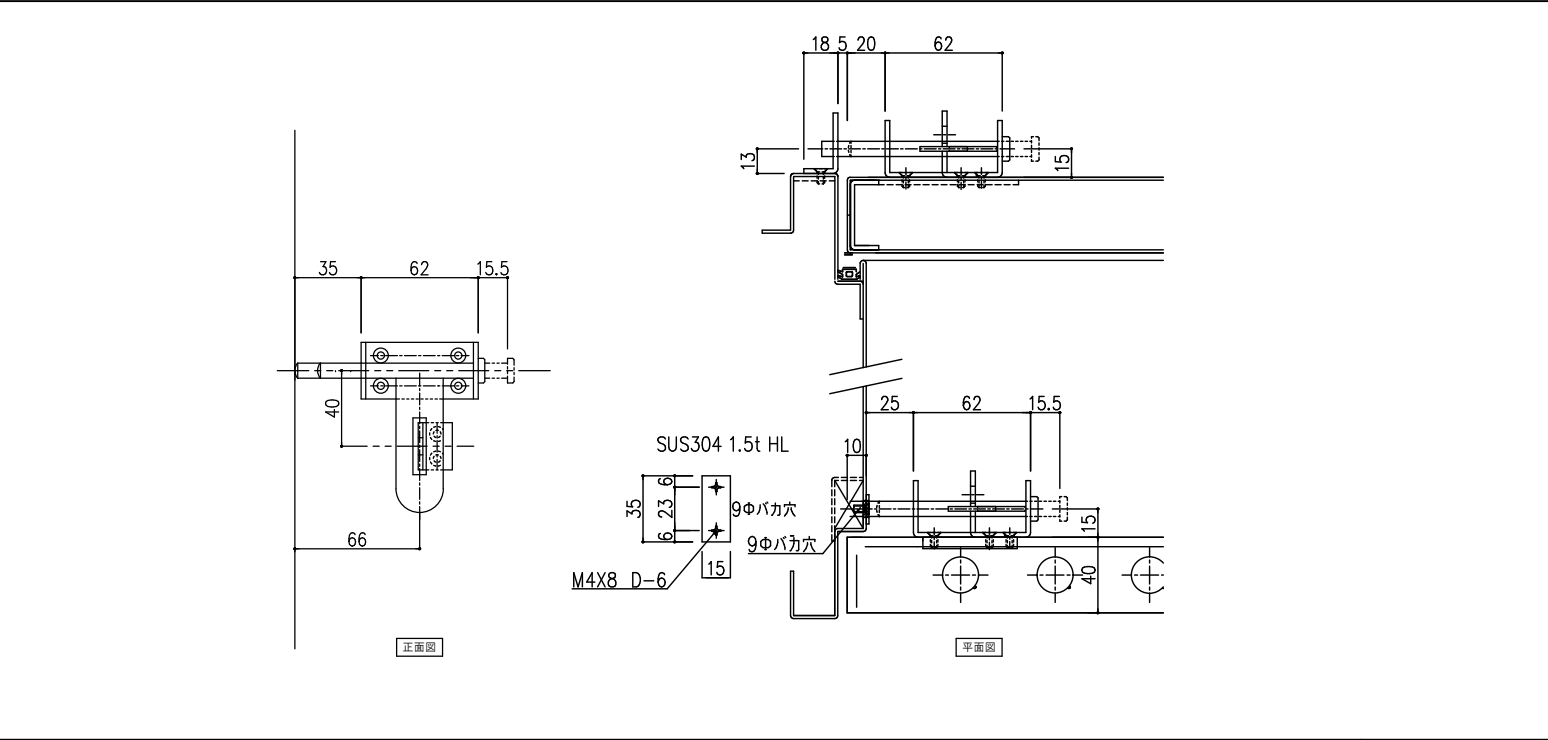


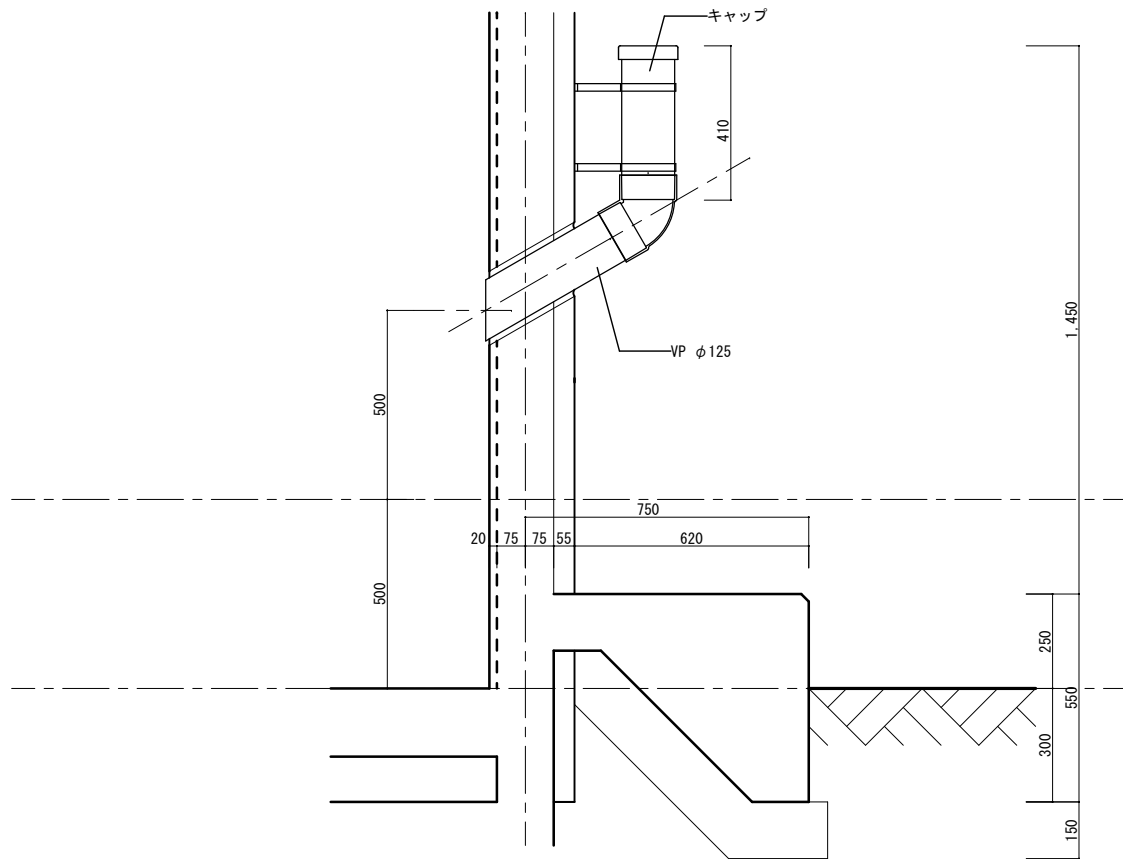
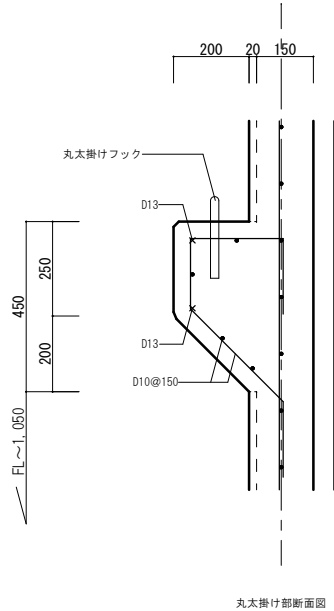
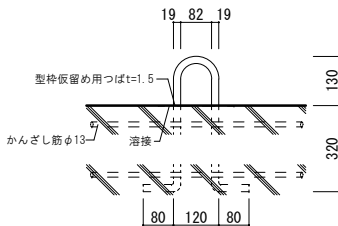
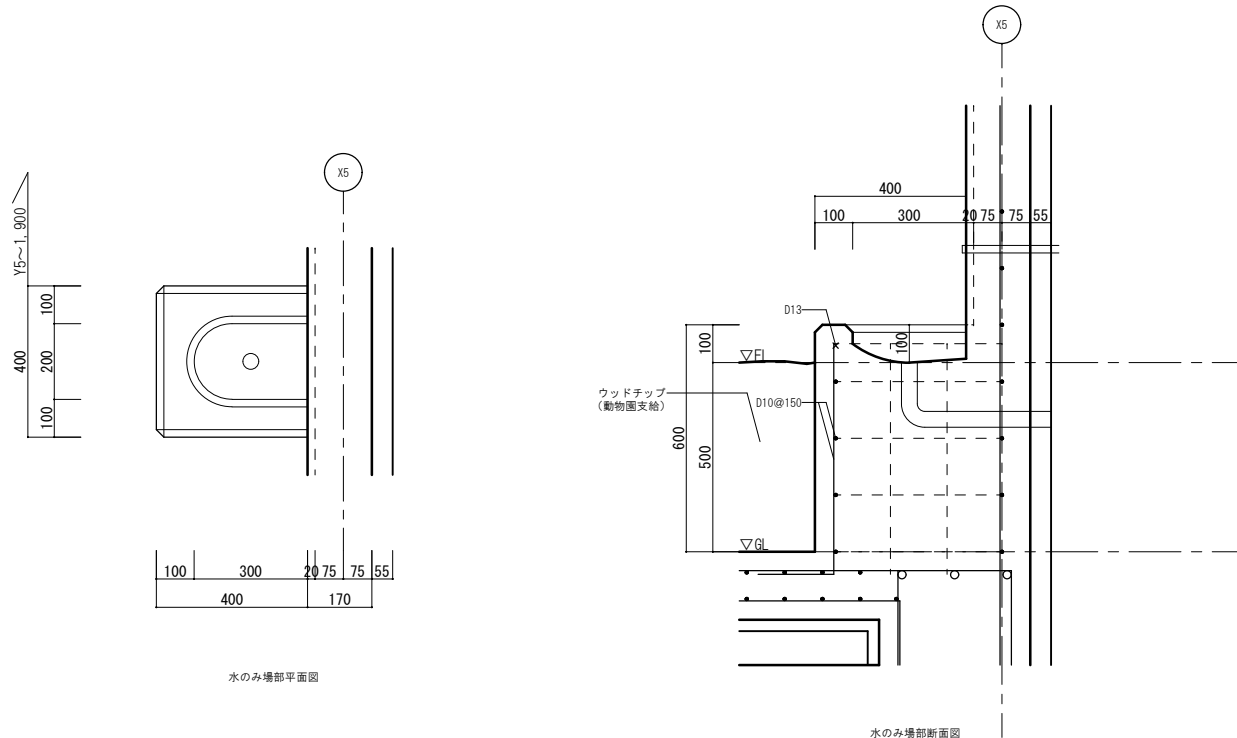
記号・数量	1	1		1	1
形状					
場所	屋内放飼場	屋内放飼場		屋内放飼場	屋内放飼場
形式・見込	小窓付片開きドア	片開き格子ドア		F I X窓	F I X 2連窓
材質・仕上	溶融亜鉛メッキ鋼板防錆塗装 t=1.6 2-U E	溶融亜鉛メッキ鋼板防錆塗装 t=1.6 2-U E		スチール	アルミ樹脂複合サッシ
硝子	強化5			強化12+強化12	Low-E3+AG+FL3
金物	標準金物一式、重量丁番、固定ハンドル(外のみ)、水切、カンヌキ+南京錠 2か所	標準金物一式、重量丁番、、水切、カンヌキ+南京錠 2か所		標準金物一式、アルミ額縁	標準金物一式、アルミ額縁
備考	格子・扉付き小窓	扉固定用M10ボルト、上下ボルト受けアングル			
	ローレットツマミ、ローラー空錠、板ゴム、戸当りゴム				

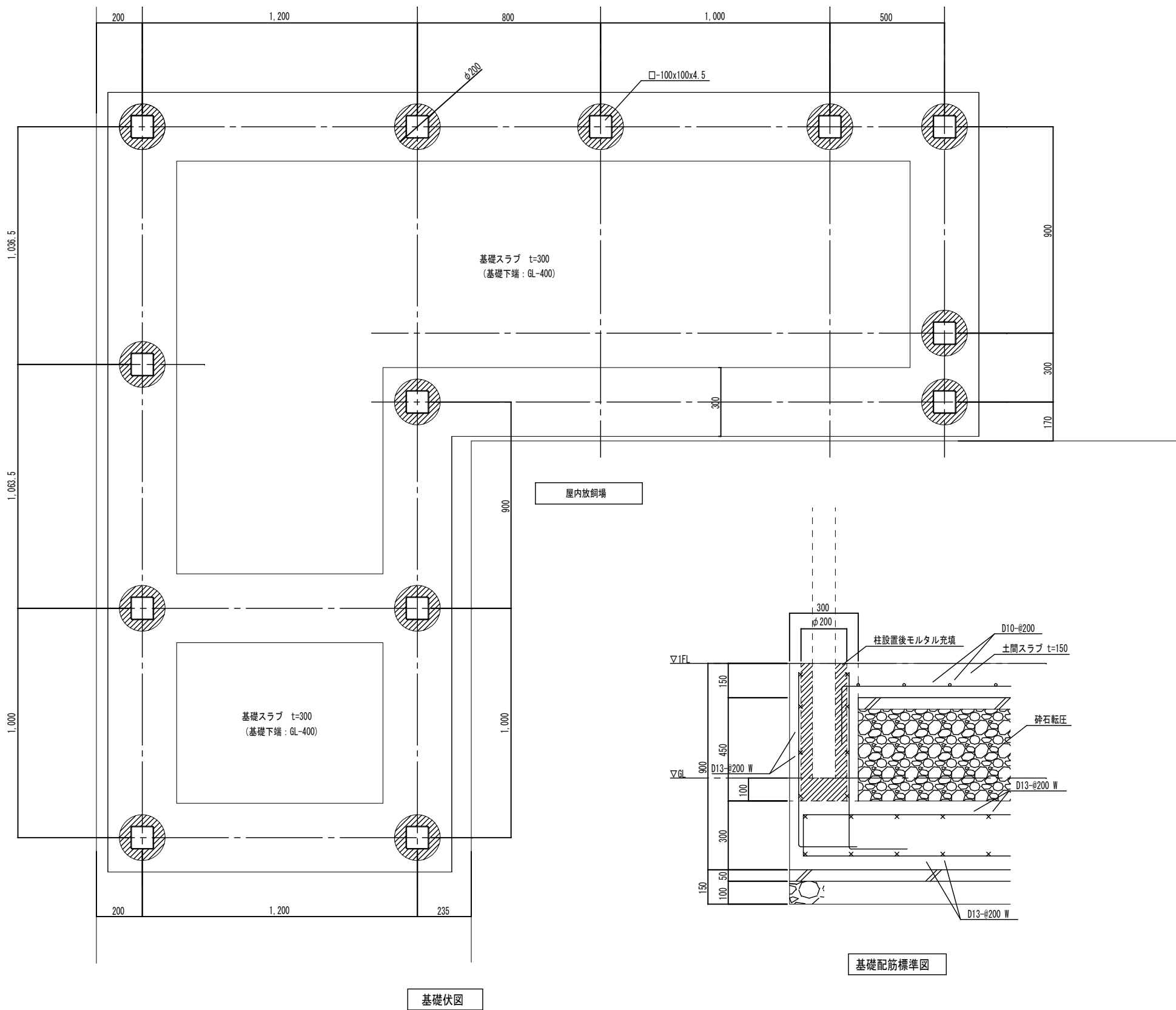
SD1 小窓部分詳細図 S=1/3



SD1・2 カンヌキ部分詳細図 S=1/2



給仕ダクト詳細図（参考図） S=1/10		丸太掛け部詳細図 S=1/10													
		 													
給仕ダクト部断面図		丸太掛け部断面図													
水飲み場詳細図（参考図） S=1/10															
															
水のみ場部断面図															
<div><div></div><div></div><div></div></div>		<table><tr><th>承認</th><th>設計</th><th>担当</th><th>縮 尺</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>A1→1/10 A3→1/20</td></tr><tr><td colspan="3"></td><td>設計年月日</td></tr></table> <div>工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事（北ーチンパンジー舎）</div> <div>図面名称 詳細図</div>		承認	設計	担当	縮 尺				A1→1/10 A3→1/20				設計年月日
承認	設計	担当	縮 尺												
			A1→1/10 A3→1/20												
			設計年月日												
<div>特 記</div> <div>事 項</div>		<div><div></div><div>山梨建築設計監理事業協同組合</div></div>													
		<div>北チ A-15</div> <div>No.</div>													



※設計GL=±0=261.18

特記事項



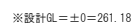
山梨建築設計監理事業協同組合

承認 設計 担当

縮尺
A1→1/10 A3→1/20
設計年月日

工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (北ーチンパンジー舎)
図面名称 シュート・SCケージ 基礎伏図

北チ A-16
No.



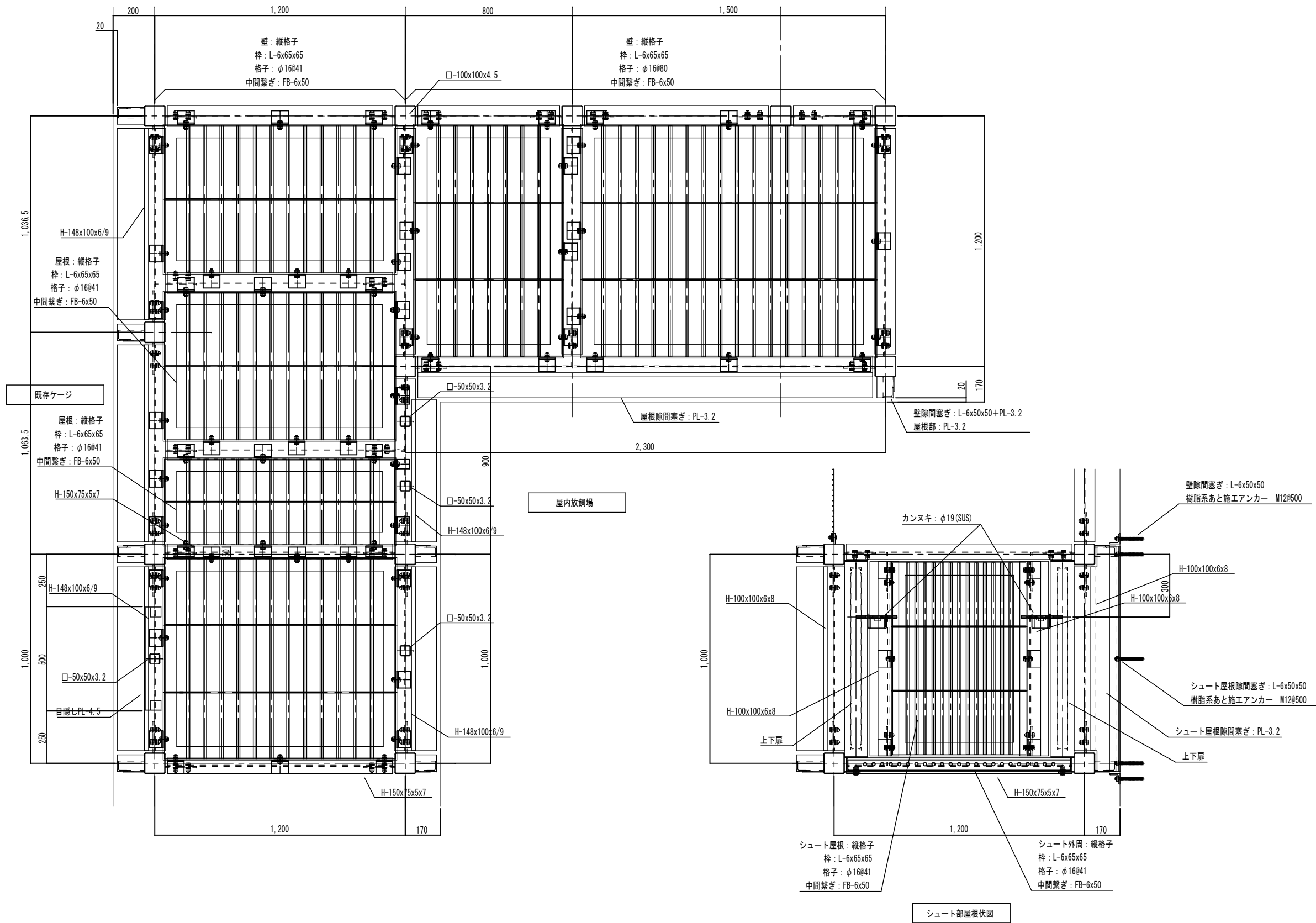
山梨建築設計監理事業協同組合

承認	設計	担当	縮 尺
			A1→1/10 A3→1/20
			設計年月日

工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (北ーチンパンジー舎)

図面名称 シュート・ＳＣケージ 平面図

北子 A-17
No.



※設計値=±0=261.18

特記事項



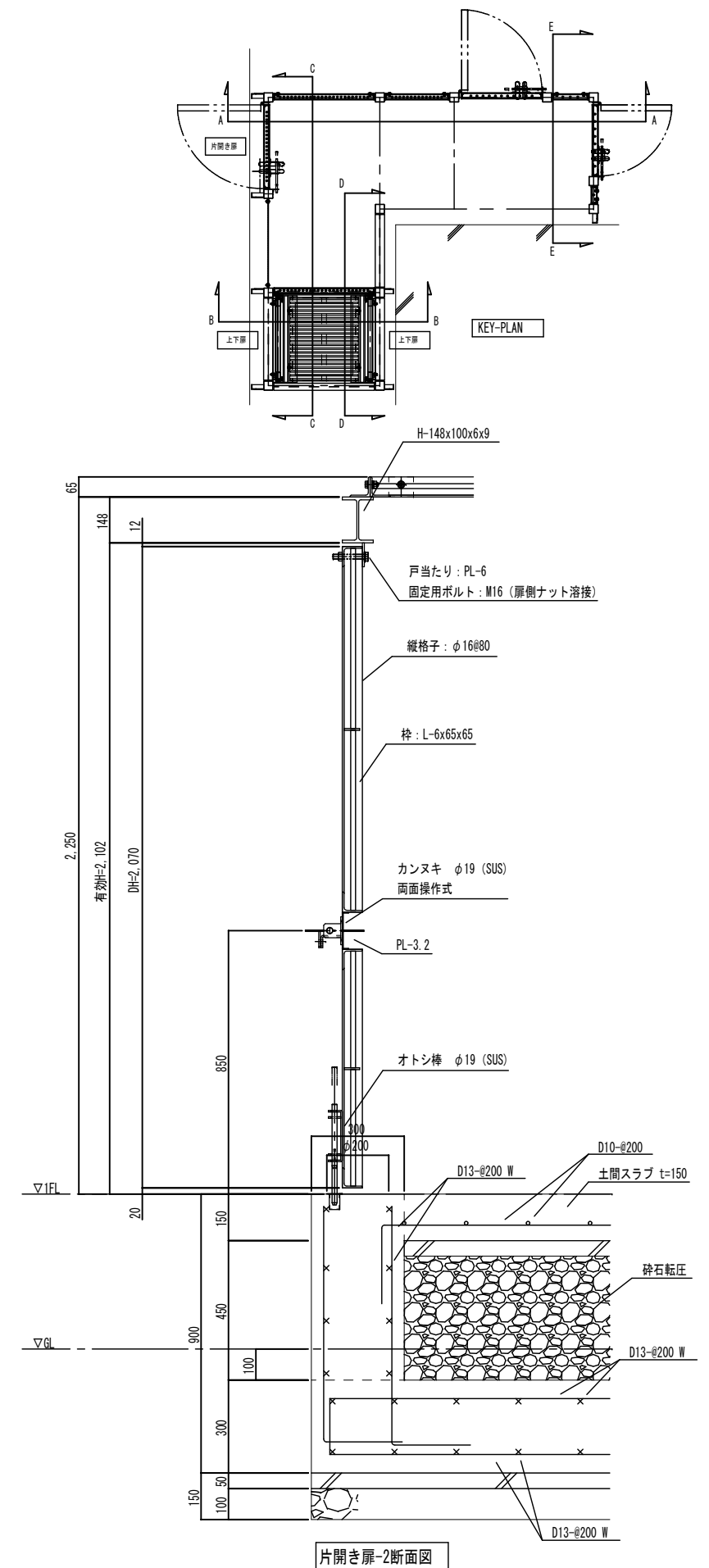
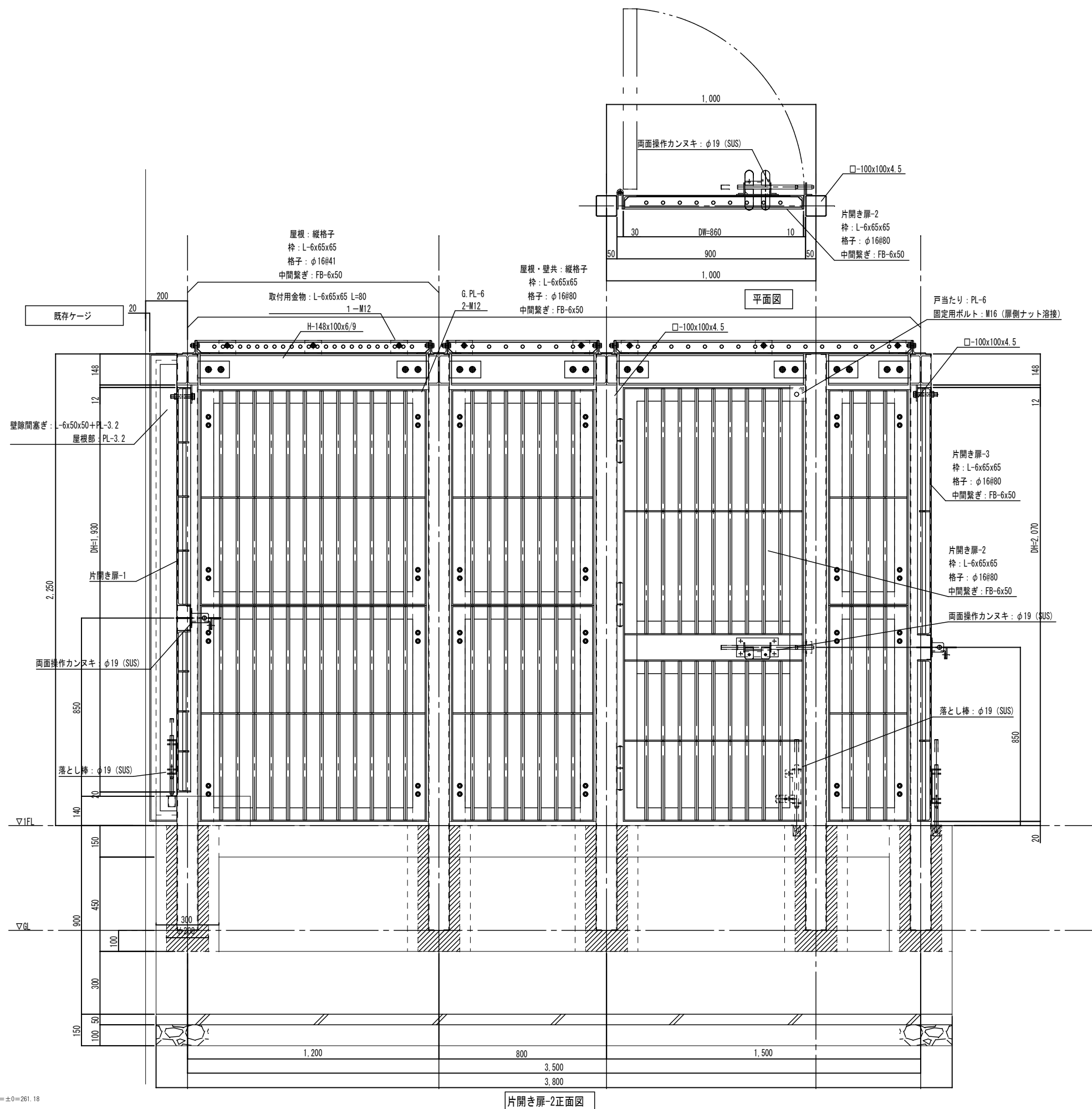
山梨建築設計監理事業協同組合

承認 設計 担当


縮尺
A1→1/10 A3→1/20
設計年月日

工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (北ーチンパンジー舎)
図面名称 シールド・SCケージ 屋根伏図

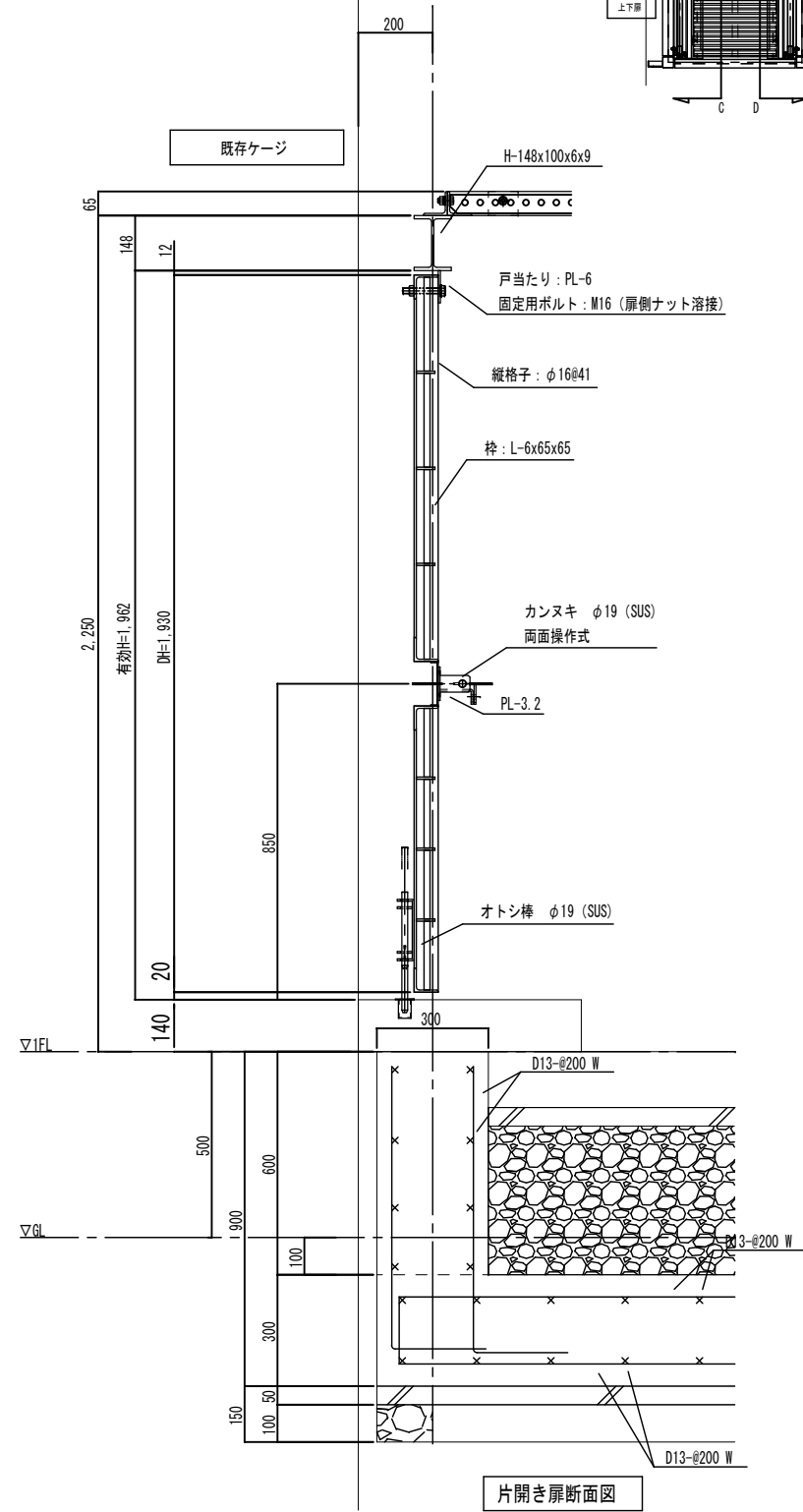
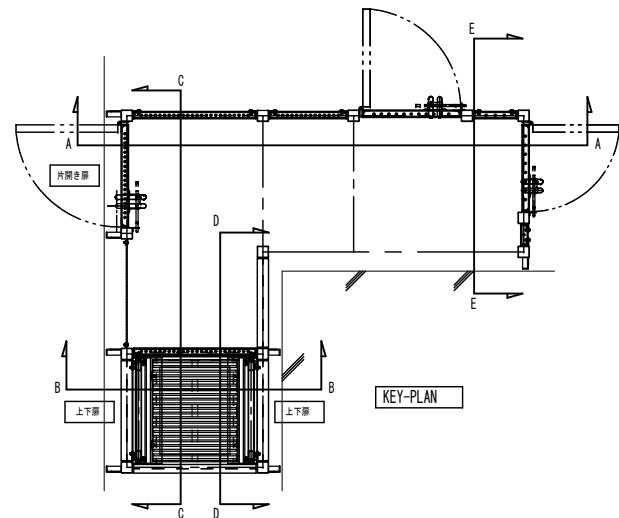
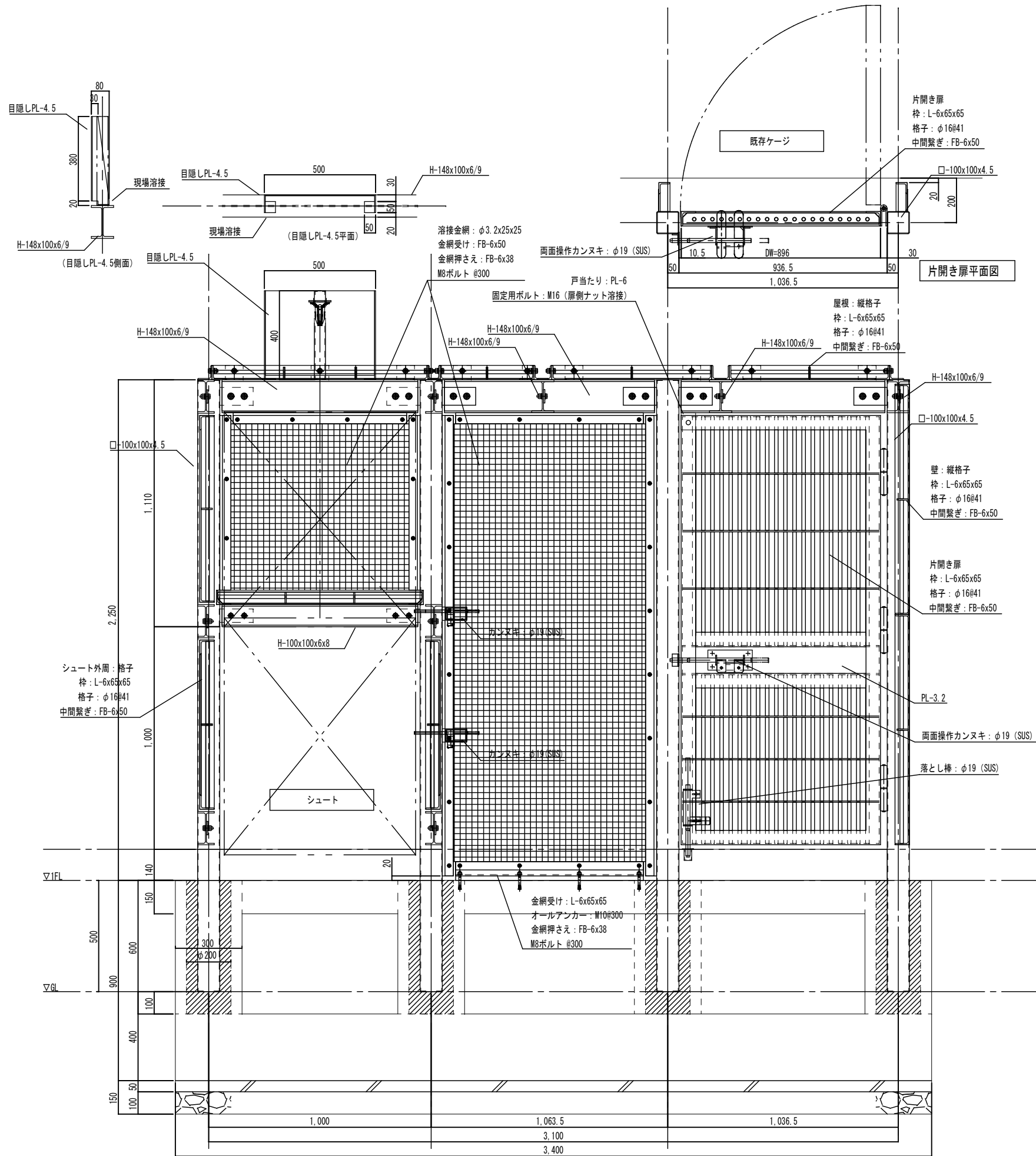
北チ A-18
No.



※設計GL=±0=261.18

特記事項	 山梨建築設計監理事業協同組合	承認	設計	担当	縮尺 A1→1/10 A3→1/20	工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (北ーチンパンジー舎) 図面名称 シュート・SCケージ A-A断面図	北チ A-19 No.
					設計年月日		

北子 A-20
No.



※設計図 ±0 = 261.18

特記事項

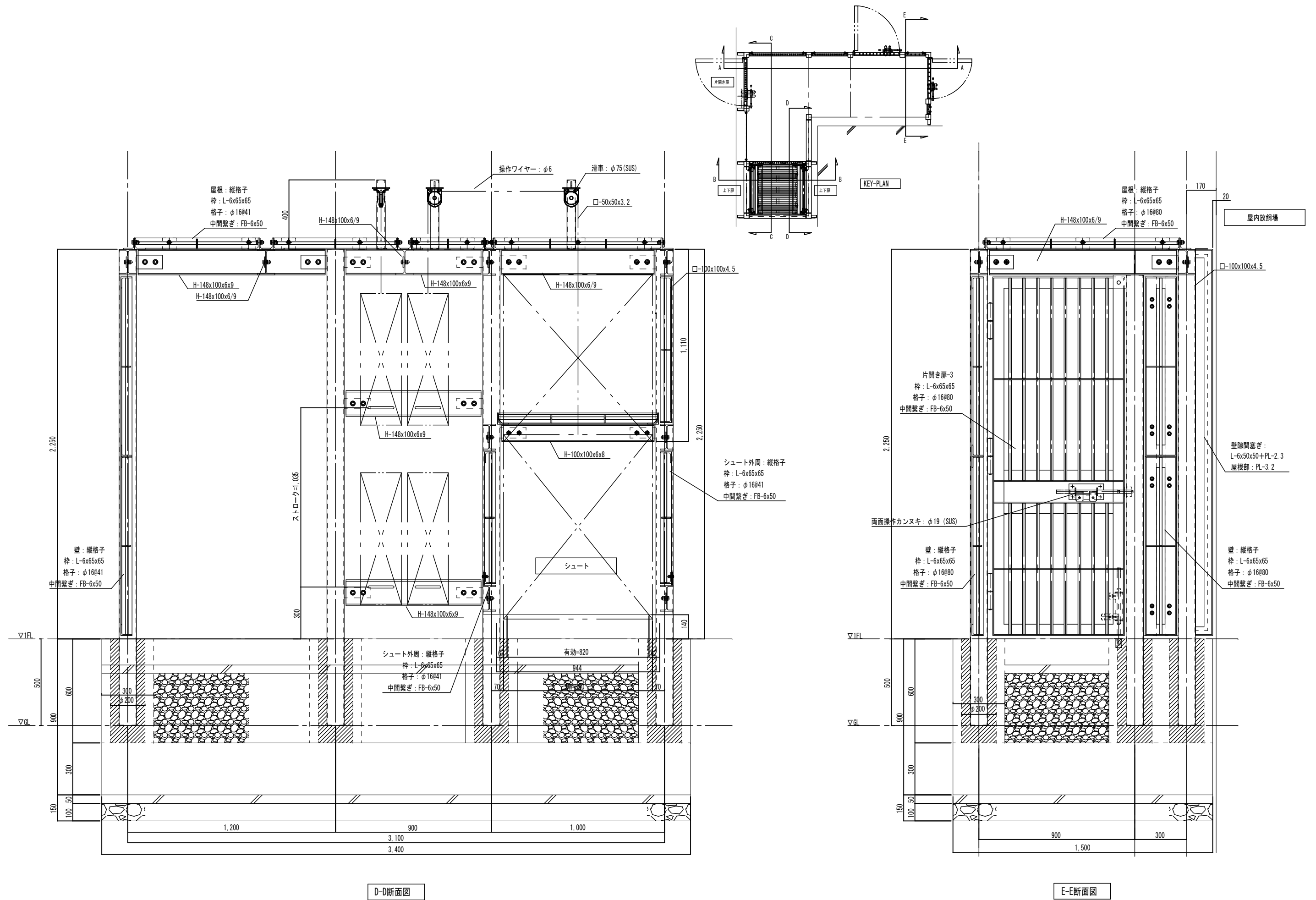


山梨建築設計監理事業協同組合

承認 設計 担当 縮尺
A1→1/10 A3→1/20
設計年月日

工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (北ーチンパンジー舎)
図面名称 シュート・SCケージ C-C断面図

北チ A-21
No.



※設計GL=±0=261.18

特記事項

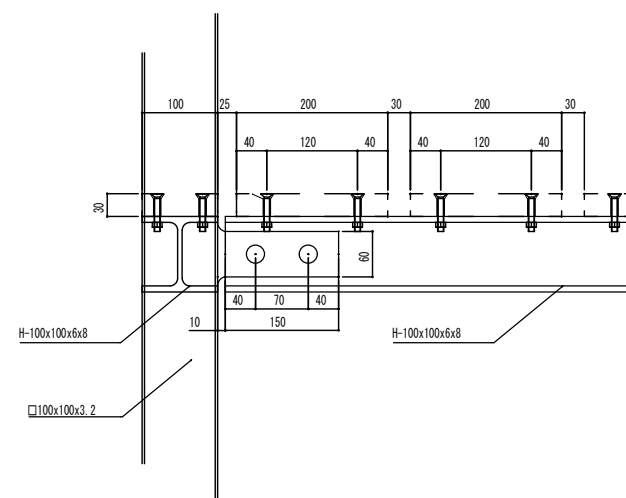
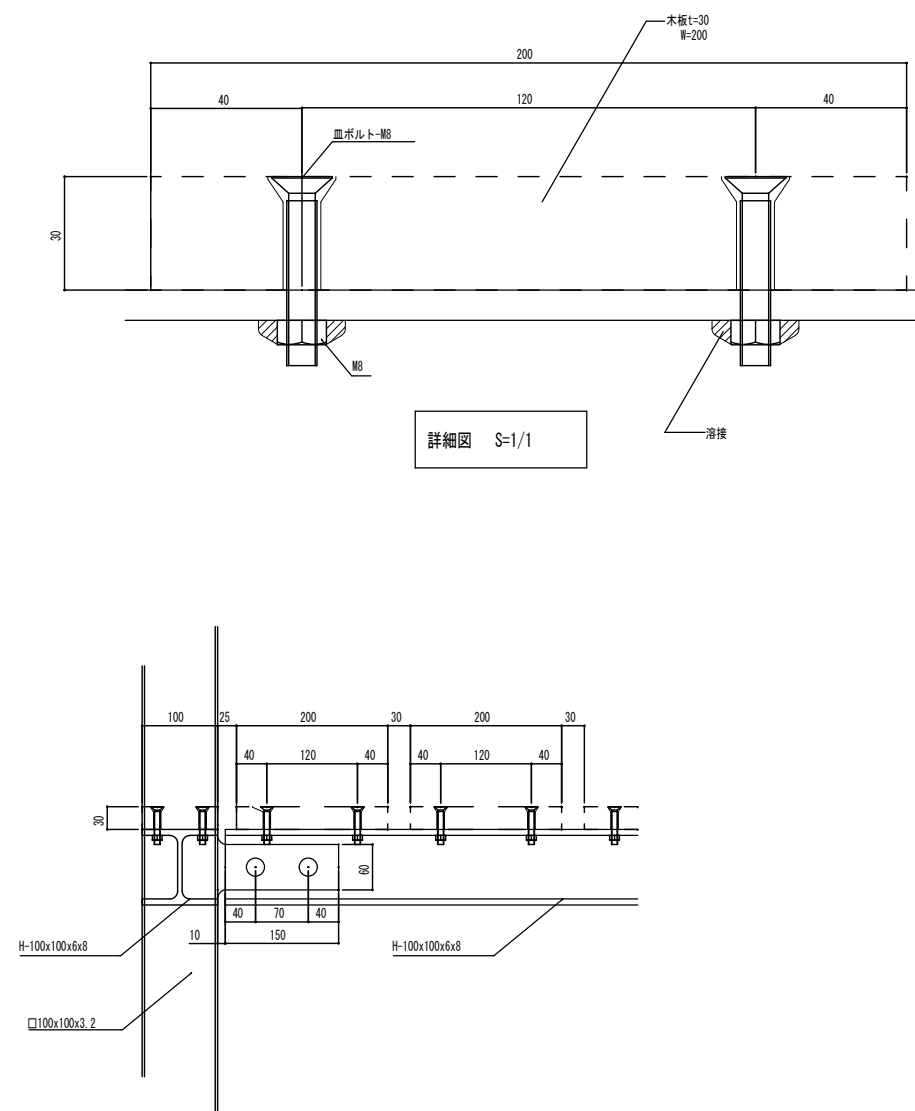
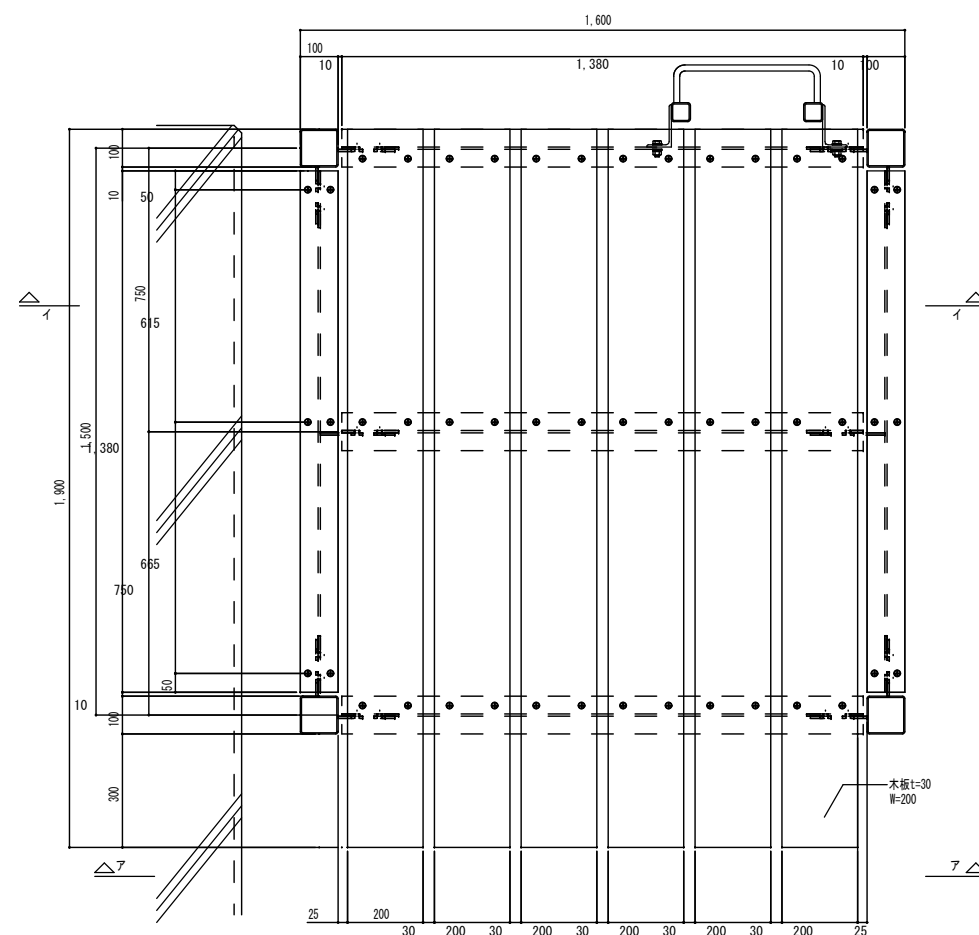
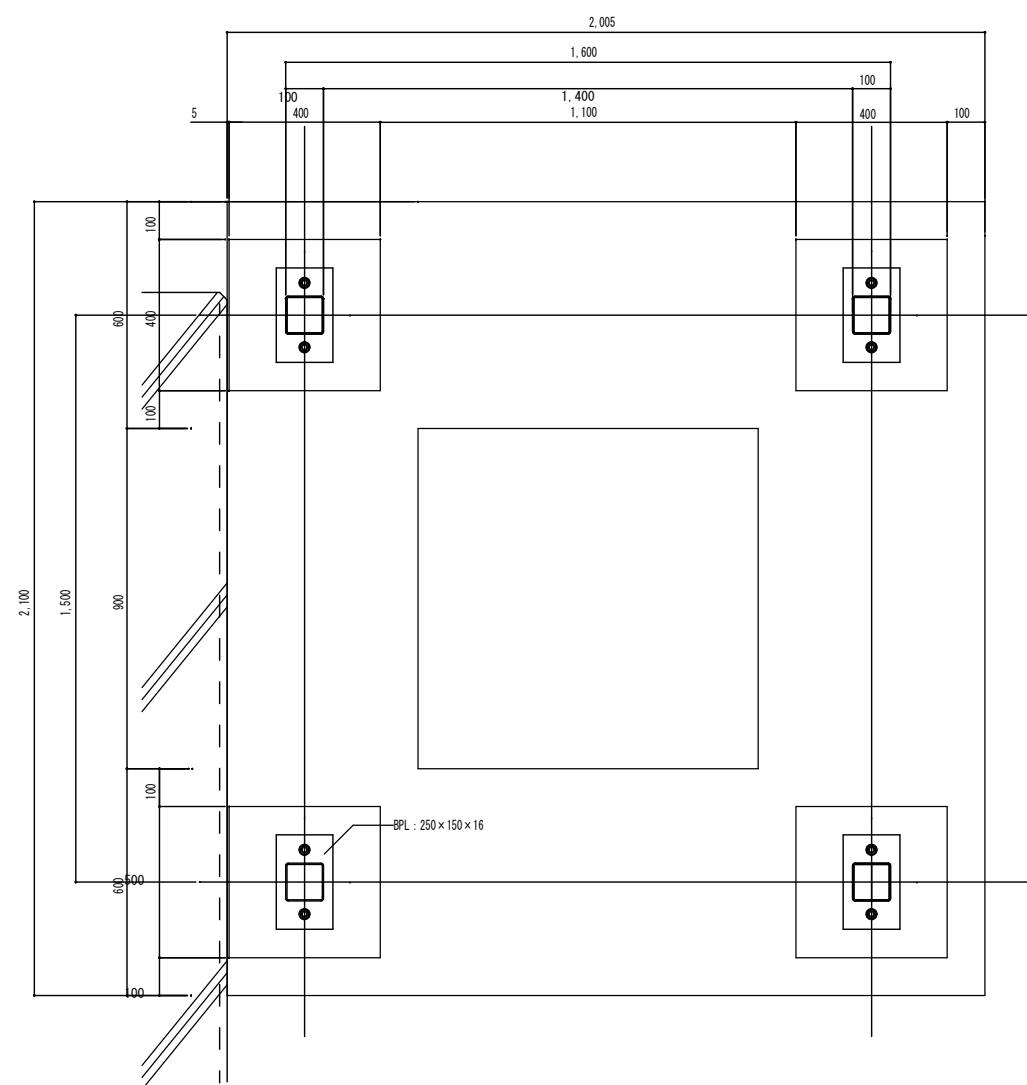


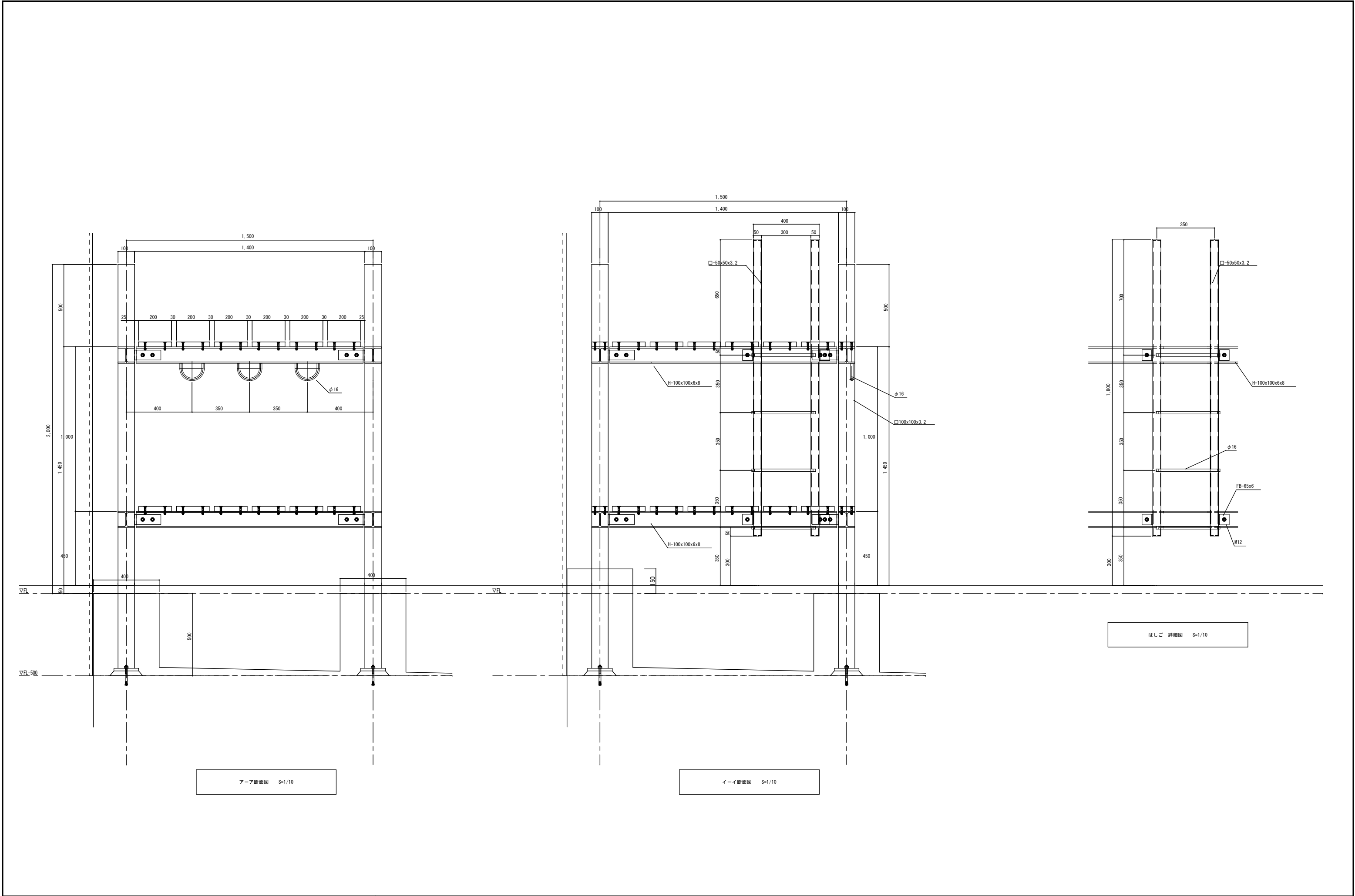
山梨建築設計監理事業協同組合


承認 設計 担当 縮尺 A1→1/10 A3→1/20 設計年月日

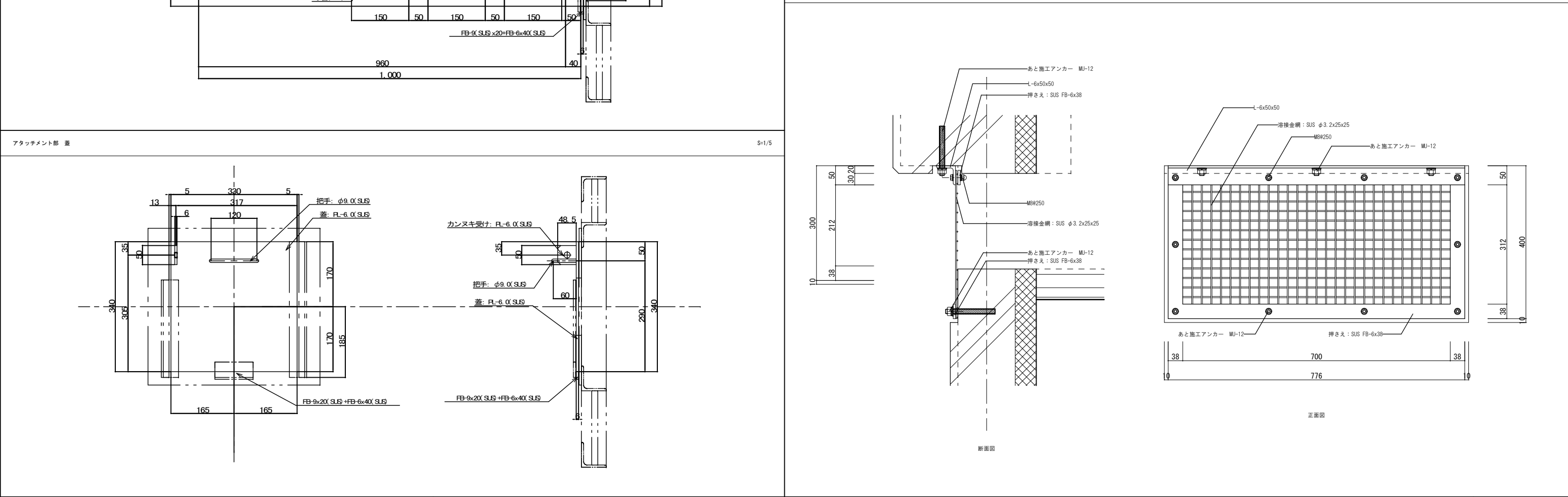
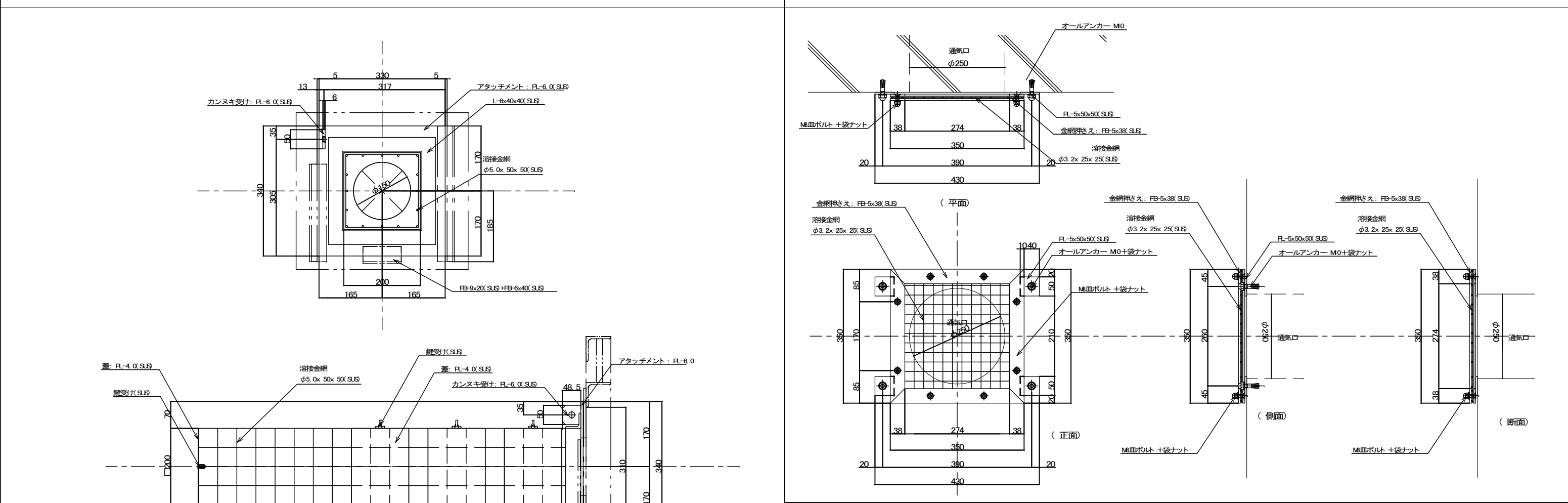
工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (北ーチンパンジー舎)
図面名称 シュート・SCケージ D-D・E-E断面図

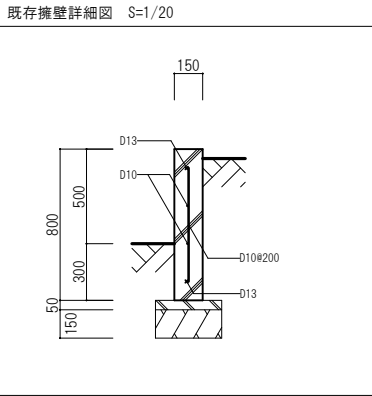
北チ A-22
No.



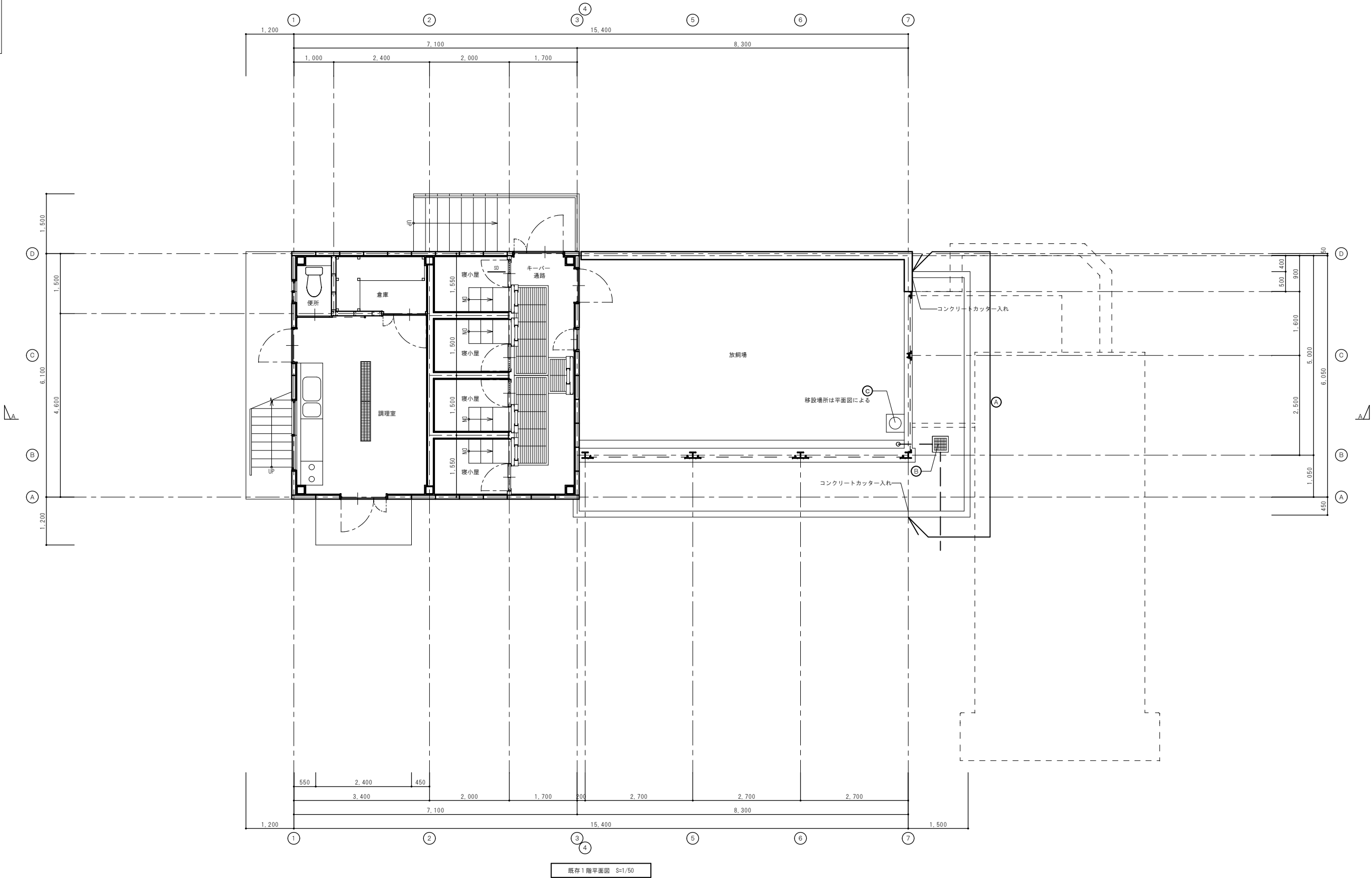


<div data-bbox="35 37 1481 783"> </div> <div data-bbox="35 783 1481 1276"> </div> <div data-bbox="35 1276 1481 1749"> </div>	<div data-bbox="834 37 1484 783"> </div> <div data-bbox="834 783 1484 1276"> </div> <div data-bbox="834 1276 1484 1749"> </div>	<div data-bbox="1484 37 2932 783"> </div> <div data-bbox="1484 783 2932 1276"> </div> <div data-bbox="1484 1276 2932 1749"> </div>
<div data-bbox="35 1955 834 2062"> <div>特記事項</div> <div></div> </div>	<div data-bbox="834 1955 1484 2062"> <div>  山梨建築設計監理事業協同組合 </div> </div>	<div data-bbox="1484 1955 2932 2062"> <div> 承認設計担当縮尺 A1→1/5・15・30 A3→1/10・30・60 設計年月日 </div> <div> 工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (北ーチンパンジー舎) 図面名称 照明カバー・ハイスайдライト部格子詳細図 </div> <div> 北チ A-25 No. </div> </div>





撤去項目		
記号	内容	仕様・寸法
(A)	擁壁：撤去・処分	鉄筋コンクリート W150×D500×L9150、コンクリートカッター入れ
(B)	排水桝：撤去・処分	コンクリート製 W400×D400×H600、錐鉄製格子蓋
(C)	水飲み場：移設	コンクリート製 W450×D450×H100、変成シリコーン樹脂系弾性接着剤



特記事項

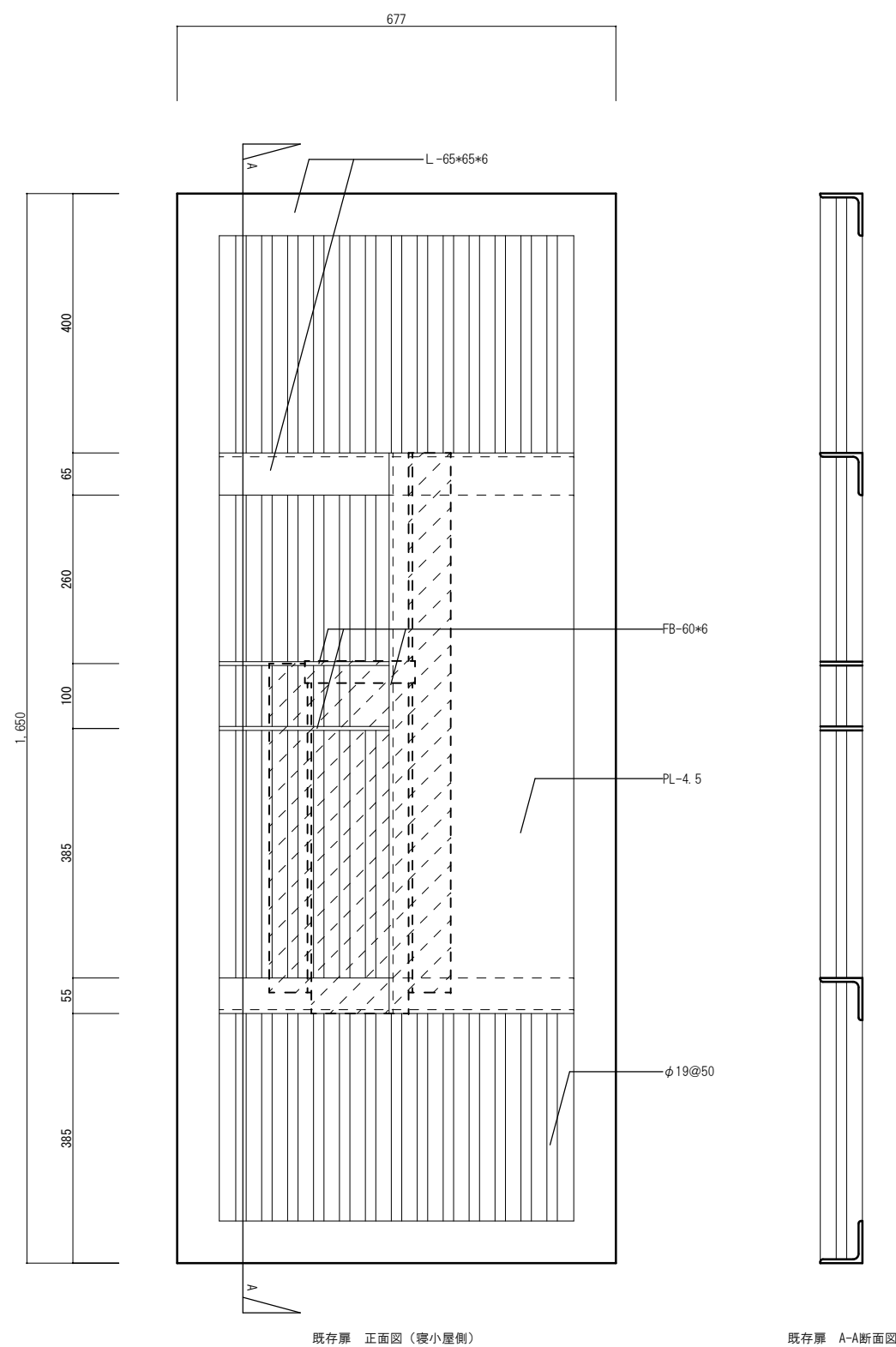


山梨建築設計監理事業協同組合

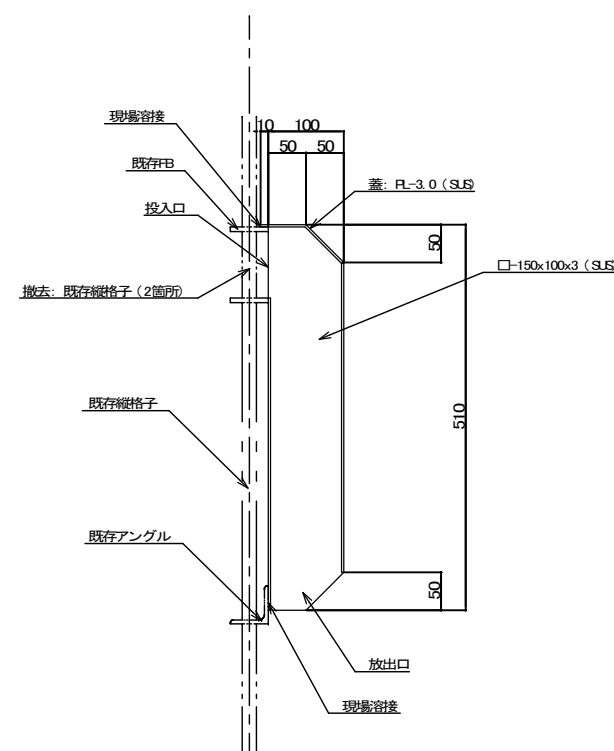
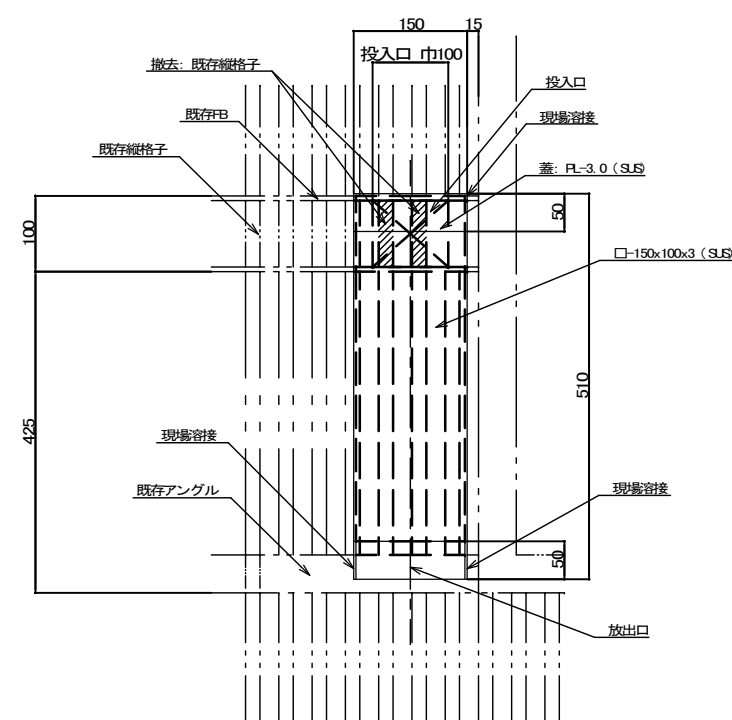
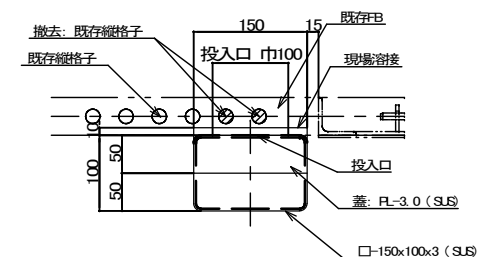
承認	設計	担当	縮尺
			A1→1/20 A3→1/40 A1→1/50 A3→1/100
			設計年月日


工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (北ーチンパンジー舎)
図面名称 既存部分平面図・解体図

北チ A-27
No.

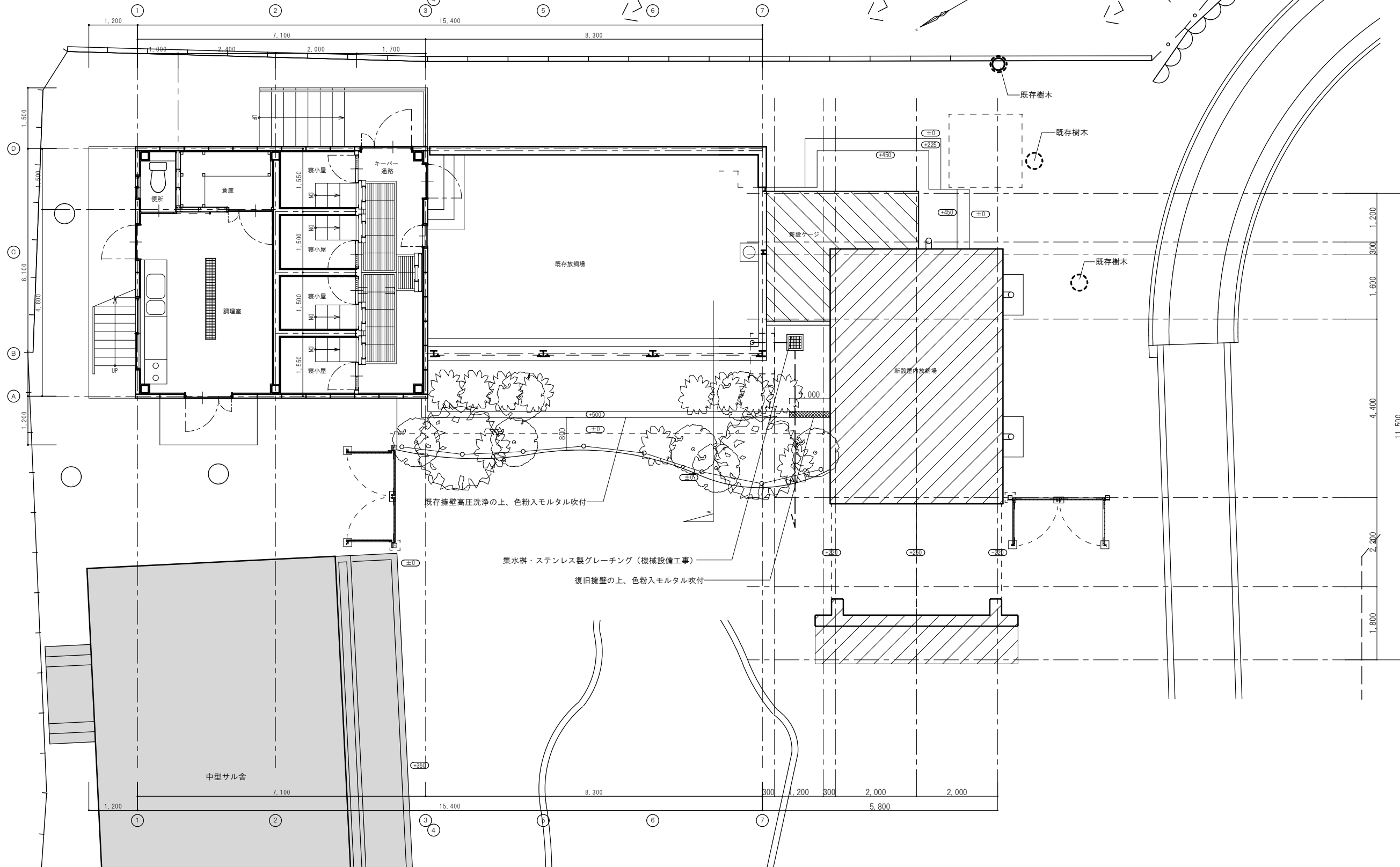
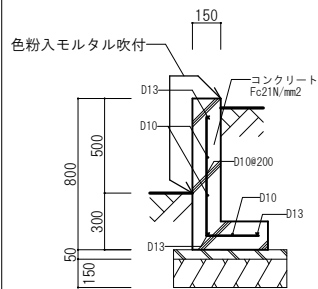


斜線部：給仕ダクト取付位置



特記事項	 山梨建築設計監理事業協同組合	承認	設計	担当	縮尺 A1→1/5 A3→1/10	工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (北—チンパンジー舎)	北チ A-28 No.
					設計年月日	図面名称 既存改修扉 給仕ダクト	

復旧部、擁壁詳細図 S=1/20



※設計±0=±0=261.18

特記事項



山梨建築設計監理事業協同組合

承認	設計	担当	縮尺
			A1→1/20 A3→1/40 A1→1/50 A3→1/100
設計年月日			

工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (北ーチンパンジー舎)
図面名称 外構図

北チ A-29
No.

適用は 印を記入する。

北子 S-01
No.

鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)

1. 一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- (2) 記号
d...異形鉄筋の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D...部材の成 R...直径
@...間隔 r...半径 Q...中心線 Qp...部材間の内法距離 ho...部材間の内法高さ
S T...あばら筋 HOOP...帯筋 S HOOP...補強帯筋 φ...直径又は丸鋼

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折曲げ角度90°はスラブ筋 壁筋の末端部又はスラブと同時に 打ち込むT形およびL形鋼の キャップタイにのみ用いる。 キャップタイ
図				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(※4d以上)	8d以上(※4d以上)	

折曲げ内法寸法Rは、SR235～SD345の径16およびD16以下は3d以上、SD295～SD345のD19～D38は4d以上、D41およびSD390は5d以上。スラブ筋、壁筋には丸鋼は使用しない。

※片持ちスラブ上端筋の先端

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所 による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ 内のり寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235、SR295 SD295A・B、SD345	16φ D16以下 19φ D19	3d以上 4d以上
	上記以外の鉄筋	SD295A・B SD345 SD390	D16以下 D19～D25 D29～D41	4d以上 6d以上 8d以上

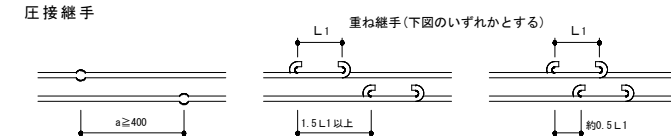
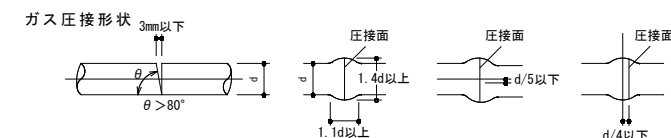
(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm ²)	定着長さ		特別の定着及び重ね継手の長さ(Li)
		一般(L2)	下ば筋(L3)	
SR235	21、24	35dフックつき	25dフック付き	35dフックつき
	18以下	45dフックつき	150mmフック付き	45dフックつき
SD295A	27～36	30dまたは20dフック付き	25dまたは15dフック付き	35dまたは25dフック付き
	21、24	35dまたは25dフック付き	10dかつ150mm以上	40dまたは30dフック付き
SD295B	18以下	40dまたは30dフック付き	15dフック付き	45dまたは35dフック付き
	21、24	35dまたは25dフック付き	150mm以上	40dまたは30dフック付き
SD345	27～36	35dまたは25dフック付き	150mm以上	45dまたは35dフック付き
	21、24	40dまたは30dフック付き	150mm以上	45dまたは35dフック付き

[注]許容応力度計算、許容応力度等計算、その他構造計算を要さない小規模建築物の場合は、梁主筋の柱への定着は40dとする。

継手

- 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
- 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
- D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
- 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

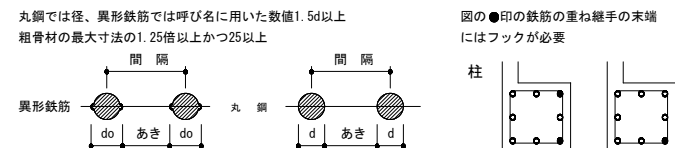


(4) かぶり厚さ (単位: mm)

部	位	設計かぶり厚さ (mm)	最小かぶり厚さ (mm)
土に接しない部分	屋根スラブ	30	20
	床スラブ	40 ⁽¹⁾	30(20)
	非耐力壁	40	30
	柱	40	30
土に接する部分	耐力壁	50 ⁽²⁾	40 ⁽¹⁾ (30)
	柱	50 ⁽³⁾	40
	柱・はり・床スラブ・耐力壁	50	40 ⁽⁴⁾
	基礎・擁壁	70	60 ⁽⁴⁾

[注] (1) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて30mmとすることができる。
(2) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
(3) コンクリートの品質および施工方法にに応じ、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
(4) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
(5) ()内は仕上げがある場合。
(6) 土に接する部分のかぶりは増加する厚さを増打ちとする。

(5) 鉄筋のあき



(6) 鉄筋のフック (a～fに示す鉄筋の末端部にはフックを付ける。)

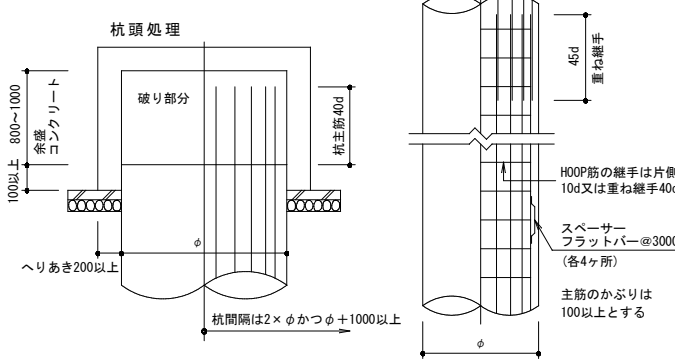
- a. 丸鋼 b. あばら筋、帯筋 c. 煙突の鉄筋
d. 柱、梁(基礎梁は除く)の出すみ部分の鉄筋(右図参照)
e. 単純梁の下端筋
f. その他、本配筋標準に記載する箇所

3. 杭 (地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。)

(1) P C杭、又はP H C杭の全てに補強を行う

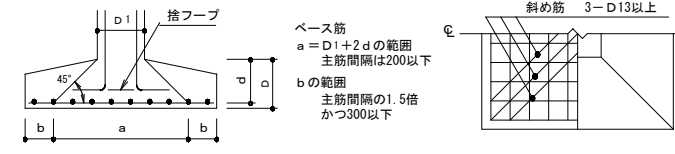
所定の位置に止まった場合		所定より低く止まった場合	
杭 径	300φ、350φ	400φ	450φ、500φ、600φ
補 強 筋	6-D13	8-D13	10-D13、8-D16、10-D16
H O O P D10-@150			

(2) 現場打ちコンクリート杭

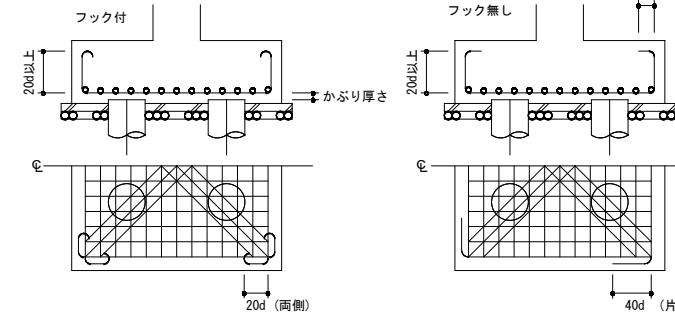


4. 基礎

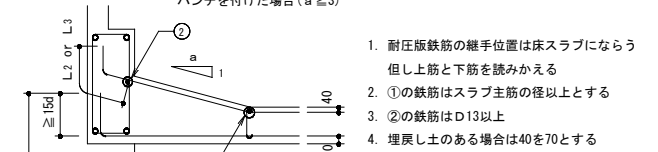
(1) 直接基礎



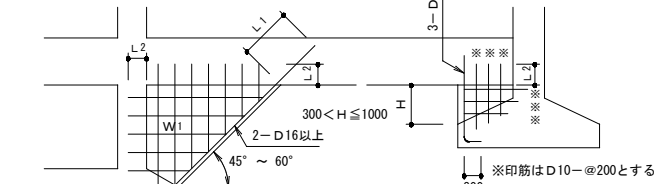
(2) 杭基礎



(3) ペタ基礎



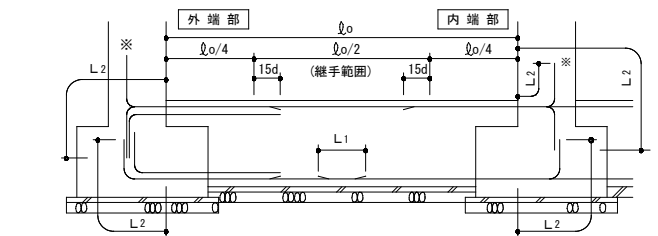
(4) 基礎接合部の補強



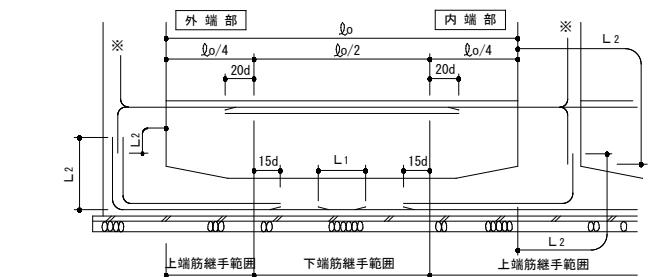
W1の三角壁厚さは、200以上又は地中梁幅とし、配筋は同厚の壁リストにならう

5. 地中梁

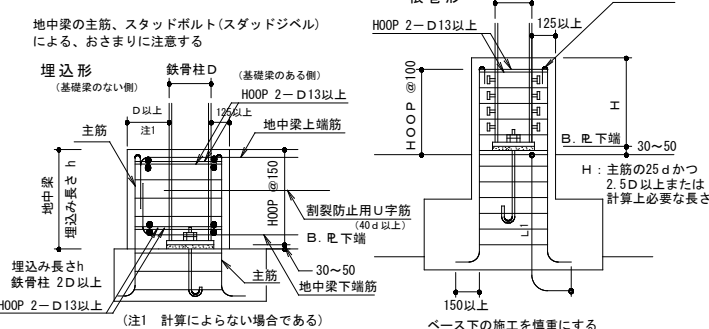
(1) 独立基礎、杭基礎の場合 (定着、継手)



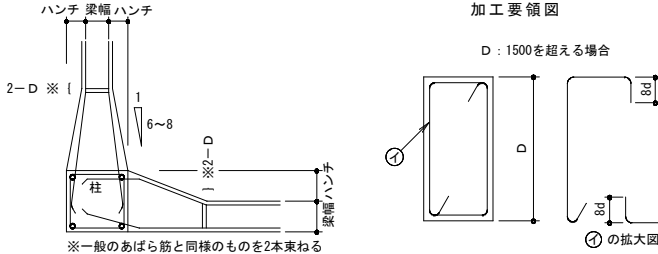
(2) 布基礎、べた基礎の場合 (定着、継手)



(3) 小規模鉄骨造の柱脚固定の配筋

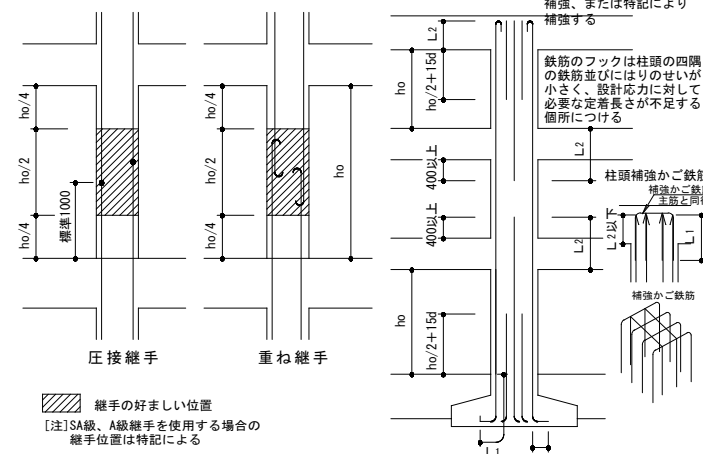


(4) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

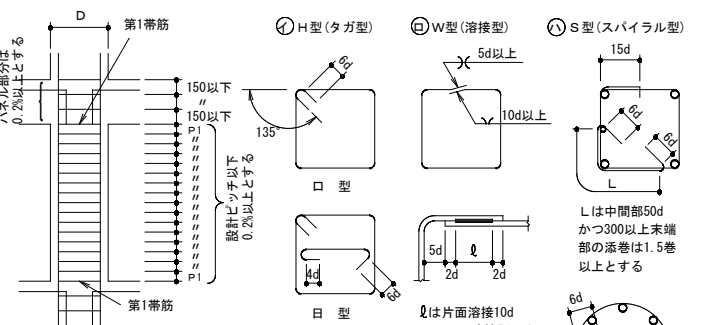


6. 柱

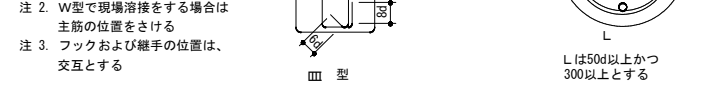
(1) 柱主筋の継手



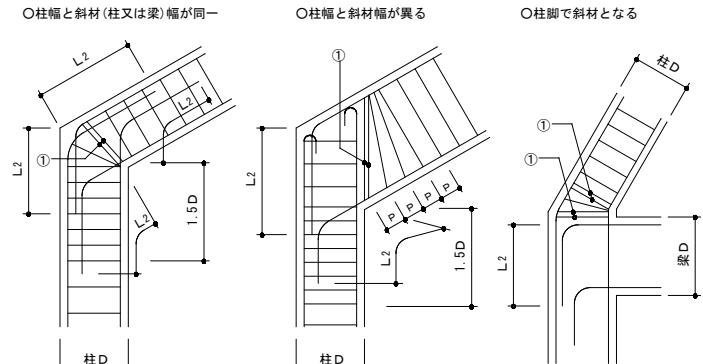
(2) 柱主筋の定着



(3) 帯筋

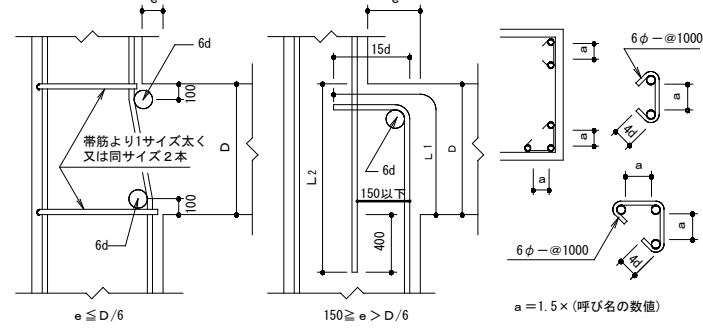


(4) 斜め柱・斜め梁



- 注 1. 1.5Dの範囲の柱の帯筋は一段太いものか、又はダブル巻きとし@100以下とする
注 2. ①の鉄筋は2-D13かつ、2本の一段太い鉄筋とする

(5) 絞リ



(6) 二段筋の保持

特記事項



山梨建築設計監理事業協同組合

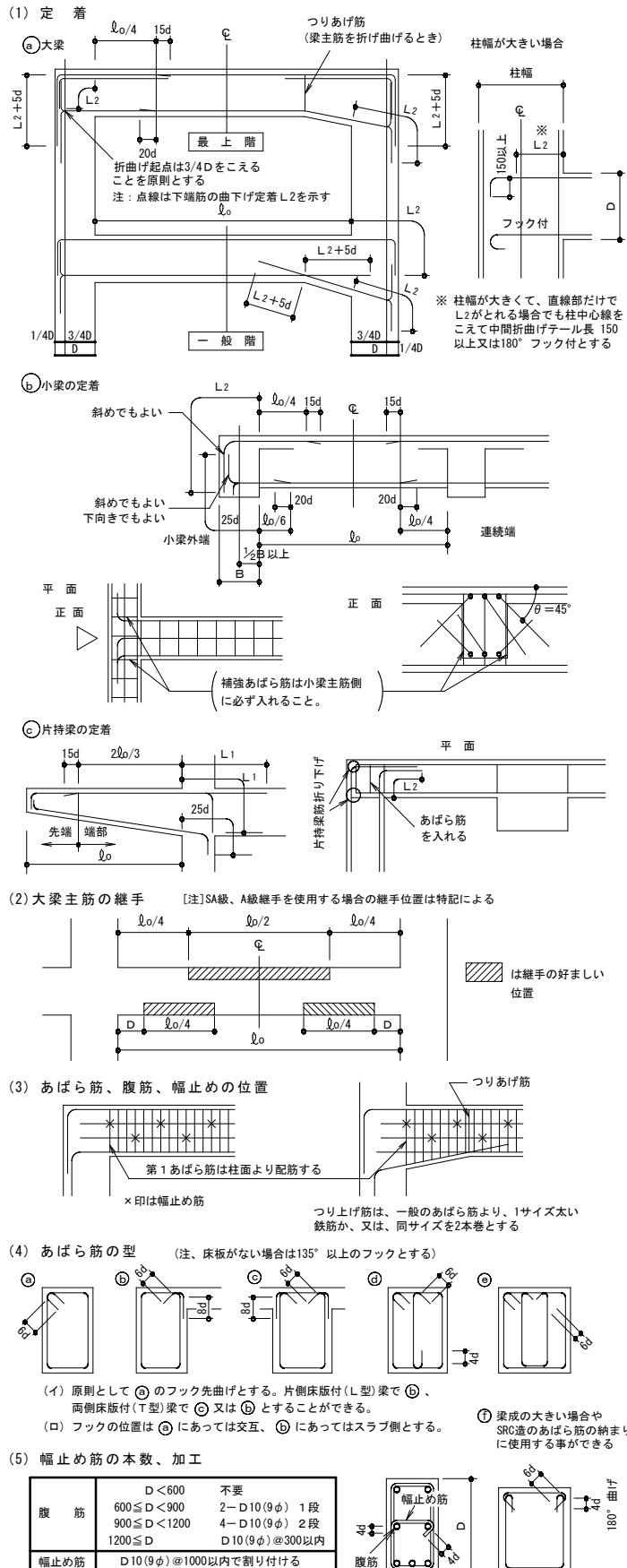
承認 設計 担当 縮 尺
A1→1/100 A3→1/200
設計年月日

工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (北ーチンパンジー舎)
図面名称 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)
北チ S-02 No.

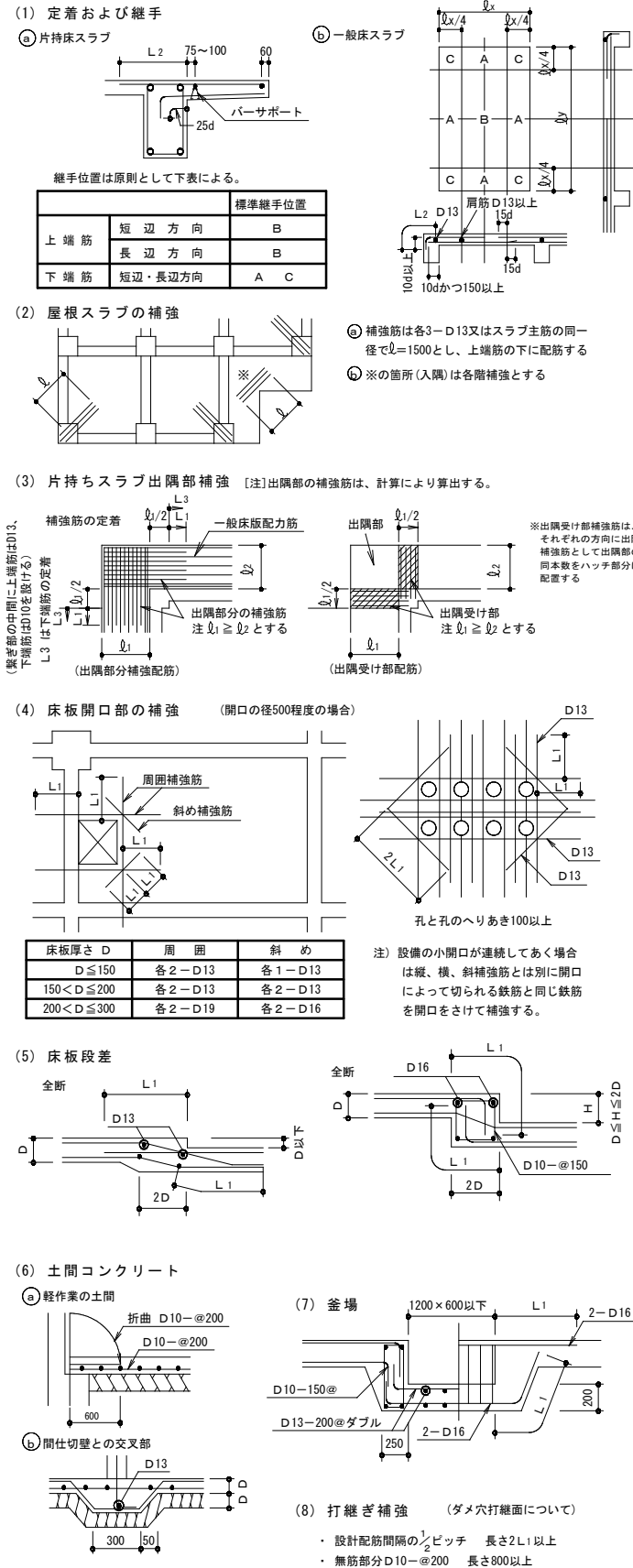
鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

L=鉄筋コンクリート構造配筋
標準図(1)の2~(3)による。

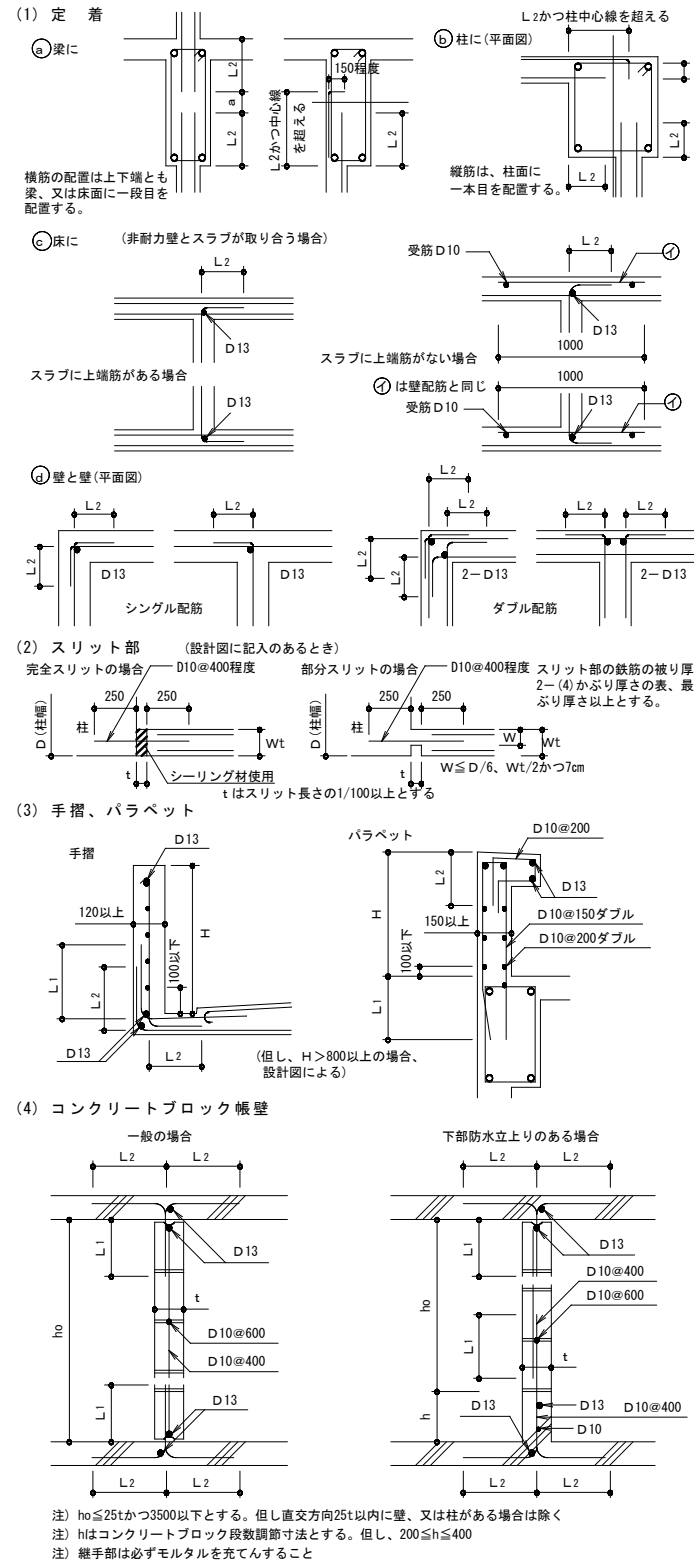
7. 大梁、小梁、片持梁



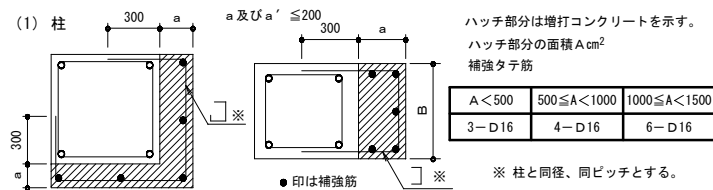
8. 床板



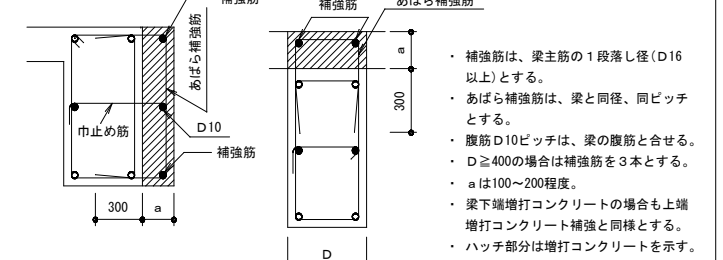
9. 壁



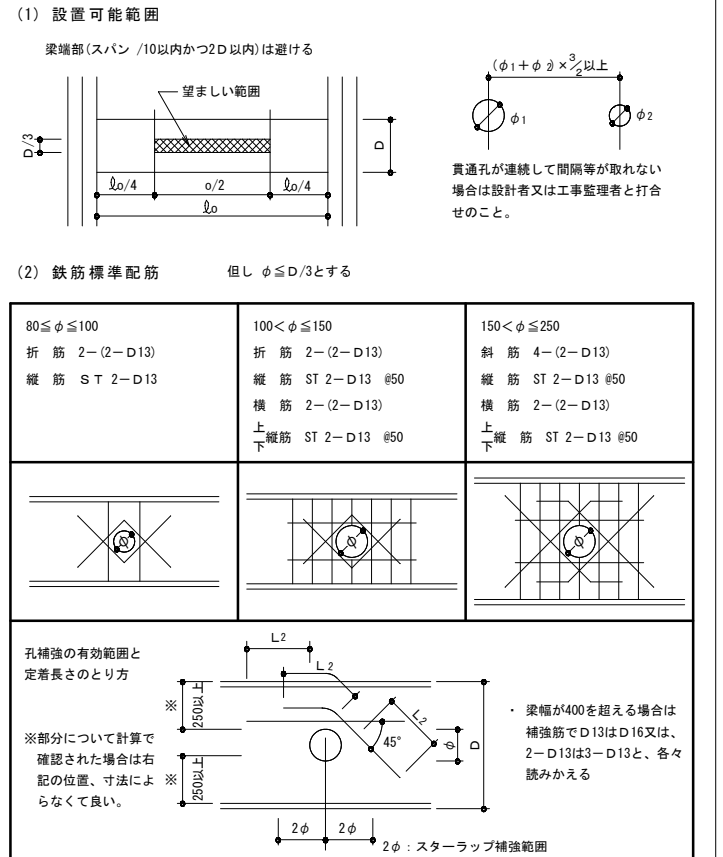
10. 柱、梁増打コンクリート補強



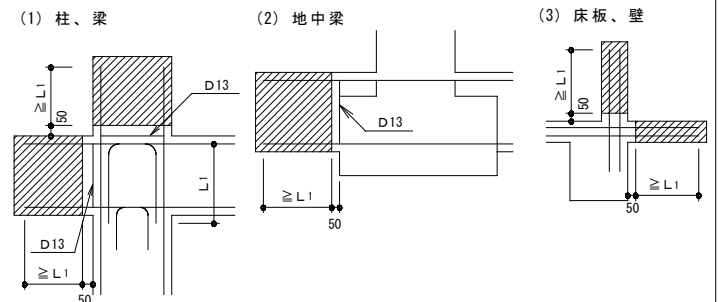
(2) 梁



11. 梁貫通孔補強



12. 増築予定



特記事項



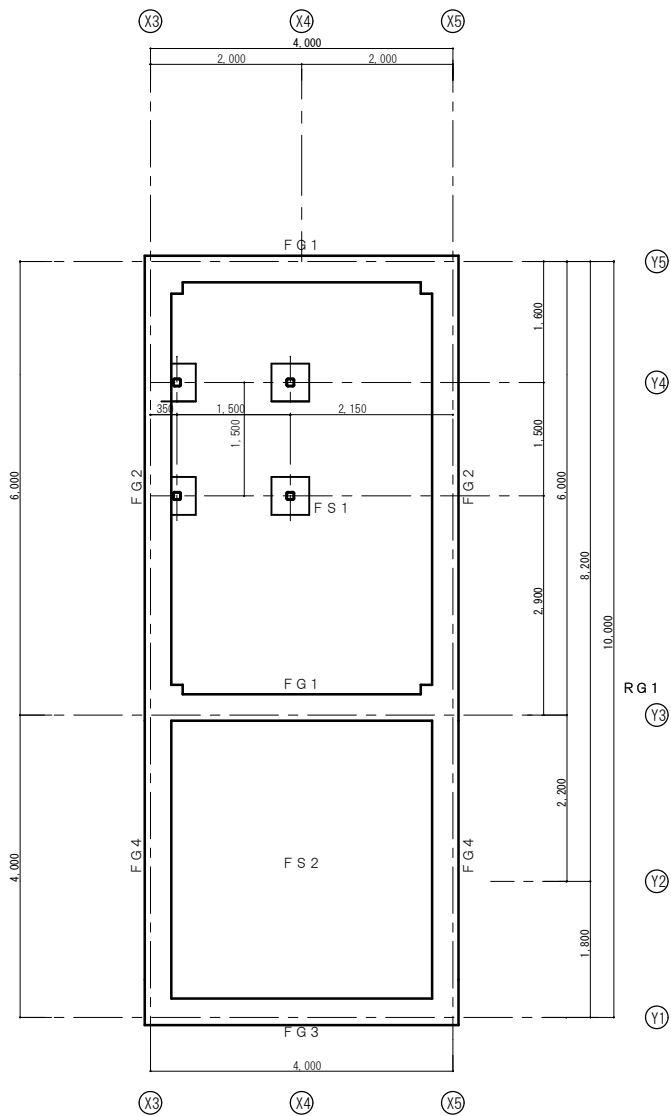
山梨建築設計監理事業協同組合

承認 設計 担当 縮尺

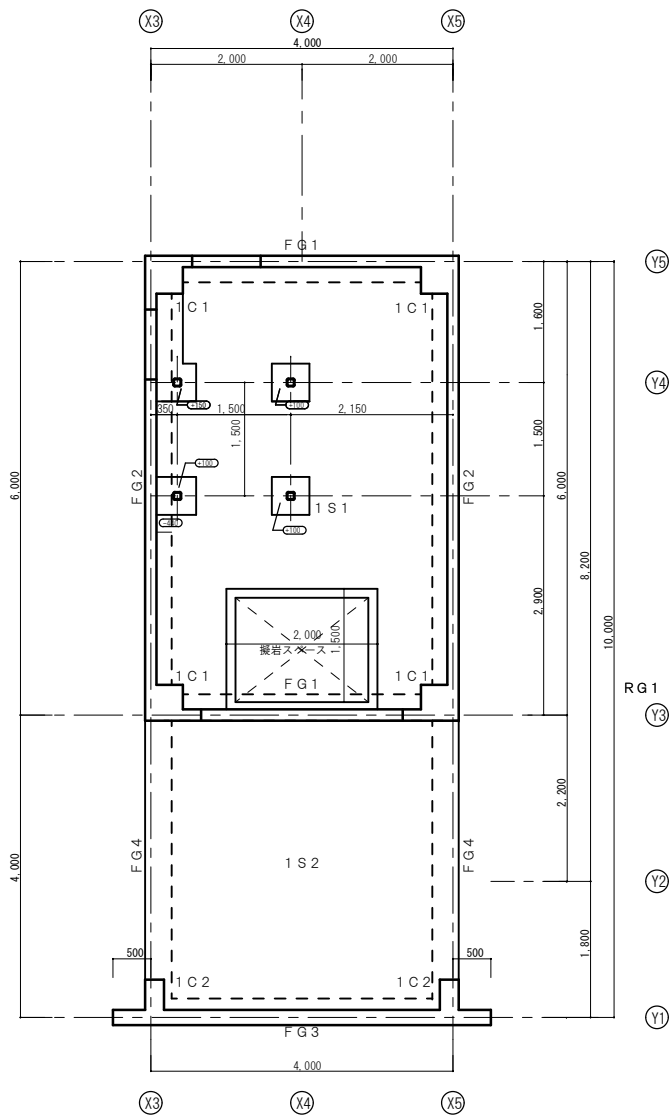
工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (北ーチンパンジー舎)

図面名称 鉄筋コンクリート構造配筋標準図(2)

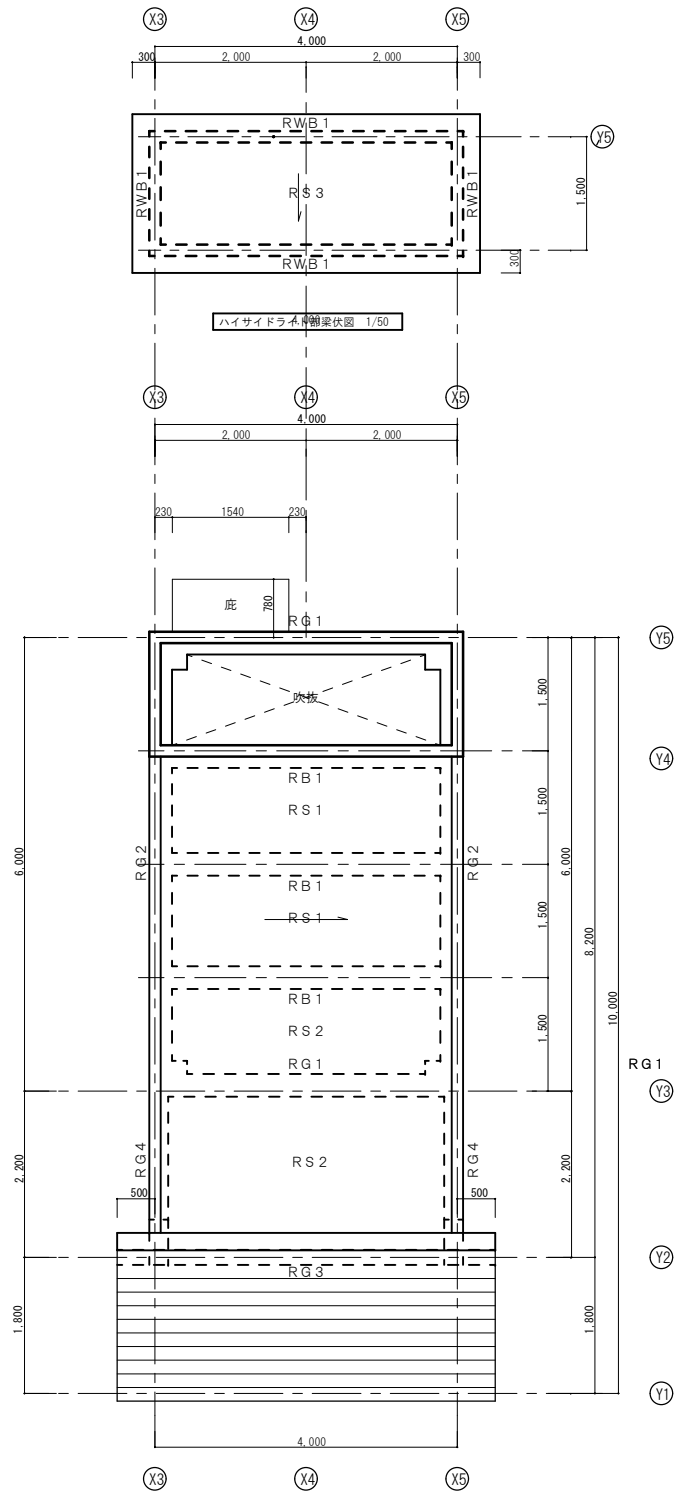
北チ S-03
No.



基礎床伏図 1/50



1階梁伏図 1/50



R階梁伏図 1/50

※設計±=±0=261.18

特記事項

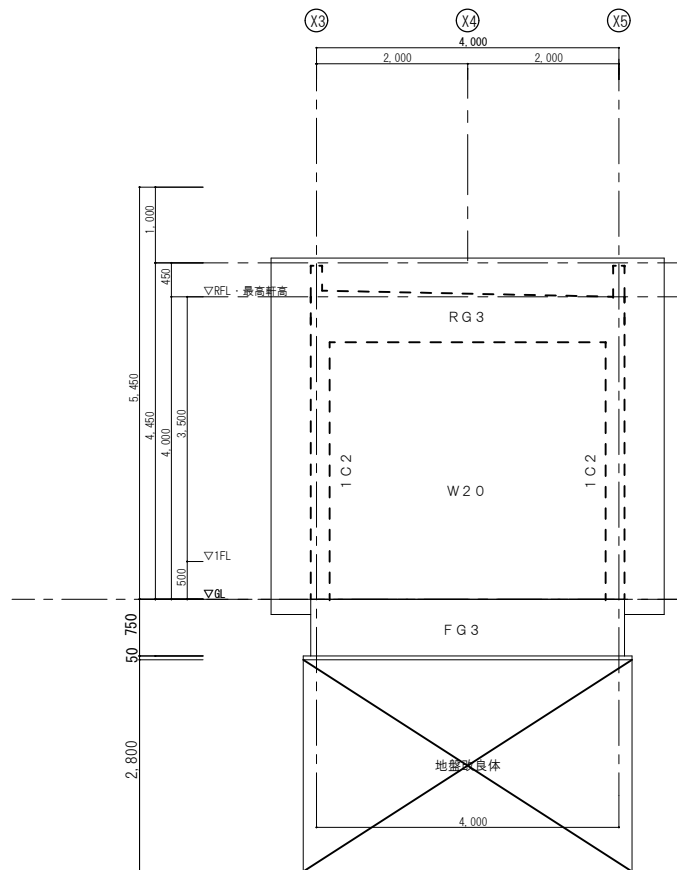


山梨建築設計監理事業協同組合

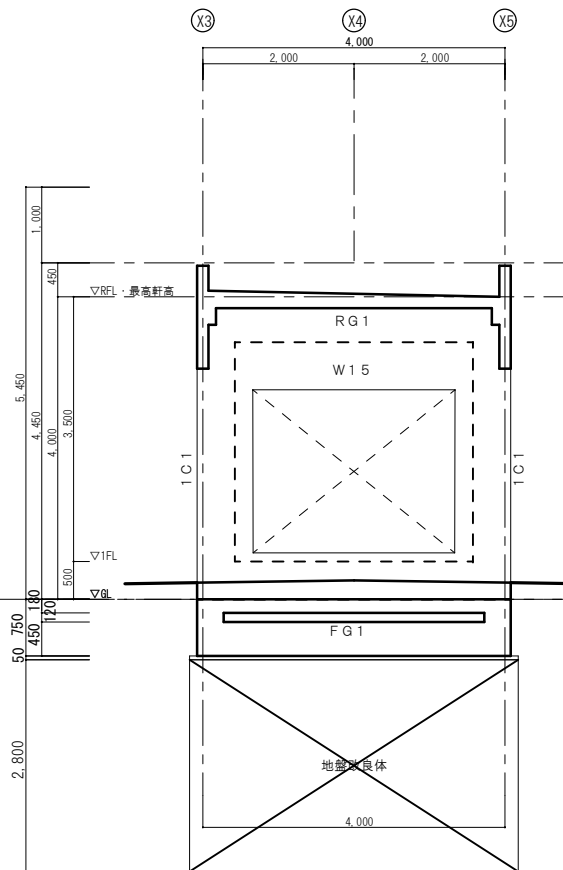
承認 設計 担当 縮尺
A1→1/100 A3→1/200
設計年月日

工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (北—チンパンジー舎)
図面名称 増設屋内放飼場 梁伏図

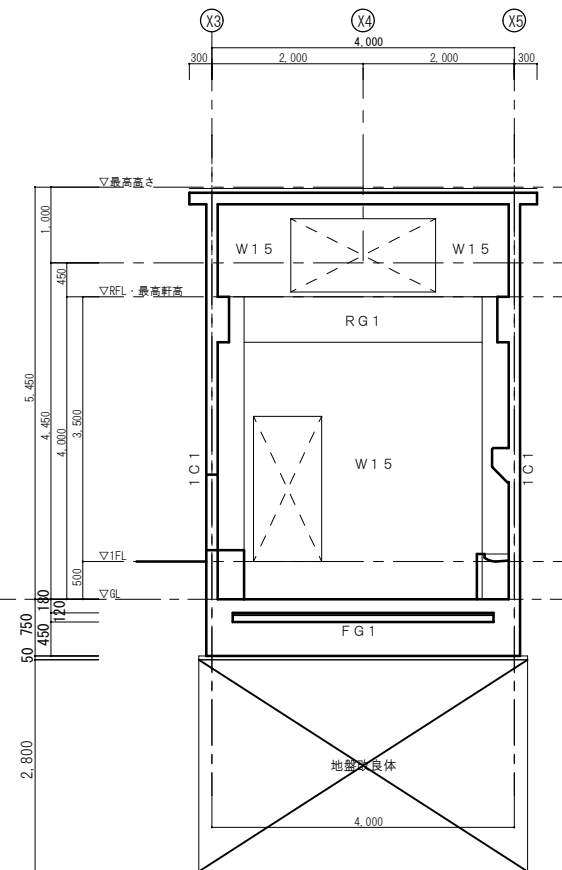
北チ S-04
No.



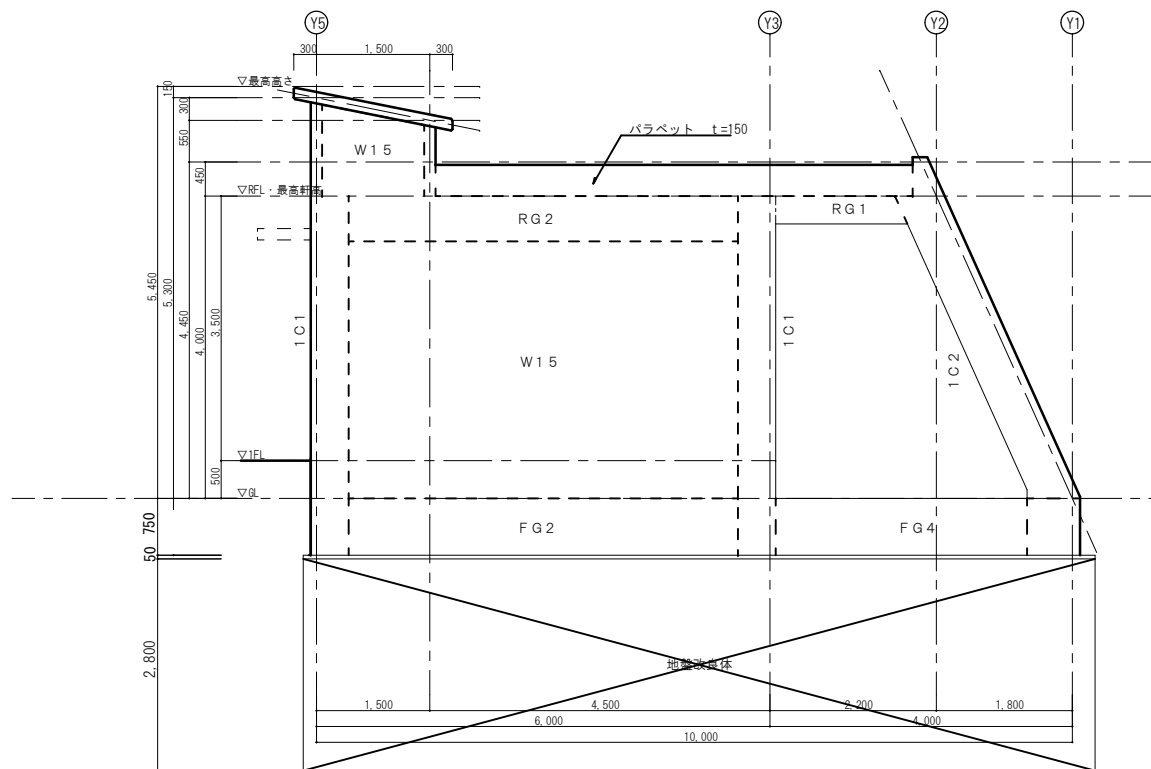
Y1-Y2 軸組図 1/50



Y3 軸組図 1/50




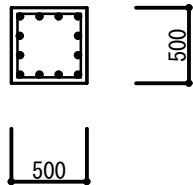
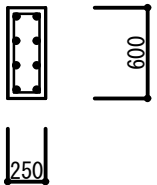
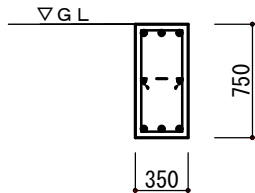
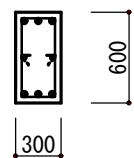
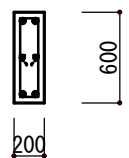
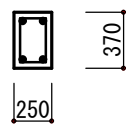
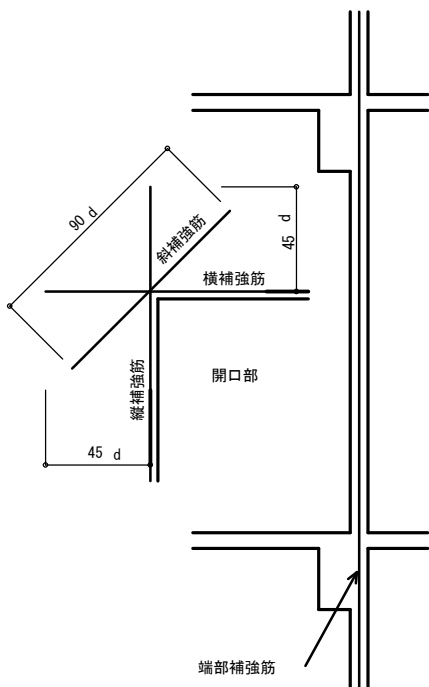
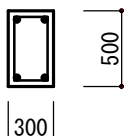
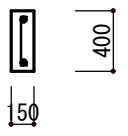


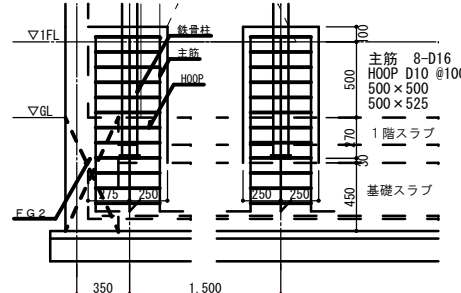
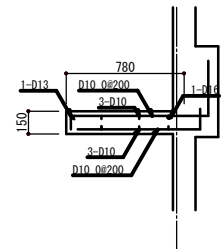
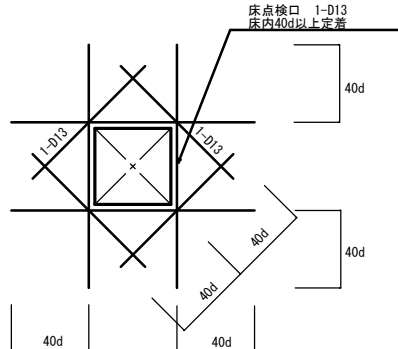
Y5 軸組図 1/50



X3-X5 軸組図 1/50

※設計GL=±0=261.18

特記事項	 山梨建築設計監理事業協同組合	承認	設計	担当	縮尺	工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (北—チンパンジー舎)	図面名称 増設屋内放飼場 軸組図	北チ S-05 No.
					A1→1/100 A3→1/200			
					設計年月日			

R C 柱リスト				S=1/50 , 25				ダイヤ筋は施工上必要であれば @500程度にいれる				梁リスト				S=1/50 , 25 ※設計GL＝±0＝261.18					
1階	符 号	C 1		C 2		符 号	F G 1～4		R G 1 , 2		R G 3		R G 4								
	位 置	全断面		全断面		位 置	全断面		全断面		全断面		全断面								
	断 面					断 面															
	主 筋	12- D16		8 - D16		上 端 筋	3 - D22		3 - D19		2 - D19		2 - D16								
	フープ	□ -D10 @100		□ -D10 @100		下 端 筋	3 - D22		3 - D19		2 - D19		2 - D16								
	仕口内フープ	□ -D10 @150		□ -D10 @150		スターラップ	2-D10 @ 200		2-D10 @ 200		2-D10 @ 200		2-D10 @ 200								
	腹 筋	2 -D10		2 -D10		腹 筋	2 -D10		2 -D10		2 -D10		2 -D10								
小梁	符 号	R B 1		RWB		壁リスト S=1/50 , 25 腹筋用巾止筋は各段1m以内に1ヶ所とする															
	位 置	全断面		全断面		記号	W 1 5		W 2 0		<div>・壁巾止め筋は1mに1箇所1ーD10を設ける</div> <div>・壁開口補強筋は直列としてもよい</div> <div>・左図断面は鉛直断面を示す</div> <div>開口補強要領</div>										
	断 面					断 面															
	上 端 筋	2 - D19		1 - D16		縦 筋	D10 @150		D10 @200ダブル												
	下 端 筋	2 - D19		1 - D16		横 筋	D10 @150		D10 @200ダブル												
	スターラップ	2-D10 @ 200		1-D10 @ 200		開口補強	縦補強筋	1 - D13													
	腹 筋						横補強筋	1 - D13													
檣 基礎				庇 片持版				開口補強		斜補強筋		1 - D13									
								端部補強筋		1 - D16		2 - D16									
床版 リスト																床 開口補強					
階	記号	版厚		短辺方向	長辺方向	階	記号	版厚		短辺方向	長辺方向	階	記号	版厚		短辺方向	長辺方向	<div>開口補強要領</div> 			
基礎	S 1	450	上筋	D16 @ 200	D13 @ 200	1階	S 1	180	上筋	D10 @ 100	D10 @ 150	R階	S 1	150	上筋	D10 @ 200	D10 @ 200				
			下筋	D16 @ 200	D13 @ 200				下筋	D10 @ 100	D10 @ 150				下筋	D10 @ 200	D10 @ 200				
	S 2	450	上筋	D16 @ 200	D13 @ 200		S 2	180	上筋	D10 @ 100	D10 @ 150		S 2	150	上筋	D10 @ 150	D10 @ 200				
			下筋	D16 @ 200	D13 @ 200				下筋	D10 @ 100	D10 @ 150				下筋	D10 @ 150	D10 @ 200				

特 記
事 項



山梨建築設計監理事業協同組合

承認	設計	担当	縮 尺
			A1→1/100 A3→1/200 設計年月日

工事名称 遊亀公園附属動物園第Ⅱ期整備(建築主体)工事 (北ーチンパンジー舎)
図面名称 増設屋内放飼場 構造材リスト

北チ S-06
No.